

消防訓練施設新築工事

図 面 リ ス ト					
建 築 工 事				機 械 設 備 工 事	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-001	工事特記仕様書（１）	S-001	構造設計概要	M-01	機械設備工事 特記仕様書（１）
A-002	工事特記仕様書（２）	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	M-02	機械設備工事 特記仕様書（２）
A-003	工事特記仕様書（３）	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	M-03	配置図・機器表
A-004	工事特記仕様書（４）	S-004	鉄骨構造標準図（１）	M-04	機械設備 １階平面図
A-005	工事特記仕様書（５）	S-005	鉄骨構造標準図（２）	M-05	機械設備 ２階平面図
A-006	工事特記仕様書（６）	S-006	ポーリング調査位置図	M-06	機械設備 ３階平面図
A-007	工事特記仕様書（７）	S-007	N0.2 柱状図（主訓練塔）		
A-008	工事特記仕様書（８）	S-008	N0.3 柱状図（主訓練塔）		
A-009		S-009	N0.2 柱状図（外階段）		
A-010	仕上表	S-010	Hyper-MEGA工法（標準型）特記仕様書		
A-011	配置図・敷地面積求積図・付近見取図	S-011	主訓練塔 １階柱・基礎・２階梁伏図		
A-012	建物求積図・各室面積表	S-012	主訓練塔 ３階・R階梁伏図		
A-013	主訓練塔 1階・2階平面詳細図 建具指示図	S-013	主訓練塔 基礎・地中梁等詳細図		
A-014	主訓練塔 3階・R階平面詳細図 建具指示図	S-014	主訓練塔 部材リスト-1		
A-015	各立面図	S-015	主訓練塔 部材リスト-2		
A-016	断面詳細図 １	S-016	主訓練塔 軸組図		
A-017	断面詳細図 ２	S-017	主訓練塔 ラーメン図		
A-018	主訓練塔 展開図 １	S-018	鉄骨部材リスト・接手等詳細図		
A-019	主訓練塔 展開図 ２	S-019	主訓練塔 屋外階段 平面図		
A-020	主訓練塔 展開図 ３	S-020	主訓練塔 屋外階段 詳細図		
A-021	主訓練塔 展開図 ４				
A-022	主訓練塔 展開図 ５				
A-023	主訓練塔 展開図 ６				
A-024	主訓練塔 １階・２階天井伏図				
A-025	主訓練塔 ３階天井伏図				
A-026	建具表				
A-027	主訓練塔 手摺 詳細図				
A-028	部分詳細図 １				
A-029	部分詳細図 ２				
A-030	部分詳細図 ３				
A-031	消防訓練設備・金物支点 参考図－１				
A-032	消防訓練設備・金物支点 参考図－２				
A-033	外構図				
A-034	総合仮設計画図（参考図）				

内田構造建築工房

	内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1-1522号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号
						縮 尺		

仮設工事

②

1. 監督員事務所
(2. 3. 1)
・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所
の設備・備品
(2. 3. 1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

④工事用水

⑤工用電力

⑥足場

⑦交通誘導警備員

⑧埋戻し及び盛土
(3. 2. 3)
(表3. 2. 1)

2. 建設発生土
の処理
(3. 2. 5)

3. 山留めの撤去
(3. 3. 3)

4

①杭の施工管理

②適用基準

③施工記録

④根拠資料

⑤試験杭及び
試験掘(4. 2. 2)

⑥杭の支持層

⑦水平方向の
位置ずれ
(4. 3. 4)
(4. 5. 5)

8. 杭の載荷試験
(4. 2. 3)

9. 地盤の載荷
試験(4. 2. 4)

⑩既製コンクリート
杭(4. 3. 1)
(表4. 3. 1)

⑪埋戻し及び盛土
(3. 2. 3)
(表3. 2. 1)

2. 建設発生土
の処理
(3. 2. 5)

3. 山留めの撤去
(3. 3. 3)

杭工事特記仕様書による。

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

受注者は、杭の施工期間中は、１週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

○試験杭 位置、本数及び寸法 図示（図面番号：S-011）
・試験掘 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）

支持層の位置、土質 ○図示（図面番号： S-007 008 009 ）

(100) mm以下
(4. 3. 4)
(4. 5. 5)

試験方法 ・鉛直載荷 ・水平載荷 ・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数 ・図示（図面番号： ） 載荷荷重 (kN)
報告書 ・提出部数 ２部

試験方法 ・平板載荷 ・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示（図面番号： ） 載荷荷重 (kN)
報告書 ・提出部数 ２部

○PHC杭
杭(4. 3. 1) ○A種 ○B種 ○C種
(表4. 3. 1)
(4. 3. 3)
(4. 3. 4)
(4. 3. 5)
(4. 3. 6)
(4. 3. 8)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計 支持力(kN/本)	備考
※構造図による						

先端形状 ・開放型 ○閉そく型
施工方法
・セメントミルク工法
・オーガーの支持層への掘削深さ
・()m ・図示（図面番号： ）
・杭の支持層への根入れ深さ
・()m ・図示（図面番号： ）
・根固め液及び杭周固定液の管理試験
・標準仕様書[4. 3. 4(6)コ] ・()
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・()m ・図示（図面番号： ）
継手 ・アーク溶接 ○無溶接継手（工法： ）
杭頭の処理 ・行う ○行わない

11. 鋼管地業
(4. 4. 3)
(4. 4. 4)
(4. 4. 5)
(4. 4. 6)
(4. 3. 5)
(4. 3. 8)

12. 場所打ち
コンクリート
杭地業
(4. 5. 1)
(4. 5. 4)
(4. 5. 5)
(4. 5. 6)

13. 地盤改良

⑭砂及び砂利
地業(4. 6. 2)
(4. 6. 3)

⑮捨コンクリート
地業(4. 6. 4)

⑯床下防湿層
(4. 6. 2)
(4. 6. 5)

・鋼管杭 ・SKK400 ・SKK490
・H形鋼杭 ・SHK400 ・SHK490M
径 ・300 ・350 ・400 ・450 ・()
長さ()m
継手 ・JISA5525(鋼管ぐい)
径 ・300 ・350 ・400 ・450 ・()
施工方法
・特定埋込杭工法
・杭の根入れ深さ
・()m ・図示（図面番号： ）
杭頭の処理 ・行う ・行わない

施工方法
・アースドリル工法
・リバース工法
・オールケーシング工法
・鋼管コンクリート杭工法
拡底 ・行わない ・行う()
杭の根入れ深さ
・()m ・図示（図面番号： ）
孔壁の超音波測定 ・行う ・行わない
帯筋の加工及び組立 ・図示（図面番号： ）
鉄筋の最小かぶり厚さ()mm
鉄筋かごの補強
・図示（図面番号： ）
継手 ・重ね継手 ・()
コンクリートの種別 ・A種 ・B種
設計基準強度()N/mm²
セメントの種類 ・高炉セメントB種 ・()
スランプ(cm) ・18 ・()
構造体強度補正值(S) ・3 N/mm² ・()

・()工法
・六価クロム溶出試験
・室内配合試験
・一軸圧縮試験

砂利
○再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込碎石 ・()
砂
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・()
施工範囲 ・図示（図面番号：)
厚さ(mm) ・60 ○(S-013 014 015)
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

厚さ(mm) ・50 ○(S-013 014 015)
施工範囲 ・図示（図面番号：)
・仕上がりレベルを計測し、記録すること。

施工範囲 ○図示（図面番号：A-016 017 S-013)
ポリエチレンフィルム厚さ ○0. 15mm以上 ・()
○防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

鉄筋工事

①鉄筋の種類
(5. 2. 1)

2. 溶接金網
(5. 2. 2)

③内法直径
(5. 3. 2)

④継手
(5. 3. 4)
(表5. 3. 2)
(表5. 3. 3)

⑤鉄筋のかぶり
厚さ及び間隔
(5. 3. 5)(表5. 3. 6)

⑥各部配筋
(5. 3. 7)

⑦圧接完了後
の試験(5. 4. 10)

8.機械式継手
及び溶接継手
(5. 5. 3)
(5. 5. 5)
(5. 6. 3)
(5. 6. 5)

種類の記号	径	備 考
○SD295A	○D16以下	
○SD345	○D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

網目の形状、寸法
鉄線の径 (mm) ・4 ・5 ・6 ・()
寸法 (mm) ・100×100 ・150×150 ・()
90°未満の折曲げの内法直径 ○図示（図面番号：S-002)

	径	部 位
○重ね継手	D16以下	
○ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
○標準仕様書[5. 3. 4](3)(7) ・図示（図面番号：)
継手位置
○各部配筋参考図による ・図示（図面番号：)
鉄筋定着
○標準仕様書[表5. 3. 4] ・図示（図面番号：)
・標準仕様書

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1-1522号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-002
					縮尺 N S 【A2原紙】	図面名 工事特記仕様書 (2)	

6コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度(6.2.1)(6.2.2)(6.2.4)(6.10.1)(6.10.2)(6.10.3)(6.11.1)(6.11.3)(表6.2.2)(表6.10.1)

②コンクリートの種類(6.2.1)(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.4)(表6.2.5)

④セメント(6.3.1)(表6.3.1)

⑤骨材(6.3.1)

⑥コンクリートの材料(6.3.1)(6.3.1)(表6.3.2)

⑦打継ぎ(6.6.4)

8.養生(6.7.2)

⑨型枠(6.6.4)(6.8.1)(6.8.2)(表6.8.1)(6.8.4)

⑩寒中コンクリート(6.11.1)

⑪暑中コンクリート(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
※構造設計概要による			
・			
・			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)

類別 ① I 類 ② II 類

・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ① A種 ② B種 ③ C種

仕上りの平たんさ ① a種 ② b種 ③ c種

種類 ① 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種 ② ()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・ 適用箇所 図示 (図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分 ① A ② B

・ 特殊な骨材の使用

・ フェロニッケルスラグ細骨材

・ 銅スラグ細骨材

・ 電気炉酸化スラグ骨材

・ 再生骨材H

混和材料 ① 図示 (図面番号: S-001)

混和剤の種類、使用方法、使用量 ① 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (f) (f) ② ()

構造体強度補正值 (S) ① 標準仕様書[表6.3.2] ② ()

位置 ① 標準仕様書 [6.6.4] (1) ② 図示 (図面番号:)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

材料 ① 複合合板 (厚さ(mm) ② 12 ③ ())

打増し厚さ ① 図示(図面番号: A-019 020)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法 ① 図示(図面番号:A-014 015 016)

・ 断熱材の兼用

・ MCR工法用シート

スリーブの材種、規格等

・ 鋼管 ① 硬質ポリ塩化ビニル管 ② 溶融亜鉛めっき鋼板

・ つば付き鋼管 ③ 図示 (図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日

適用期間 ()

① 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

構造体強度補正值 (S)

① 6 N/mm² ② ()

12. マスコンクリート(6.13.1)(6.13.2)(表6.13.1)

13. 無筋コンクリート(6.14.1)

14. 流動化コンクリート(6.15.1)

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

セメントの種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ 中庸熱ポルトランドセメント

・ 低熱ポルトランドセメント

・ 高炉セメントB種

・ フライアッシュセメントB種

・ シリカセメント

スランプ

・ 15cm ① ()

混和剤の種類

・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ② ()

混和材の種類

・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ③ ()

構造体強度補正值 (S) ④ 標準仕様書 [表16.3.1] ⑤ ()

コンクリートの種類

・ 普通コンクリート ⑥ ()

適用箇所

標準仕様書 [6.14.1]

・ (7) ⑦ (4) ⑧ (9) ⑨ (E) ⑩ (オ) ⑪ (カ)

・ 上記以外の適用箇所 ()

設計基準強度

・ 18 (N/mm²) ② () (N/mm²)

スランプ

・ 15cm ③ 18cm

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

① 配置する

(株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ J ① R ② M ③ H ④ S

種類、形状及び寸法 ① 図示 (図面番号: S-001)

種類

① トルシア形高力ボルト (S10T)

・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)

② ()

高力ボルトのねじの呼び

① 図示 (図面番号: S-005)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

① 図示 (図面番号: S-005)

すべり試験の試験方法 ② ()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・ 回転量 () °

5. 普通ボルト(7.2.3)(表7.2.3)(7.3.2)

ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び

・ 図示 (図面番号:)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

6. 溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

摩擦面の処理

・ プラスト処理 (表面粗度50 μ mRz以上)

・ りん酸塩処理

すべり試験の試験方法 ② ()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

① アンカーボルト(7.2.4)(7.3.2)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)

種類

構造用 ② SNR400B ③ (SS400)

建方用 ④ SS400 ⑤ ()

アンカーボルトの保持及び埋込み

・ A種 ① B種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

① 標準仕様書 [表7.2.3]

・ 図示 (図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

・ 図示 (図面番号:)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

① 図示 (図面番号: S-018 020)

⑧ 溶接材料(7.2.5)

9. ターンバックル(7.2.6)

10. デッキプレート(7.2.7)(7.7.8)

11. スタッド(7.2.8)

⑫ 柱底均しモルタル(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

13. 材料試験等(7.2.10)

14. ねじの孔径(7.3.8)

⑮ 仮組(7.3.10)

⑯ 溶接作業における技能資格者(7.6.3)

⑰ 溶接部の開先(7.6.4)

⑱ 溶接施工(7.6.7)

⑲ 溶接部の試験(7.6.12)

⑳ 錆止め塗装(7.8.2)(7.8.4)

材料

① 標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()

種類及びねじの呼び等

・ 図示 (図面番号:)

建築用ターンバックル胴

・ 割枠式 ② ()

建築用ターンバックルボルト

・ 羽子板ボルト ③ ()

材質、形状及び寸法

・ 図示 (図面番号:)

溶接方法

・ 図示 (図面番号:)

種類等

・ 図示 (図面番号:)

柱底均しモルタルの工法、厚み

① A種 (30) mm ② B種 () mm

無収縮モルタルの材料及び割合

① 標準仕様書 [7.2.9] (2) ② ()

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・ JIS G 0901により行う

普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)

・ ねじの呼び径±1.0mm ③ ()

① 行わない ② 行う

仮組を行う範囲

・ 図示 (図面番号:)

溶接作業の技量付加試験

① 行わない ② 行う

開先の形状

① 図示 (図面番号: S-004)

鋼製エンドタブの切除

① 適用及び切断範囲 ② 図示 (図面番号: S-004)

切断面の仕上げ

① 標準仕様書 [7.6.7 (1) (a) (b)] ② 図示 (図面番号:)

鋼製エンドタブに代わるその他の工法

鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。

1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。

2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上) 、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 ③ 図示 (図面番号:)

スカラップの形状 ① 図示 (図面番号: S-004)

試験の種類

溶接部の外観試験方法 ② ()

① 超音波探傷試験 ③ ()

溶接区分	AOQL (%)	検査水準	備 考
現場溶接			・ 全数試験
工場溶接	④ 2.5 ⑤ 4.0	⑥ 6	柱ベース部・フランジ・梁ベース部

耐火被覆材の接着する面への塗装

塗装範囲 ④ 図示 (図面番号:)

種別

1回目C種、2・3回目D種

① 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種

21. 耐火被覆(7.9.2)(7.9.3)

22. 軽量形鋼(7.11.2)

1. 補強コンクリートブロック造(8.2.2)(8.2.3)(8.2.5)(8.2.7)(8.2.8)(表8.2.1)

2. コンクリートブロック塀及び塙(8.3.2)(8.3.3)(8.3.4)(8.3.7)(表8.3.1)

3. ALCパネル(8.4.2)(8.4.3)(8.4.4)(表8.4.2)(8.4.5)(表8.4.3)

4. 押出成形セメント板(8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

塗装範囲 ④ 図示 (図面番号:)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種

部位	種類	材料	工法	耐火性能

接合部 (ボルト接合の場合)

・ 普通ボルト接合 ③ ()

種類

・ 空洞ブロック16

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法

(8.2.3) ① 図示 (図面番号:)

(8.2.5) ② 図示 (図面番号:)

目地仕上げ

・ 押し目地 ③ 化粧目地

モルタルの割合

・ 標準仕様書 [表8.2.3] ④ ()

モルタル又はコンクリートの充填範囲 ⑤ 図示 (図面番号:)

ブロックの種類

・ 標準仕様書 [表8.3.1]

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ

(8.3.2) ① 図示 (図面番号:)

モルタルの割合

・ 標準仕様書 [表8.2.3] ② ()

化粧

・ 有り ③ 無し

塙の厚さ H ≤ 2.0m

・ 120mm ④ ()

H > 2.0m

・ 150mm ⑤ ()

各部の配筋

・ 図示 (図面番号:)

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・ 図示 (図面番号:)

区分	単位 荷重 (N/mm²)	呼び寸法			構法	耐火性能
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)		
・ 外壁 パネル	① ()	・ 100 ② ()	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ () 時間 ・ 無し
・ 間仕切 壁パネル	③ ()	・ 100 ④ ()	・ ()	・ ()	・ C種 ・ E種 ・ D種	・ () 時間 ・ 無し
・ 屋根 パネル	⑤ ()	・ 100 ⑥ ()	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し
・ 床 パネル	⑦ ()	・ 100 ⑧ 120 ⑨ 150	・ ()	・ ()	・ F種	・ () 時間 ・ 無し

パネル幅を300mm以下とする部分

・ 適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法

・ 適用あり

パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm)

① ()

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm)

② ()

伸縮目地への耐火目地材の充填

・ 適用する (材料:)

種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・ 外壁 パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	③ ()	④ ()	・ A種 ・ B種
・ 間仕切壁 パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	⑤ ()	⑥ ()	・ B種 ・ C種

パネル幅を300mm以下とする部分

・ 適用あり

パネル相互の目地幅 (mm)

・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ⑦ ()

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm)

⑧ 15 ⑨ ()

目地及び隙間の処理

⑩ ()

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法

・ 適用あり

間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・ パネル開口の限度 ⑪ 図示 (図面番号:)

8コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

内田構造建築工房

一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 Na215989
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085

年月日

縮尺
N S
【A2原紙】

工事名称
消防訓練施設新築工事

図面名
工事特記仕様書 (3)

図面番号
A-003

9

防水工事

1.アスファルト防水

(表9.2.3)～(表9.2.8)

(9.2.2)

(9.2.3)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]

厚さ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]

厚さ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム(厚さ0.15mm以上)

・フラットヤーンクロス(70g/㎡)

押え金物

・アルミニウム製L-30×15×2.0(mm)

断熱材

・屋根保護防水断熱工法

厚さ

・屋根露出防水断熱工法

種類

厚さ

屋根保護防水

立上り部の保護工法

乾式保護材

立上り部保護れんが

断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート

脱気装置

・設置数量

屋根露出防水における仕上塗料

・図示

屋内防水密着工法における保護層

・図示

E-1の工程3

防水層の地下モルタル塗り

・図示

立上りのコンクリート打放し仕上げの種別

種別

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

床タイル張り

立上り部の保護方法

・乾式保護材

・モルタル押え

屋上排水溝

・図示

2.改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

(9.3.3)

(表9.3.1)～(表9.3.3)

改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]

押え金物の材質、形状、寸法

・アルミニウム製L-30×15×2.0(mm)

仕上塗料

・図示

脱気装置

・設置数量

断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類

厚さ

防湿用シートの設置

・有り

・無し

3.合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)

(9.4.3)

(9.4.4)

(表9.4.1)

(表9.4.2)

(表9.4.3)

ルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

厚さ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]

可塑性移行防止用シート

・発泡ポリエチレンシート

固定金具

材質、寸法形状

断熱材

種類、厚さ

・機械的固定工法

・接着工法

仕上塗料

・図示

防湿用フィルムの設置

・有り

・無し

屋内保護密着工法

モルタル塗り厚さ

立上り部の保護モルタル塗厚さ

目地処理(接着工法)

PC下地

増張り(S-F1、SI-F1)

PC入隅部

機械的固定工法

風圧力に対応した工法

脱気装置

・設置数量

④塗膜防水

(9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

施工箇所

種別

屋上(平場)

X-1

屋上(立上り)

X-2

Y-1

Y-2

脱気装置(X-1)

・設置数量

保護層(Y-2)

仕上塗料(X-1、X-2)

・種類

5.ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1)

(9.6.3)

(9.6.4)

(表9.6.1)

防水層の地下

壁及び天井部の仕上げ

防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の地下処理

標準仕様書[9.6.4](2)(f)及び(g)以外の処理

・標準仕様書[表9.7.1]による

施工箇所

目地寸法

種類

仕上

サッシ廻り等

MS-2

打継目地・誘発目地

PS-2

接着性試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

工事区分

材料名

保証年数

防水工事

防水

10年

※防水工事業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

1.共通

割付

2.天然石

(10.2.1)

(表10.2.1)

(表10.2.2)

使用部位

種類(名称)

寸法(mm)

表面仕上げ

工法

形状

床

壁

ジェットバーナー仕上面

バフ仕上

・有り

・なし

3.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

寸法による区分

表面仕上

・大理石

・1.5～12mm

・300型

・400型

テラゾブロック

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

形状

仕上げ面

寸法(mm)

表面仕上

・大理石

・1.5～12mm

・平もの

・役もの

・片面

・両面

4.その他の材料

(10.2.3)

取付用モルタル

目地用モルタル

浸透性吸水防止剤

石裏面処理材

裏打ち処理材

充填材料

5.外壁湿式工法

(10.2.2)

(10.2.3)

(10.3.2)

(10.3.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示

アンカーの材質及び寸法

材質

・SS400

・

寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

・

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ

クロスメッシュ巻き

25～35φ

・

石材の厚さ

・25mm以上

・

石裏面処理

・適用する

裏打ち処理

・適用する

下地ごしらえ

・流し筋工法

・あと施工アンカー工法

・あと施工アンカー横筋流し工法

目地

一般目地

目地幅

・6mm以上

・

シーリング材の有無

・有り

・無し

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書[表11.1.1]

・図示

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示

6.内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

(10.4.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示

アンカーの材質及び寸法

材質

・SS400

・

寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

・

石材の厚さ

・20mm以上

・

下地ごしらえ

・あと施工アンカー

・横筋流し工法

・あと施工アンカー工法

目地

一般目地

目地幅

・6mm以上

・

伸縮調整目地

位置

・6mごと

・図示

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示

7.外壁乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(10.5.3)

金物の種類、形状、寸法

・図示

取り付け工法

・スライド方式

・ロッキング方式

アンカーの材質及び寸法

材質

・SUS304

・

寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

・

石材の厚さ

・30mm以上(外壁)

・25mm以上(内壁)

・

たば用穴の位置

・図示

裏打ち処理

・適用する

風圧力に対応した工法

・図示

目地

目地幅

・8mm以上

・

シーリング材

・適用する

8.床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

石材の厚さ

・

mm

石裏面処理

・適用する

裏打ち処理

・適用する

目地

一般目地

目地幅

・屋内4mm以上、屋外3～6mm

・図示

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書[10.6.2](5)(a)後段

・図示

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示

9.笠木、甲板等

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.5.3)

(10.7.2)

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段

・

アンカーの材質及び寸法

材質

・SUS304

・

寸法

あと施工アンカーの材質及び寸法

・

取付工法

・湿式工法

・乾式工法

石材の厚さ

・

mm

石裏面処理

・適用する

取付け代(乾式工法の場合)

・標準仕様書[10.5.3](2)

・

石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)

・適用する

目地

一般目地

目地幅

・

mm

伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)

位置

・図示

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示

10.隔て板

(10.7.3)

石材の厚さ

・40mm

・

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

位置

・標準仕様書[表11.1.1]

・図示

2.タイル張り

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.2.3)

(11.3.2)

(11.3.4)

(表11.3.2)

タイルの種類・工法

施工箇所

工法

種類

形状寸法

耐滑り性

うわぐすり

役物

標準・特注色

耐凍害性

・試験張りを行う

・見本焼きを行う

・既調合モルタル材料

セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事

コンクリート素地面の処理

・適用箇所

・目荒し工法

・MCR工法

有機系接着剤あと張り工事

シーリング材の種類

打継、ひび割れ誘発目地

・PU-2

・

伸縮、その他目地

・MS-2

・

外装タイル接着剤張りの目地詰め

・行う

・行わない

12木工事

1. 木材

(12. 2. 1)
(12. 4. 1)
(12. 5. 1)
(12. 6. 1)
(12. 7. 1)
(表12. 2. 1)

木材の含水率

部材名称	種別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

「JAS 1083」による製材

	寸法	等級	含水率	保存処理	県産材
下地用製材	・ 図示 (：)	・ ()			
造作用製材	・ 図示 (：)	・ ()			
広葉樹製材	・ 図示 (：)	・ ()	・ 10% 以下		

「JAS 1083」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率

・ 図示 (図面番号：)

造作材の材面の品質

・ A種

・ ()

樹種

部位	樹 種	県産材

3. 集成材等

(12. 2. 1)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号：)	・ 1等 ()	
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号：)	・ 1等 ()	

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等

樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等

・ 図示 (図面番号：)

4. 造作用単板
積層材

(12. 2. 1)

「JAS 0701」による造作用単板積層材

品名、寸法、表面の品質及び防虫処理

・ 図示 (図面番号：)

「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理

・ 図示 (図面番号：)

5. 直交集成材

(12. 2. 1)

「JAS 3079」による直交集成材

品名、曲げ強度 (強度等級)、種別、接着性能 (使用環境)、樹種、寸法

・ 図示 (図面番号：)

6. 合板等

(12. 2. 1)

品名・品目

樹種名

接着
の程度

等級

板面の
品質

防虫・保存
処理等

厚さ

構造用合板の強度等級

・ 図示 (図面番号：)

特殊加工化粧合板の化粧加工方法

・ オーバーレイ
・ プリント
・ 塗装

・ ()

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等

・ 図示 (図面番号：)

7. 接合具等

(12. 2. 2)
(表12. 2. 3)
～(表12. 2. 5)

造成材の化粧面の釘打ち

・ 隠し釘打ち
・ 釘頭埋め木
・ つぶし頭釘打ち
・ 釘頭現し

諸金物の形状、寸法、材質

・ 図示 (図面番号：)

8. 防腐・防蟻
・ 防虫処理

(12. 3. 1)
(12. 3. 2)

防腐・防蟻処理

薬剤加圧注入

適用部材、保存処理性能区分

・ 図示 (図面番号：)

薬剤の塗布等

処理方法

・ 薬剤の製造所の仕様

・ ()

附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による処理

薬剤の種類、適用部材

・ 図示 (図面番号：)

薬剤の接着剤への混入

・ ()

合板等の加圧注入

・ ()

防虫処理

・ ()

9. RC造等の間
仕切軸組及び
床組

(12. 4. 1)

間仕切軸組に用いる木材

・ 杉
・ 松

・ ()

床組に用いる木材 (土間スラブ 類の土台、転ばし大引、転ばし根太)

・ ひのき
・ 保存処理材

・ ()

床組に用いる木材 (上記以外)

・ 杉
・ 松

・ ()

10. 窓、出入口等

(12. 5. 1)

吊元枠、水掛りの下枠、敷居

・ ひのき

・ ()

上記以外

・ 杉

・ ()

11. 床板張り

(12. 6. 1)

縁甲板、上がりがまち

・ ひのき

・ ()

12. 壁及び天井下地

(12. 7. 1)

木材

・ 杉
・ 松

・ ()

14金属工事

④とい

(13. 5. 2)
(表13. 5. 1)
(表13. 5. 2)
(13. 5. 3)
(表13. 5. 4)

材種

・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
・ ()

⊙ 配管用銅管 (白管)

表面処理鋼板の塗膜の種類

・ ()

耐酸被覆鋼板 材質等

・ ()

受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔

⊙ 図示 (図面番号 A-010)

軒どいの取付け間隔 (多雪地域)

・ 0. 5m以下

・ ()

鋼管製といの防露巻工法

・ 標準仕様書 [表13. 5. 4]

・ ()

1. アルミニウム

(14. 2. 1)
(表14. 2. 1)

表面処理の種類

・ AB-1
・ AB-2
・ AC-1
・ AC-2
・ BA-1
・ BA-2
・ BB-1
⊙ BB-2
・ BC-1
・ BC-2
・ C (常温乾燥形の塗装 ())

陽極酸化被膜の着色方法

・ 二次電解着色

・ ()

陽極酸化被膜の色合い等

・ ()

②鉄鋼の垂鉛
めっき

(14. 2. 2) (表14. 2. 2)

垂鉛めっきの種類

・ A種
・ B種
⊙ C種
・ D種
・ E種
・ F種

3. 軽量鉄骨

天井下地

(14. 4. 2)

屋内

・ 19形

・ ()

屋外

・ 25形

・ ()

屋外の野縁受等の間隔

・ 図示 (図面番号：)

吊りボルトの補強方法 (≧900mm超)

・ 図示 (図面番号：)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・ 天井ふところ>3. 0m 図示 (図面番号：)

・ 耐震天井 図示 (図面番号：)

・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号：)

4. 軽量鉄骨壁
下地

(14. 5. 3)
(表14. 5. 1)
(14. 5. 4)

スタッド、ランナーの種類

・ 50型
・ 65型
・ 90型
・ 100型
・ スタッド の高さによる区分

・ 図示 (図面番号：)

スタッドの高さ5m超

・ 図示 (図面番号：)

出入口、開口部の補強

・ 標準仕様書 [14. 5. 4] (5) 後段

・ ()

5. 金属成形板
張り

(14. 6. 2)
(14. 6. 3)

施工箇所

種 別

・ アルミニウム
・ ステンレス
・ 鋼

形 状

・ スパンドレル形
・ パネル形

表面処理

・

取付け用下地

・ 図示 (図面番号：)

長尺ものにおける伸縮調整継手

・ 設ける 図示 (図面番号：)

⑥アルミニウム
製笠木

(14. 7. 2)
(14. 7. 3)
(表14. 7. 1)

部材の種類

・ 250形
・ 300形
・ 350形
⊙ 225形

表面処理

・ (BB-2)

固定方法

⊙ 図示 (図面番号：A-014)

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・ 図示 (図面番号：)

7. 天井見切縁

材種

・ アルミニウム合金製
・ 塩化ビニル製

取付箇所

材種

寸法

形式

・ 天井

・ アルミニウム製

・ 450角
・ 600角

・ 額縁タイプ
・ 目地タイプ

・ 床

・ アルミニウム製

・ 450角
・ 600角

15左官工事

1. ラス系下地

(15. 2. 4)

通気工法

・ 二層下地
・ 単層下地

直張り工法

・ ラスモルタル下地
・ ラスシートモルタル下地

ラス及び補強用平ラス

材料記号	種類	質量 (kg/m ²)
・ K	・ ()	・ ()
・ ()		

ラスシート

山高 (mm)	山ピッチ (mm)	質量 (kg)	溶接ピッチによる区分
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

外張断熱工法

・ 図示 (図面番号：)

ステーブルの形状、寸法

・ 図示 (図面番号：)

換気口部の措置

・ 標準仕様書 (木造) [11. 4. 3] (2) (カ)

・ ()

2. せっこうボード
その他のボード下地

(15. 2. 5)

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ

・ 図示 (図面番号：)

・ ()

木質系セメント板の種類、厚さ

・ 図示 (図面番号：)

・ ()

3. こまい下地
及び木ずり下地

(15. 2. 6)
(15. 2. 7)

耐力壁の指定

・ 図面 (図面番号：)

木ずり用小幅板の樹種

・ 杉 (芯去り材)

・ 図示 (図面番号：)

④モルタル塗り

(15. 3. 2)
(15. 3. 5)

材料

⊙ 現場調合材料

・ 既調合材料

既製目地材

・ 使用する 図示 (図面番号：)

床の目地

・ 図示 (図面番号：)

下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験 (外壁タイル張り等)

・ 実施する

5. 仕上塗材仕上

(15. 6. 2)
(表15. 6. 1)

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E ・ 内装薄塗材E ・ ()	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け
		・ 砂壁状ジュラク	
		・ ()	・ ()
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて
	・ 外装厚塗材Si	・ 吹放し ・ 凸部処理	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	
	・ 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け
複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層 塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・ ローラー ・ 吹付け
	・ ()	・ ()	・ ()
	・ 吹付け用軽量塗材 ・ こて塗用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて
内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)			
・ JIS A 6909 調湿形			
複層仕上塗材の耐候性			

・ 耐候形3種

・ ()

 | | || 外装厚塗材Cの上塗材 | | | |
| ・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 () kg/m² | | | |
| 外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用 |

・ あり

・ なし

 | | |

内田構造建築工房

一級建築士 内田 浩司

大臣登録番号 一級 №215989

三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号

〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085

年月日

縮 尺

N S

【A2原紙】

工事名称

消防訓練施設新築工事

図面名

工事特記仕様書 (5)

図面番号

A-005

18 塗 装 工 事	③ 耐候性塗料 塗り (DP) (18. 7. 2) (表18. 7. 1) (18. 7. 3) (表18. 7. 2) (18. 7. 4) (表18. 7. 3) 4. スチン塗り (18. 11. 2)	<table><tr><th>下地の種類</th><th>施工箇所</th><th>上塗り等級</th><th>ウレタン、EOP面における種別</th></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>鉄骨見え掛部</td><td>○ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr><tr><td>亜鉛が鋼面</td><td>樋</td><td>○ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr></table> オイルステイン塗り 工程、材料 ・ ()	下地の種類	施工箇所	上塗り等級	ウレタン、EOP面における種別	鉄鋼面	鉄骨見え掛部	○ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛が鋼面	樋	○ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種																																														
	下地の種類	施工箇所	上塗り等級	ウレタン、EOP面における種別																																																								
鉄鋼面	鉄骨見え掛部	○ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																									
亜鉛が鋼面	樋	○ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																									
19 内 装 工 事	1. ビニル床シート 張り (19. 2. 2) (表19. 2. 1) (19. 2. 3) 2. ビニル床タイル 張り (19. 2. 2) (表19. 2. 1)	<table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>厚さ (mm)</th><th>継目</th></tr><tr><td>・ FS ・ ()</td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ 2. 0 ・ ()</td><td>・ 熱溶接 ・ 突付け</td></tr></table> 接着剤の種類、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号：) <table><tr><th>寸法・色合</th><th>種類</th><th>半硬質</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 300×300 ()</td><td>・ コンポジションビニル 床タイル (KT)</td><td>半硬質</td><td>・ 2. 0</td></tr><tr><td>・ 450×450 ()</td><td>・ コンポジションビニル 床タイル (KT)</td><td>軟質</td><td>・ ()</td></tr><tr><td colspan="2">・ ホモジニアスビニルタイル</td><td></td><td>・ ()</td></tr></table> 接着剤の種類、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号：) 3. 特殊機能床材 (19. 2. 2) (表19. 2. 2)	種類	色柄	厚さ (mm)	継目	・ FS ・ ()	・ 無地 ・ 柄物	・ 2. 0 ・ ()	・ 熱溶接 ・ 突付け	寸法・色合	種類	半硬質	厚さ (mm)	・ 300×300 ()	・ コンポジションビニル 床タイル (KT)	半硬質	・ 2. 0	・ 450×450 ()	・ コンポジションビニル 床タイル (KT)	軟質	・ ()	・ ホモジニアスビニルタイル			・ ()	・ 帯電防止床シート・床タイル 寸法 ()mm 厚さ ()mm 種類 () 性能 () ・ 視覚障害者用床タイル 種類 (・ ビニル床タイル ・ ()) 形状 (・ 300×300 ・ ()) ・ 耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ ()mm ・ ゴム床タイル 色柄 () 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm 接着剤の種類、施工箇所 セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号：) ・ 防滑性床シート・床タイル 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm 4. ビニル幅木 (19. 2. 2)	種類 ・ 図示 (図面番号：) 高さ ・ 図示 (図面番号：) ・ 60mm 厚さ ・ 図示 (図面番号：) ・ 1. 5mm 以上 5. 施工 (19. 2. 3)	下地 ・ モルタル ・ セメント/リング ・ 木造 ・ () 6. カーペット敷き (19. 3. 2) (19. 3. 3) (表19. 3. 1) (表19. 3. 2)	織りじゅうたん <table><tr><th>種別</th><th>色柄</th><th>パイル形状</th><th>織り方</th></tr><tr><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ 無地 ・ 柄物 (標準品)</td><td>・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用</td><td>・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット</td></tr></table> <table><tr><th>種別</th><th>色柄</th><th>パイル形状</th><th>パイル長・寸法・総厚</th><th>工法</th></tr><tr><td>・ タフテッド カーペット</td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ ループ ・ カット</td><td>パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm</td><td>・ グリッパー ・ 全面接着</td></tr><tr><td>・ タイル カーペット ・ 1種 ・ 2種</td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ ループ ・ カット</td><td>総厚さ、サイズ ・ 6. 5mm ・ 500角</td><td>・ 全面接着</td></tr></table> ・ 帯電性 (人体帯電圧の値3kV以下) タイルカーペットの敷き方 (全面接着工法) 平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号：) 階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号：) 下敷き材 ・ 第2種1号、呼び厚さ8mm ・ 図示 (図面番号：) 見切り、押え金物 ・ 材質 () ・ 種類 () ・ 形状 (図面番号：) 織りじゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()	種別	色柄	パイル形状	織り方	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 (標準品)	・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット	種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法	・ タフテッド カーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着	・ タイル カーペット ・ 1種 ・ 2種	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6. 5mm ・ 500角	・ 全面接着							
	種類	色柄	厚さ (mm)	継目																																																								
・ FS ・ ()	・ 無地 ・ 柄物	・ 2. 0 ・ ()	・ 熱溶接 ・ 突付け																																																									
寸法・色合	種類	半硬質	厚さ (mm)																																																									
・ 300×300 ()	・ コンポジションビニル 床タイル (KT)	半硬質	・ 2. 0																																																									
・ 450×450 ()	・ コンポジションビニル 床タイル (KT)	軟質	・ ()																																																									
・ ホモジニアスビニルタイル			・ ()																																																									
種別	色柄	パイル形状	織り方																																																									
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 (標準品)	・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット																																																									
種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法																																																								
・ タフテッド カーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着																																																								
・ タイル カーペット ・ 1種 ・ 2種	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	総厚さ、サイズ ・ 6. 5mm ・ 500角	・ 全面接着																																																								
20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 工 事	1. フリーアクセス フロア (20. 2. 2) 2. 可動間仕切 (20. 2. 3) 3. 移動間仕切 (20. 2. 4) 4. トイレブース (20. 2. 5) 5. 手すり (20. 2. 6) 6. 階段滑り止め (20. 2. 7) 7. 黒板及び ホワイトボード (20. 2. 9) 8. 鏡 (20. 2. 10) 9. 表示 (20. 2. 11)	材料 ・ 単層フローリング (・ フローリングボード (1等) ・ フローリングブロック (1等)) ・ 複合フローリング ・ 釘留め工法 <table><tr><th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr><tr><td>・ フローリングボード (根太張用)</td><td></td><td>・ なら ・ ()</td></tr><tr><td>・ 複合フローリング (根太張用)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ なら ・ ()</td></tr><tr><td>・ フローリングボード (直張用)</td><td></td><td>・ なら ・ ()</td></tr><tr><td>・ 複合フローリング (直張用)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ なら ・ ()</td></tr></table> ・ 接着工法 <table><tr><th>材料</th><th>樹種</th><th>厚さ (mm)</th><th>幅・長さ</th><th>裏面不陸緩衝材</th></tr><tr><td>・ フローリングボード (直張用)</td><td>・ なら ・ ()</td><td></td><td></td><td>・ 合成樹脂発泡シート</td></tr><tr><td>・ フローリングブロック (直張用)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 複合フローリング (直張用)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N) 衝撃緩和型畳 ・ C 1 ・ C 2 <table><tr><th>種類</th><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ せっこうボード</td><td></td><td>壁 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃) 天井</td></tr><tr><td>・ 化粧せっこうボード</td><td>・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td><td>・ 9. 5 (不燃) ・ 9. 5 (準不燃) ・ 9. 5 (準不燃)</td></tr><tr><td>・ ロックウール化粧 吸音板</td><td>・ 普通 ・ 立体模様</td><td>・ 9 ・ () ・ 9 ・ ()</td></tr><tr><td>・ けい酸カルシウム板</td><td>・ タイプⅡ 0. 8FK</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table> 合板張り ・ 普通合板 表面の樹種名 ・ 生地のまま ・ (透明塗料塗り)ラワン ・ (不透明塗料塗り)しな ・ () 板面の品質 () 厚さ ()mm 防虫処理 ・ () ・ 天然化粧合板 化粧板の樹種名 ・ () 厚さ ()mm 防虫処理 ・ () ・ 特殊加工合板 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ () 表面性能 () 厚さ ()mm 防虫処理 ・ () 天井ボードの重ね張り ・ 図示 (図面番号：) 合板類の張付け ・ A種 ・ B種	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()	・ フローリングボード (直張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()	材料	樹種	厚さ (mm)	幅・長さ	裏面不陸緩衝材	・ フローリングボード (直張用)	・ なら ・ ()			・ 合成樹脂発泡シート	・ フローリングブロック (直張用)					・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種				種類	種別	厚さ (mm)	・ せっこうボード		壁 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃) 天井	・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9. 5 (不燃) ・ 9. 5 (準不燃) ・ 9. 5 (準不燃)	・ ロックウール化粧 吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 ・ () ・ 9 ・ ()	・ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ 0. 8FK	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()					
	材料	種別	樹種																																																									
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()																																																										
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()																																																										
・ フローリングボード (直張用)		・ なら ・ ()																																																										
・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()																																																										
材料	樹種	厚さ (mm)	幅・長さ	裏面不陸緩衝材																																																								
・ フローリングボード (直張用)	・ なら ・ ()			・ 合成樹脂発泡シート																																																								
・ フローリングブロック (直張用)																																																												
・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																											
種類	種別	厚さ (mm)																																																										
・ せっこうボード		壁 ・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃) 天井																																																										
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9. 5 (不燃) ・ 9. 5 (準不燃) ・ 9. 5 (準不燃)																																																										
・ ロックウール化粧 吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 ・ () ・ 9 ・ ()																																																										
・ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ 0. 8FK	・ ()																																																										
・ ()	・ ()	・ ()																																																										
21 排 水 工 事	1. 排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1) 2. 排水樹等 (21. 2. 1)	材料の種類 ・ ステンレス 仕上げ ・ 研磨等なし ・ () 適用安全使用温度 ・ ()℃ 工法 ・ 図示 (図面番号：) <table><tr><th>形式</th><th>スラット</th><th>開閉方式</th><th>スラットの 成形幅 (mm)</th><th>ヘッドボックス・ ボトムレールの材質</th></tr><tr><td>・ 横形 ブラインド</td><td>・ アルミニウム 合金 ・ ()</td><td>・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td><td>・ 25 ・ ()</td><td>・ 鋼製 ・ ()</td></tr><tr><td>・ 縦形 ブラインド</td><td>・ アルミニウム 合金 ・ ()</td><td>・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td><td>・ 80 ・ 100 ・ ()</td><td></td></tr></table> 操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式 寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号：) カーテンの形式等 <table><tr><th>生地</th><th>ひだの種類</th><th>形式</th><th>開閉操作</th></tr><tr><td>・ ドレープ ・ レース ・ 図示 ()</td><td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ</td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td></tr><tr><td>・ 暗幕 (遮光 ()級)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table> 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せの重なり ・ 300mm以上 ・ () ・ 図示 (図面番号：) カーテンレール ・ アルミ製 ・ ステンレス製 強さによる区分 ・ 10-90 ・ () 形状 ・ シングル ・ ダブル 断面形状 ・ 角形 ・ C形 ・ D形 仕上げ ・ アルマイト ・ () 付属金物 (フック) ・ 鋼製 ・ 樹脂製 補強鉄線の径 ・ 3. 2mm ・ () 補強鉄線の網目寸法 ・ () 設計基準強度Fc ・ 図示 (図面番号：) 配筋 ・ 図示 (図面番号：) 取付方法 ・ 図示 (図面番号：) 材種 ・ () 種類及び質量区分 ・ 図示 (図面番号：) 積み方 ・ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ () 伸縮調整目地 ・ 材種 () ・ 厚さ ()mm 排水管用材料 <table><tr><th>材種</th><th>管の種類</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>VP</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 鋼管</td><td>SGP</td><td>75・100</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ 排水樹、ふた 種類等 ・ 図示 (図面番号：) ・ 側塊の形状、寸法 ・ 図示 (図面番号：) グレーチングの種類 <table><tr><th>材質</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メインバーピッチ</th><th>ボルト固定</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 場所打ちコンクリート 種類 ・ 普通コンクリート ・ () 設計基準強度 ・ 18N/mm2 ・ () スランプ ・ 15cm ・ 18cm ・ () cm 鉄筋の種類等 ・ SD295 ・ () 凍結抑制層の材料 ・ ()	形式	スラット	開閉方式	スラットの 成形幅 (mm)	ヘッドボックス・ ボトムレールの材質	・ 横形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()	・ 縦形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()		生地	ひだの種類	形式	開閉操作	・ ドレープ ・ レース ・ 図示 ()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ 暗幕 (遮光 ()級)	・ ()	・ ()	・ ()	材種	管の種類	呼び径	備考	・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP			・ 鋼管	SGP	75・100						材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定										
	形式	スラット	開閉方式	スラットの 成形幅 (mm)	ヘッドボックス・ ボトムレールの材質																																																							
・ 横形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()																																																								
・ 縦形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()																																																									
生地	ひだの種類	形式	開閉操作																																																									
・ ドレープ ・ レース ・ 図示 ()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動																																																									
・ 暗幕 (遮光 ()級)	・ ()	・ ()	・ ()																																																									
材種	管の種類	呼び径	備考																																																									
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP																																																											
・ 鋼管	SGP	75・100																																																										
材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定																																																								
21 排 水 工 事	1. 排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1) 2. 排水樹等 (21. 2. 1)	材料の種類 ・ アルミ ・ ステンレス (仕上げ：) ・ 溶融亜鉛めっき鋼管 ・ ステンレス SUS304製 ビニルタイヤ入り (両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ・ 約35mm ・ 図示 (図面番号：) 工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法 黒板の区分 ・ 焼付け ・ () 黒板の種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 ・ () ホワイトボード ・ () ・ 図示 (図面番号：) 厚さ ・ 5mm ・ ()mm 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、 印刷等の種別、取付形式等 ・ 図示 (図面番号：) ・ 衝突防止表示 図示 (図面番号：) ・ 非常用進入口表示 図示 (図面番号：)																																																										

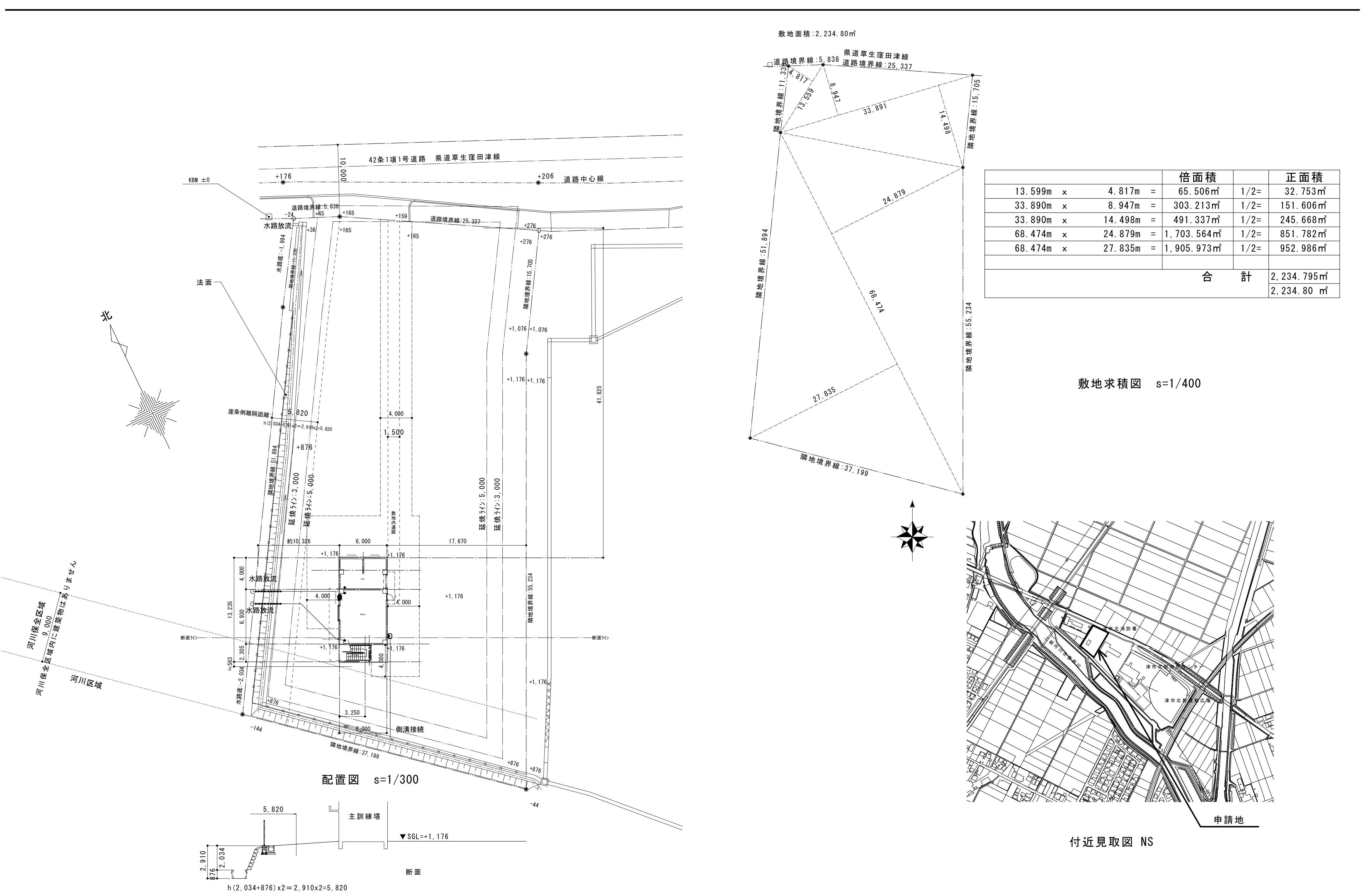
					年月日	工事名称	図面番号
						消防訓練施設新築工事	
内田構造建築工房					縮尺	図面名	A-007
一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989					N S 【A2原紙】	工事特記仕様書 (7)	
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085							

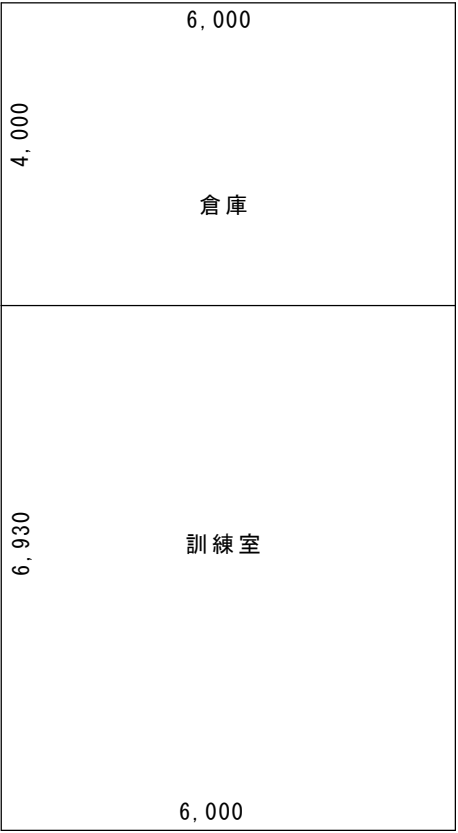
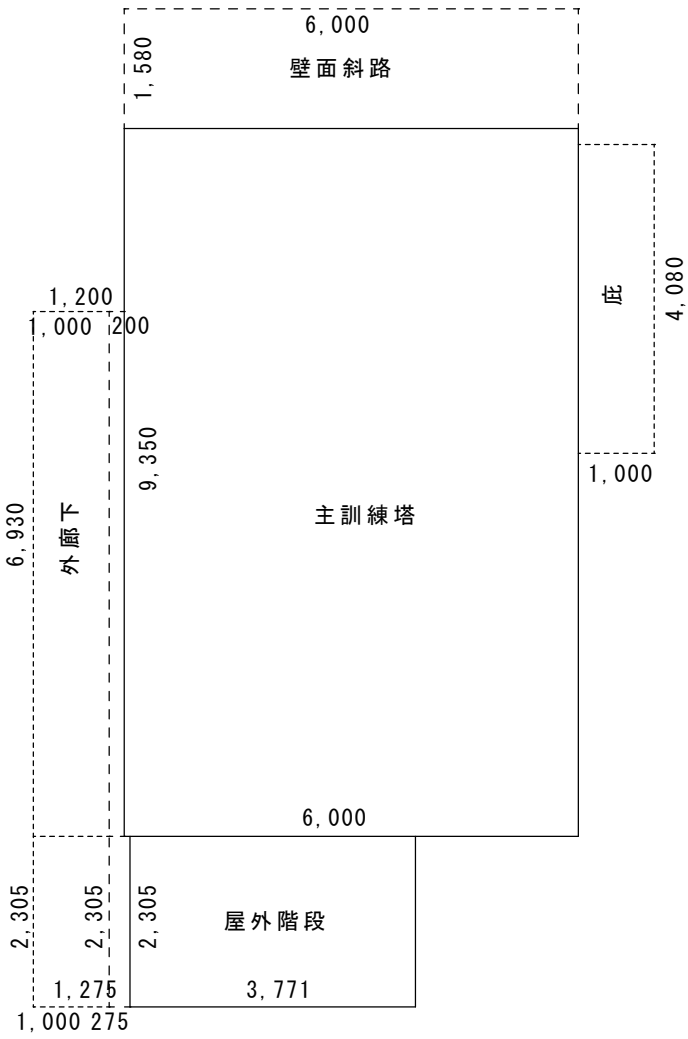
排水工事	21	3. 地業の材料 (21. 2. 1) 砂 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ () 砂利 ・ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 試験 ・ 砂の粒度試験 4. 埋め戻し土 (21. 2. 1) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 5. 施工 (21. 2. 2) 場所打ち排水樹の足掛け金物の材料 ・ ステンレス製 (幅400mm、径22mm) ・ 鉄製 (径22mm、防錆処置済み) ・ 合成樹脂被膜加工を行ったもの (径19mm) ・ 図示 (図面番号:) 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:) 継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪 6. 街きよ 縁石、側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2) コンクリート縁石、側溝 種類、形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:) 砂利地業 厚さ ・ 100mm ・ 図示 (図面番号:)	5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (表22. 6. 1) 種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ () 結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量:) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 (図面番号:) 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験 舗装構成 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示 (図面番号:) 6. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (表22. 7. 1) 7. ブロック系舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3) (表22. 8. 1) <table><tr><th>舗装</th><th>種類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ コンクリート 平板舗装</td><td>・ 普通平板 ・ 透水平板</td><td>・ 300角 ・ ()</td><td>・ 60 ・ ()</td><td>目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td></tr><tr><td>・ インター ロッキング ブロック舗装</td><td>・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック</td><td></td><td>車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()</td><td>表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()</td></tr><tr><td>・ 舗石舗装</td><td>・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()</td><td></td><td>・ 80・100</td><td>施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm</td></tr></table> コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材 ・ 砂 ・ 空練りモルタル ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 平板等の段差3mm以内 ・ 図示 (図面番号:) 8. 砂利敷き (22. 9. 2) ・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ () ・ 建物周囲 ・ A種 ・ B種 ・ ()	舗装	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()	・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80・100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm	6. 芝張り、吹付けは種及び地被類 (23. 4. 2) (23. 4. 3) (23. 4. 7) 種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ () 吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書 [23. 4. 2] (3) (7) 後段 ・ 図示 (図面番号:) 量 ・ () ・ 図示 (図面番号:) 地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数 ・ 図示 (図面番号:) 芝張り工法 平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ () 7. 屋上緑化 (23. 5. 2) (23. 5. 3) (23. 5. 4) (23. 5. 5) 植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成形品 植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土 樹種・種類、寸法、株立数、刈込み ・ 図示 (図面番号:) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号:) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力に対応した工法 (建設省告示第1458号) ・ 図示 (図面番号:) 支柱 ・ 図示 (図面番号:) かん水装置 ・ 図示 (図面番号:) 新植樹木の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:) 芝及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:)	24 外構工事	1. 旗竿 材種 ・ アルミニウム製 ・ () 形式 ・ テーバー付き ・ ローブ式 ・ ハンドル式 脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式 高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m 2. フェンス ・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ・ メッシュフェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・ 格子フェンス 網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())
	舗装	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																					
・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																						
・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()																						
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80・100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm																						
22 舗装工事	① 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5) 路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験 <table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ (100,150) ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキング ブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャラン</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ (粒度調整砕石)</td></tr></table> 舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号: A-033) ・ A-3-10 ・ () 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号: A-033) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ (再生密粒度アスコン (13)) 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験 4. コンクリート舗装 (22. 5. 2)~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1) 舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ (100,150) ・ ()	・ 再生クラッシャラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ	・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャラン	・ ()	・ () ・ ()	・ (粒度調整砕石)	23 植栽工事	1. 植栽地の確認 (23. 1. 3) 試験 ・ 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 電気伝導度類 (EC) の試験 ・ () の試験 2. 植栽基盤 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 2) 植栽基盤整備工法 樹木 ・ A種 ・ () 芝及び地被類 ・ B種 ・ () 有効土層 面積 ・ 図示 (図面番号:) 厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水設備 ・ 設ける (暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 植込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壌改良材 種類、指定量 ・ () 3. 植樹 (23. 3. 2) (23. 3. 3) 樹木の種類 ・ 図示 (図面番号:) 寸法 ・ 図示 (図面番号:) 株立数 ・ 図示 (図面番号:) 刈込み ・ あり なし 支柱材 ・ 丸太 (防腐処理方法 ・ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・ () 支柱形式 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形 幹巻き用材料 ・ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも 4. 新植樹木の枯補償 (23. 3. 4) 引渡しの日から ・ 1年 ・ () 5. 移植樹木の枯損処理 (23. 3. 6) 引渡しの日から ・ 1年 ・ ()					
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																								
・ アスファルト舗装	・ (100,150) ・ ()	・ 再生クラッシャラン																								
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャラン																								
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ																								
・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャラン																								
・ ()	・ () ・ ()	・ (粒度調整砕石)																								

○ 建築概要		○ 外部仕上表					
工 事 名 称	消防訓練施設新築	主 訓 練 塔					
工 事 場 所	三重県 津市 栗真中山町 地内	屋 根	モルタル t=30下地 塗膜防水(非歩行) 平場:X-1 立上り:X-2 ※遮熱仕様	訓練用登坂面	特殊樹脂化粧型枠(モールド)ｽｽ-02石乱積み同等)		
	市街化調整区域 法22条区域内	軒 裏	コンクリート打ち放し面補修	外部階段	耐候性塗料DP 手摺鉄製 持ち手:OP-48.6x3.2 支柱:OP-34.0x2.3 手摺子:OP-21.7x2.0@120		
	建ぺい率:70%・容積率:400%	柱・梁型・外壁	コンクリート打ち放し面補修のうえ、 低汚染型高耐候性フッ素樹脂塗料クリヤー仕上げ	開 口 部	スチールドア 外付シャッター(平面図図示)		
敷 地 面 積	2,234.80 m ²	笠 木	アルミ笠木(既製品)				
構 造	鉄筋コンクリート造 3階建	庇	樹脂繊維混入セメント瓦 5寸勾配 (桟木・ケラバ・軒先水切り・雨押え・下葺き材共) 庇見付・下端 コンクリート打ち放し面補修				
建 築 面 積	76.29 m ²	ルーフトレン	ステンレス製 75φ ねじ込み式 オーバーフロー管 ステンレス製 60.5φ(既製品)				
延 床 面 積	161.43 m ²	堅 樋	配管用炭素鋼鋼管(白)80φ 耐候性塗料DP 握み金物 ステンレス製(既製品)φ900				
		外廊下手摺	溶融亜鉛メッキ 鉄製 持ち手:OP-48.6x3.2 支柱:OP-34.0x2.3 手摺子:OP-21.7x2.0@120				

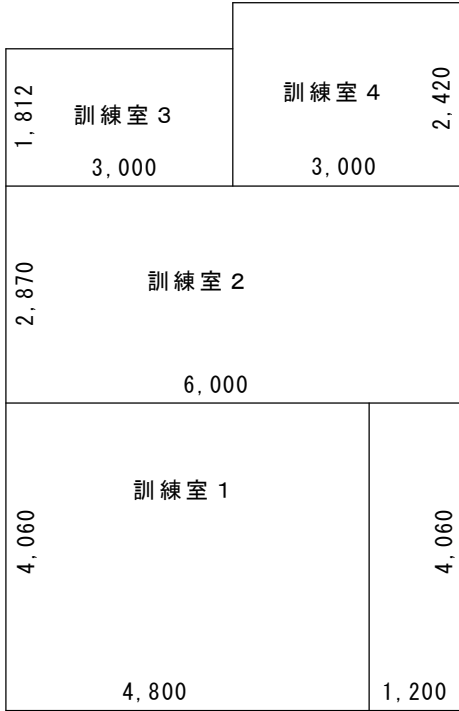
○ 内部仕上表											
室 名			床		巾 木	壁		天 井		備 考	
			仕 上	下 地		仕 上	下 地	仕 上	下 地		
主 訓 練 塔	1 階	訓練室	珪藻土 防水剤入り t=30	コンクリート打放し	低汚染型高耐候性フッ素樹脂塗料クリヤー仕上げ	低汚染型高耐候性フッ素樹脂塗料クリヤー仕上げ	コンクリート打ち放し面補修	コンクリート打ち放し面補修		掲示用フック・立引きドレン（中継用）	
		倉庫	△	△	△	△	△	△		立引きドレン（中継用）	
	2 階	訓練室1	△	△	△	△	△	△	△		掲示用フック・立引きドレン（中継用）
		訓練室2	△	△	△	△	△	△	△		掲示用フック・立引きドレン
		訓練室3	△	△	△	△	△	△	△		掲示用フック・立引きドレン
		訓練室4	△	△	△	△	△	△	△		掲示用フック・立引きドレン
		外廊下	△	△	△	△	△	△	△		掲示用フック・連結送水管（放水口）・立引きドレン（中継用）・支点金物
	3 階	訓練スペース	△ 一部塗床（水性高分子シリカ系）赤色 防滑タイプ	△	△	△	△	△	△		ロープ支持金物・上部支点・チェーン2段・転落防止手摺・立引きドレン
		外廊下	△	△	△	△	△	△	△		掲示用フック・立引きドレン・支点金物
							</				

※立引きドレンはステンレス製とする

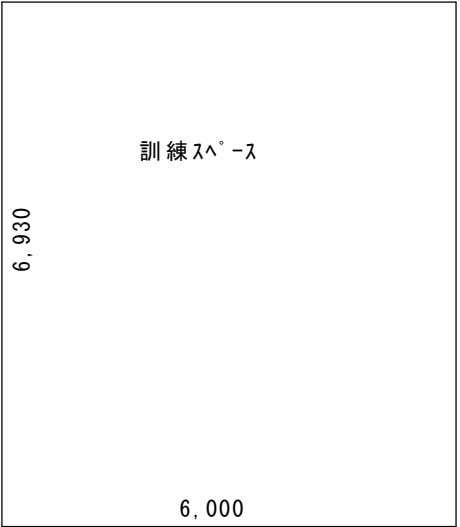




主訓練塔 1階



主訓練塔 2階



主訓練塔 3階

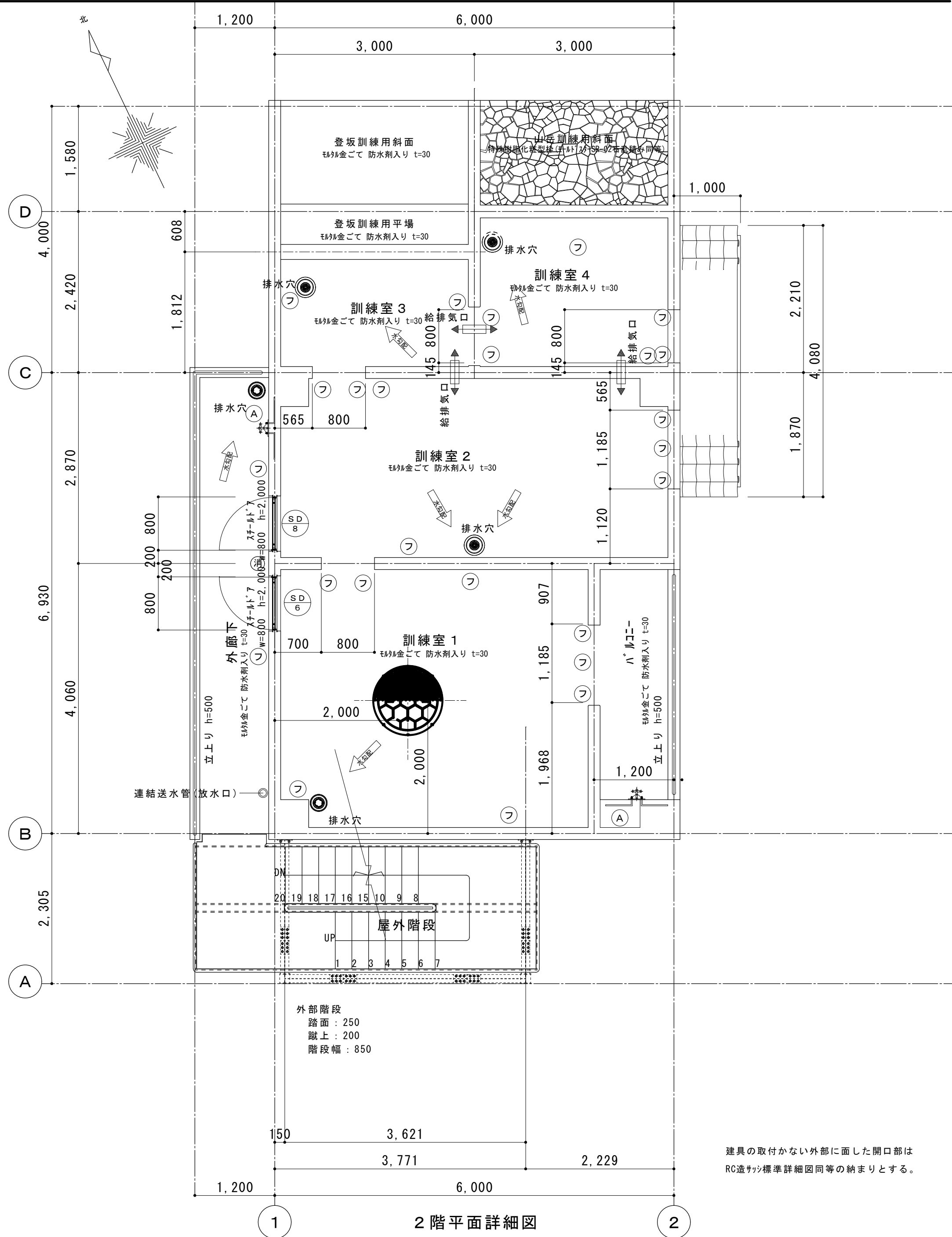
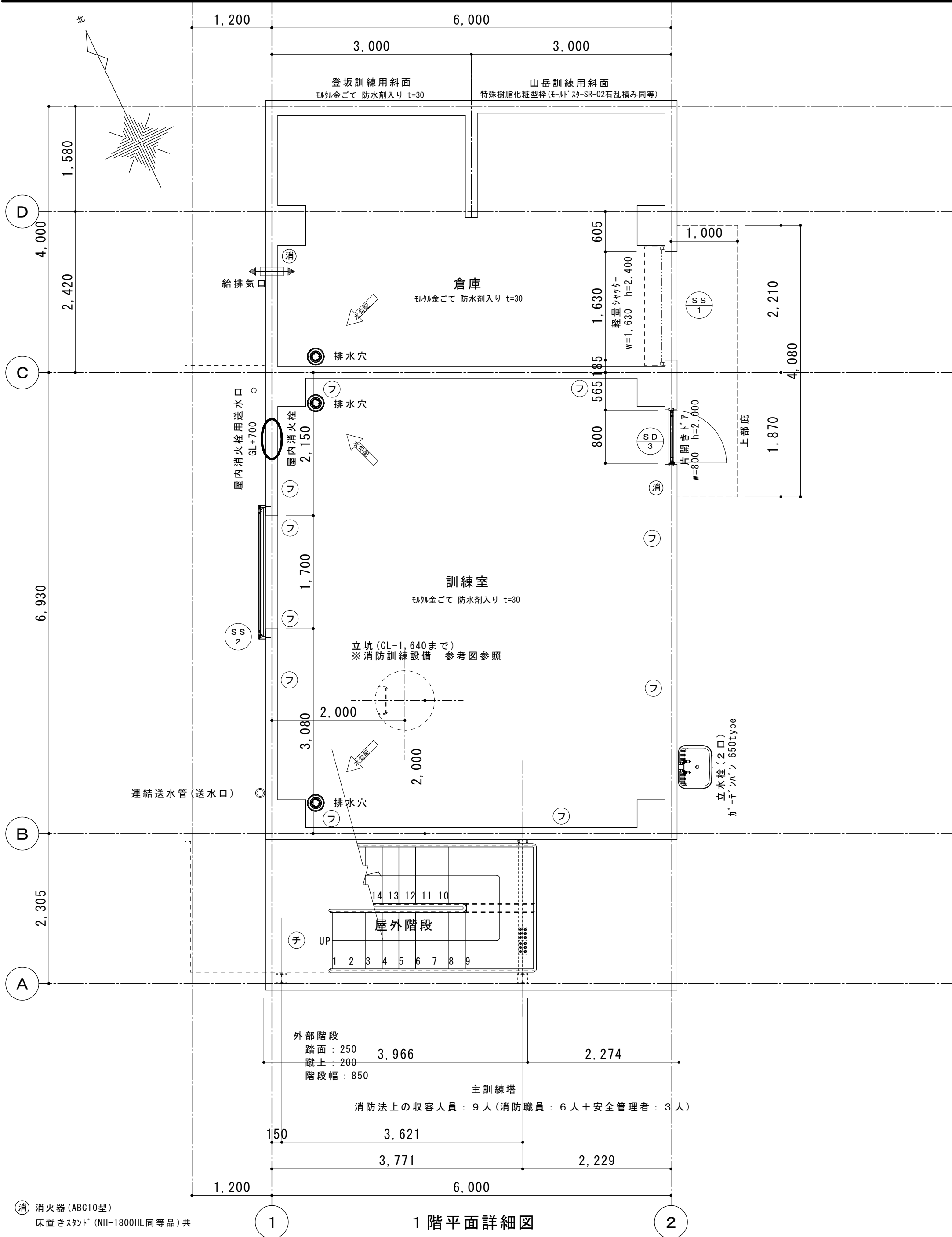
建築面積	主訓練塔	6.000 x 9.350 = 56.100 m ²	76.29 m ²	76.29 m ²
		壁面斜路 6.000 x 1.580 = 9.480 m ²		
		外廊下 0.200 x 6.930 = 1.386 m ²		
		屋外階段 3.771 x 2.305 = 8.692 m ²		

各 室 面 積	主 訓 練 塔	1 階	訓 練 室	6. 000 x	6. 930 =	41. 580 m ²	65. 58 m ²	161. 43 m ²
			倉 庫	6. 000 x	4. 000 =	24. 000 m ²		
		2 階	訓 練 室 1	4. 800 x	4. 060 =	19. 488 m ²	54. 27 m ²	
				1. 200 x	4. 060 =	4. 872 m ²		
			訓 練 室 2	6. 000 x	2. 870 =	17. 220 m ²		
			訓 練 室 3	3. 000 x	1. 812 =	5. 436 m ²		
			訓 練 室 4	3. 000 x	2. 420 =	7. 260 m ²		
		3 階	訓 練 スペース	6. 000 x	6. 930 =	41. 580 m ²	41. 58 m ²	
161. 43 m ²								

消防無窓階の検討

各 室 面 積	主 訓 練 塔	1 階	65.58/30=		2.19㎡	
					8.62㎡	
			SD-3	0.800 x 2.000 = 1.60 ㎡		
			SS-1	1.630 x 2.400 = 3.91 ㎡		
				SS-2	1.700 x 1.830 = 3.11 ㎡	
		2 階				
			54.27/30=		1.81㎡	
			SD-6	0.800 x 2.000 = 1.60 ㎡	7.24㎡	
			SD-8	0.800 x 2.000 = 1.60 ㎡		
	1.185 x 0.770 = 0.91 ㎡					
	1.185 x 1.970 = 2.33 ㎡					
	0.800 x 1.000 = 0.80 ㎡					

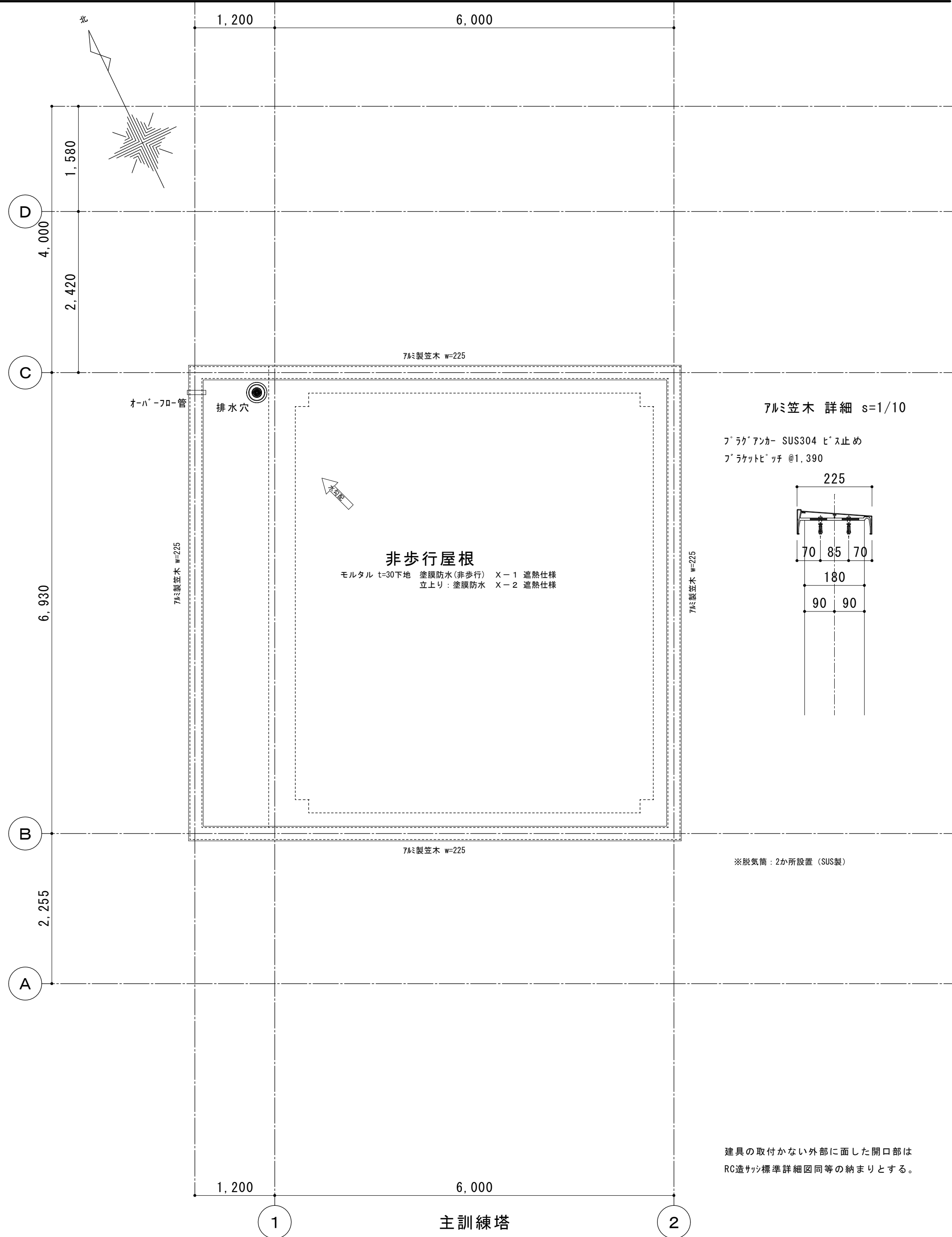
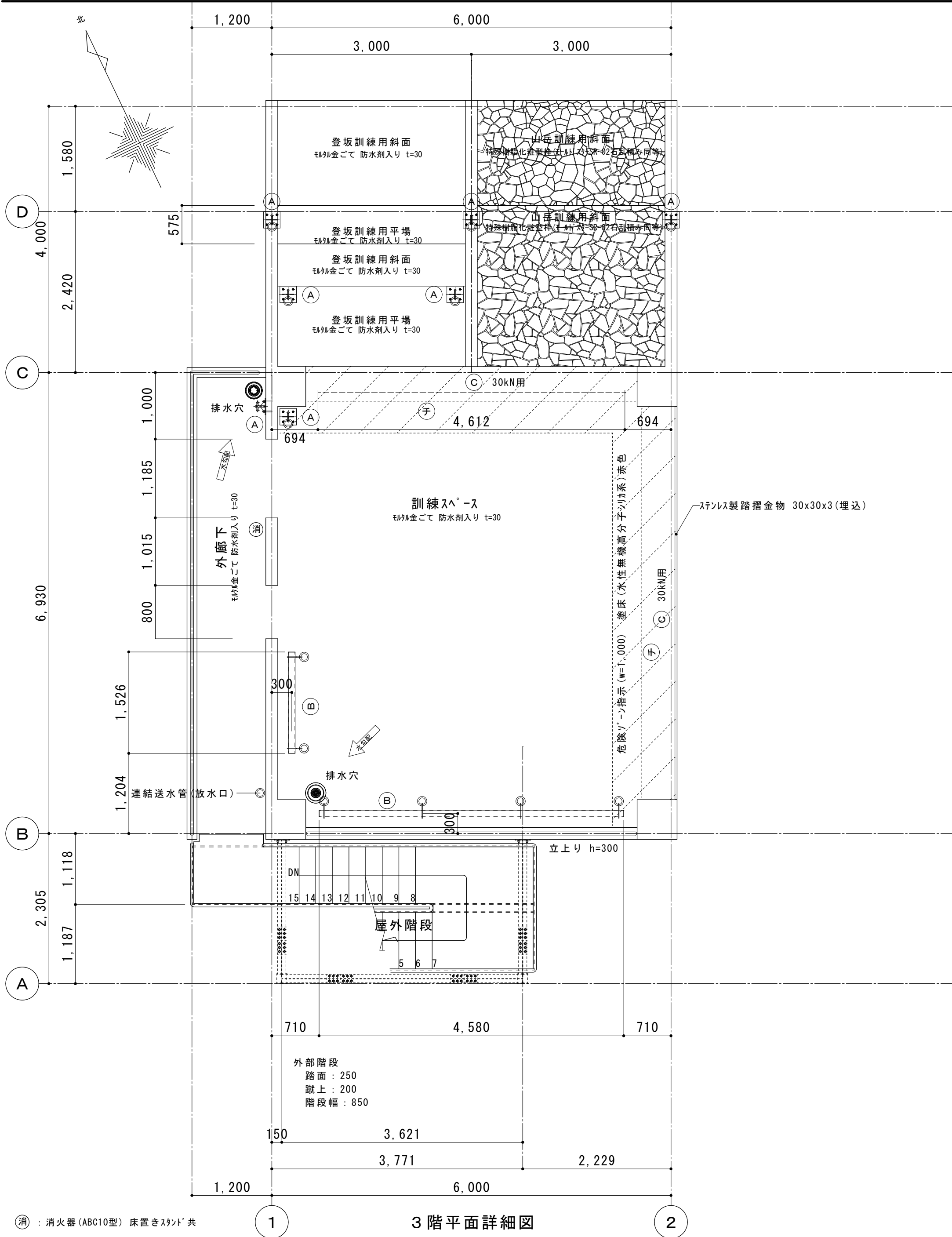
消防法上の収容人員：9人(消防職員：6人+安全管理者：3人)



建具の取付かない外部に面した開口部は
RC造サッシ標準詳細図同等の納まりとする。

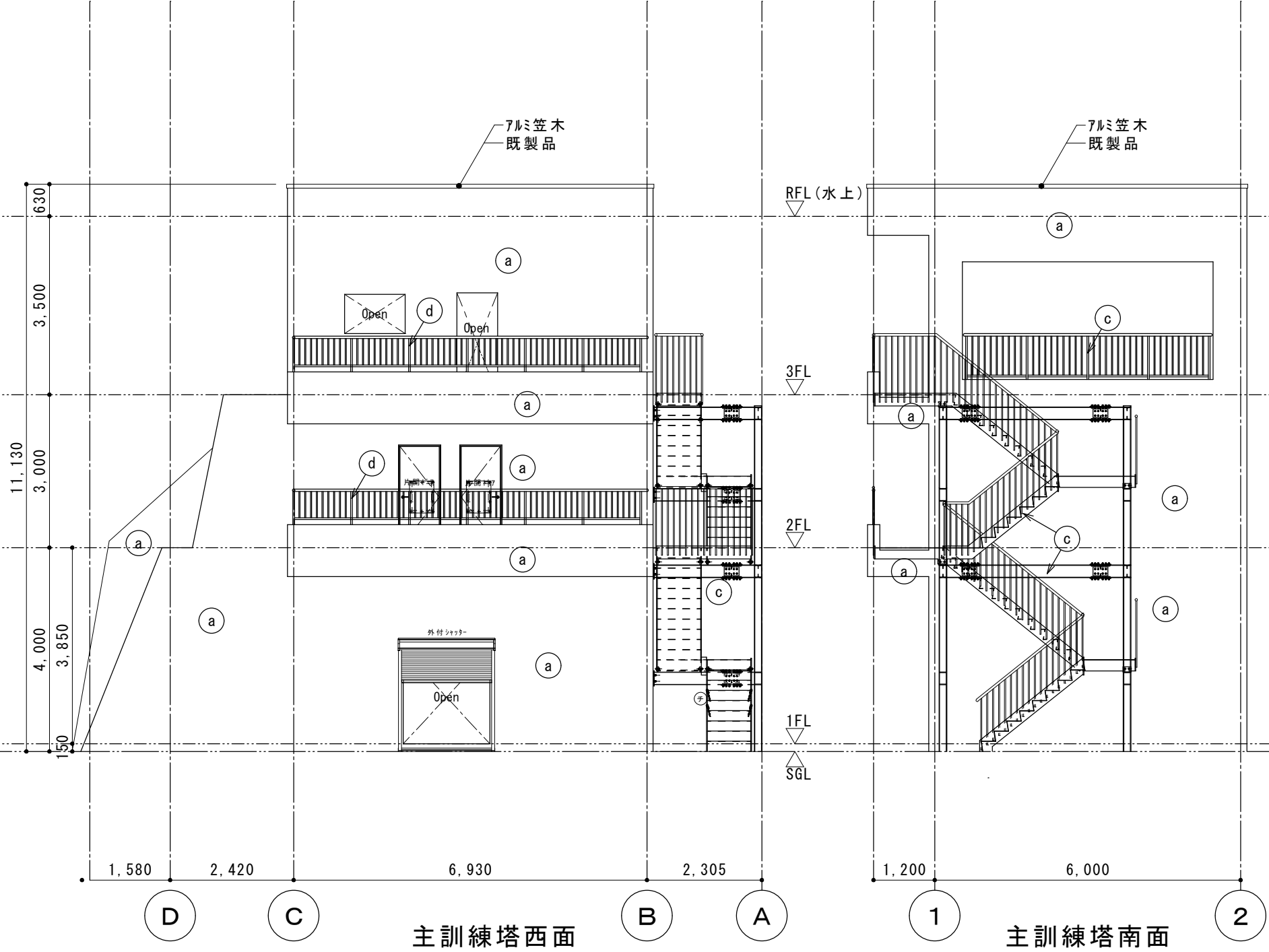
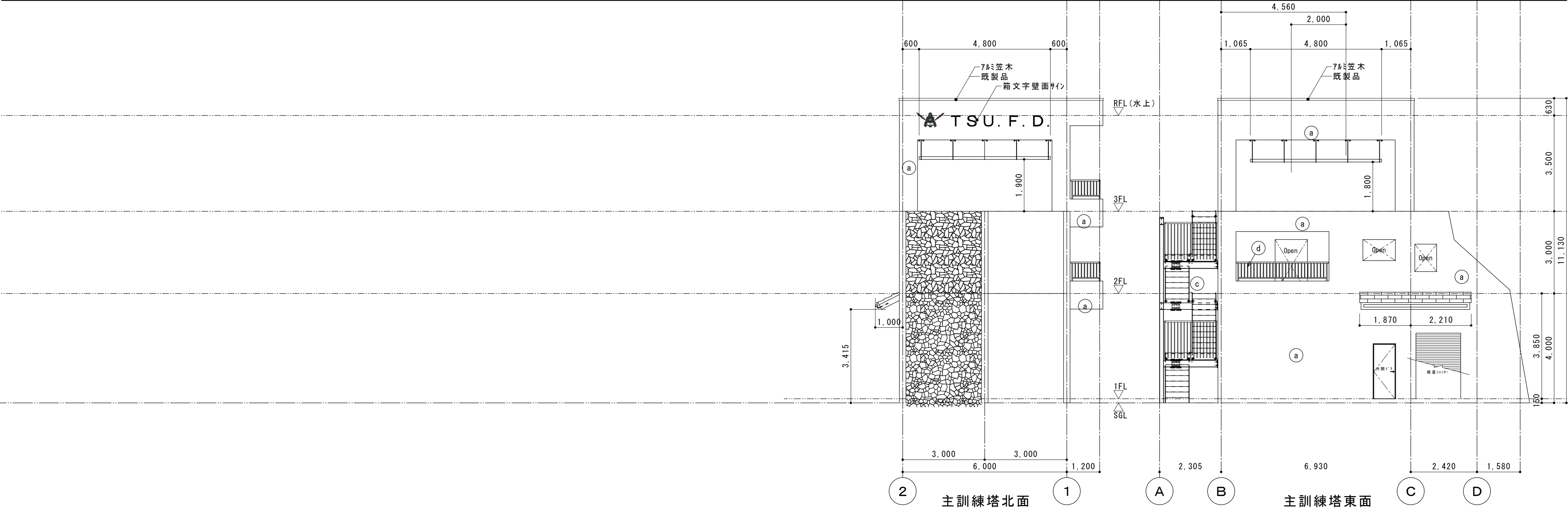
【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者に確認とする	
㊦: 揭示用フック	㊢: ロ-フ 支持金物(床) リンク付
㊦: 支点金物	㊣: 上部支点
㊦: フェン2階 両端カビナ付き	

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-013
				縮尺 1/50 【A2原紙】	図面名 主訓練塔 1階・2階平面詳細図 建具指示図	

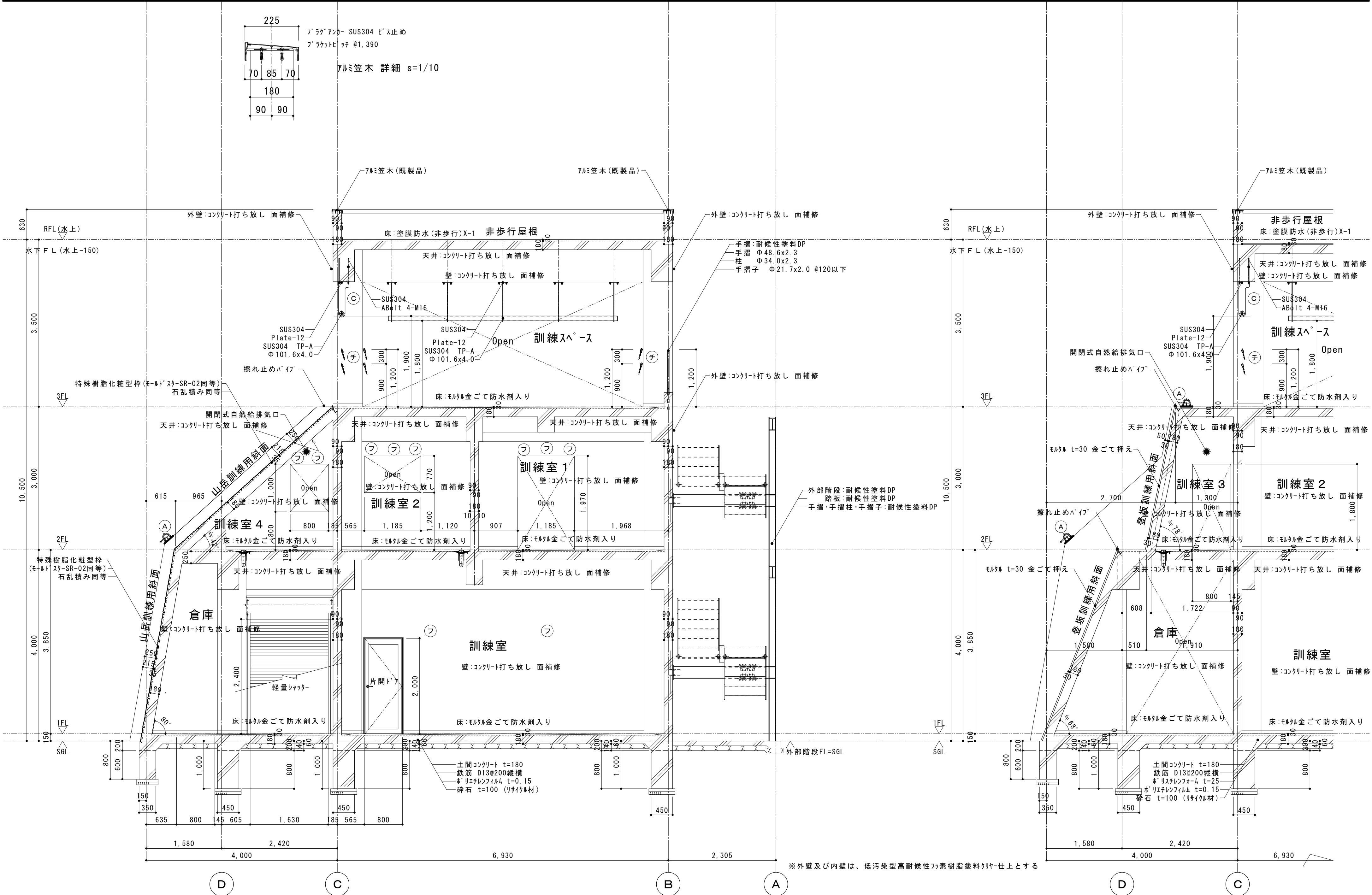


【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者に確認とする	
フ : 揭示用フック	Ｂ : ロ-フ'支持金物(床) リンク'付
Ａ : 支点金物	Ｃ : 上部支点
チ : チェ-ン2段 両端カ'ビ'ナ付き	

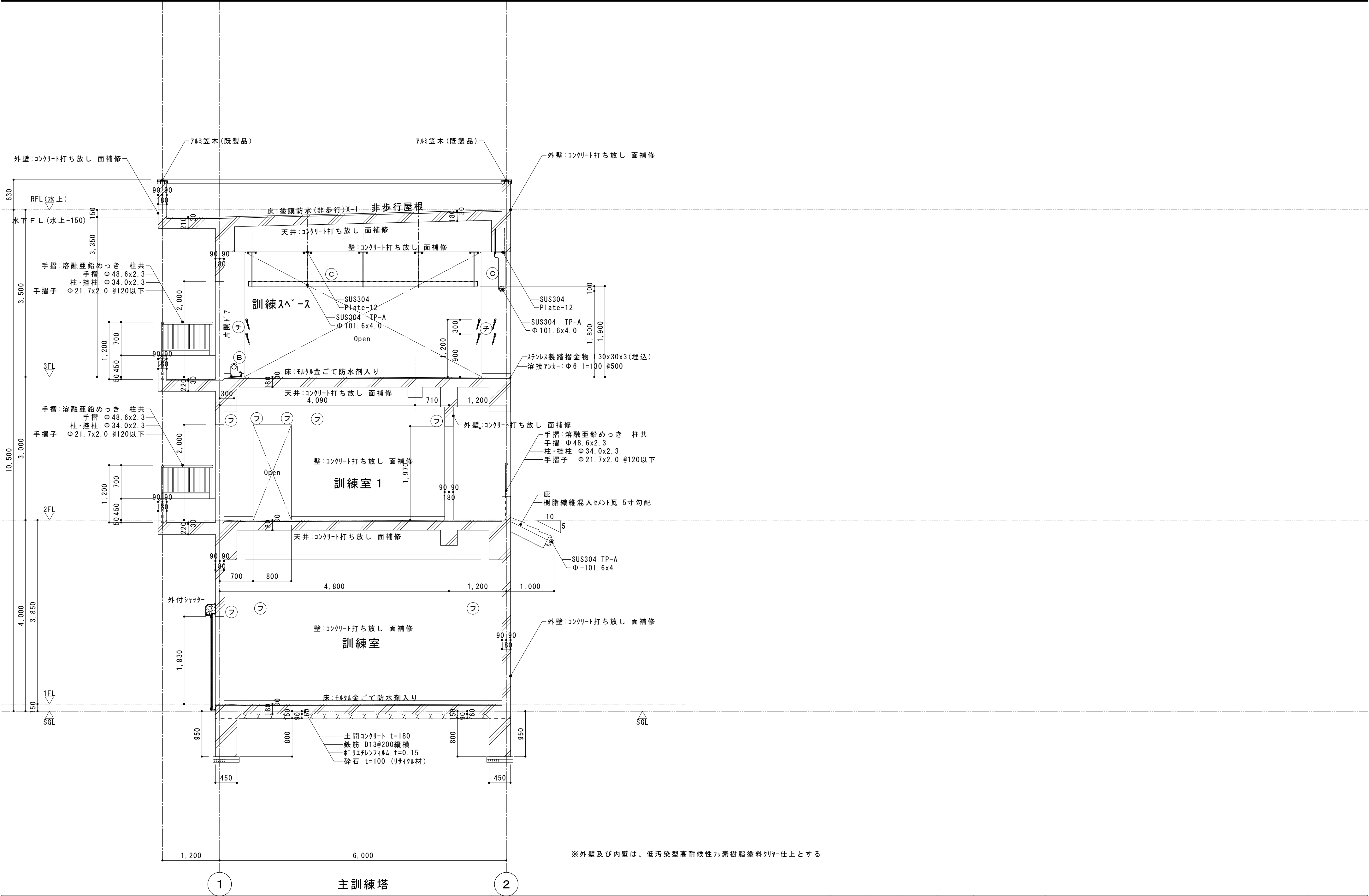
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-014
				縮尺 1/50 【A2原紙】	図面名 主訓練塔 3階・R階平面詳細図 建具指示図	



【凡例】 外部仕上げ				内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1－1522号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085								年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事		図面番号 A-015
○a：コンクリート打放し面補修の上、低汚染型高耐候性珪素樹脂塗料クリヤー仕上げ ○d：鉄骨表し 亜鉛めっき												縮尺 1/100 【A2原紙】	図面名 各立面図		
○c：鉄骨表し 耐候性塗料DP															

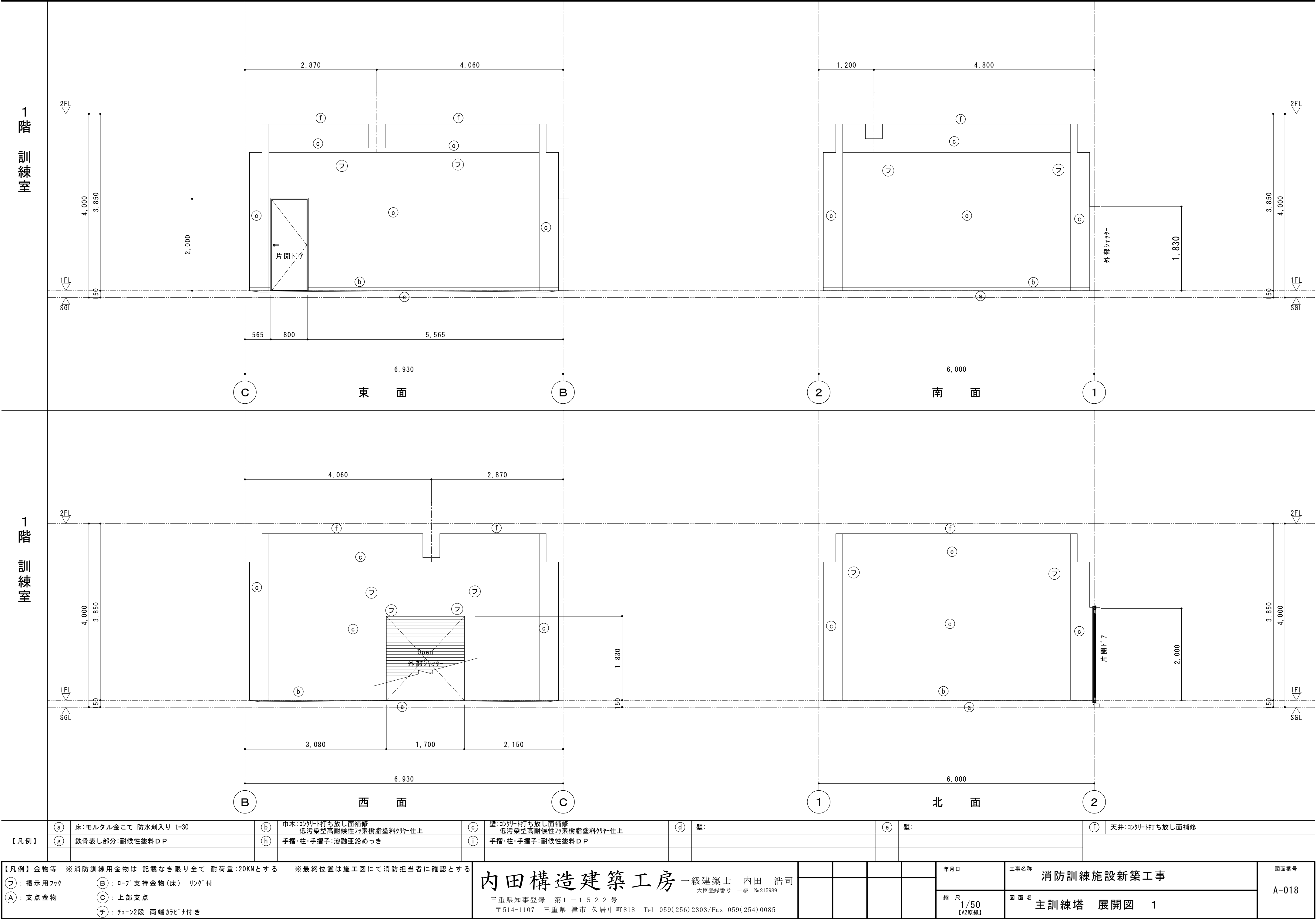


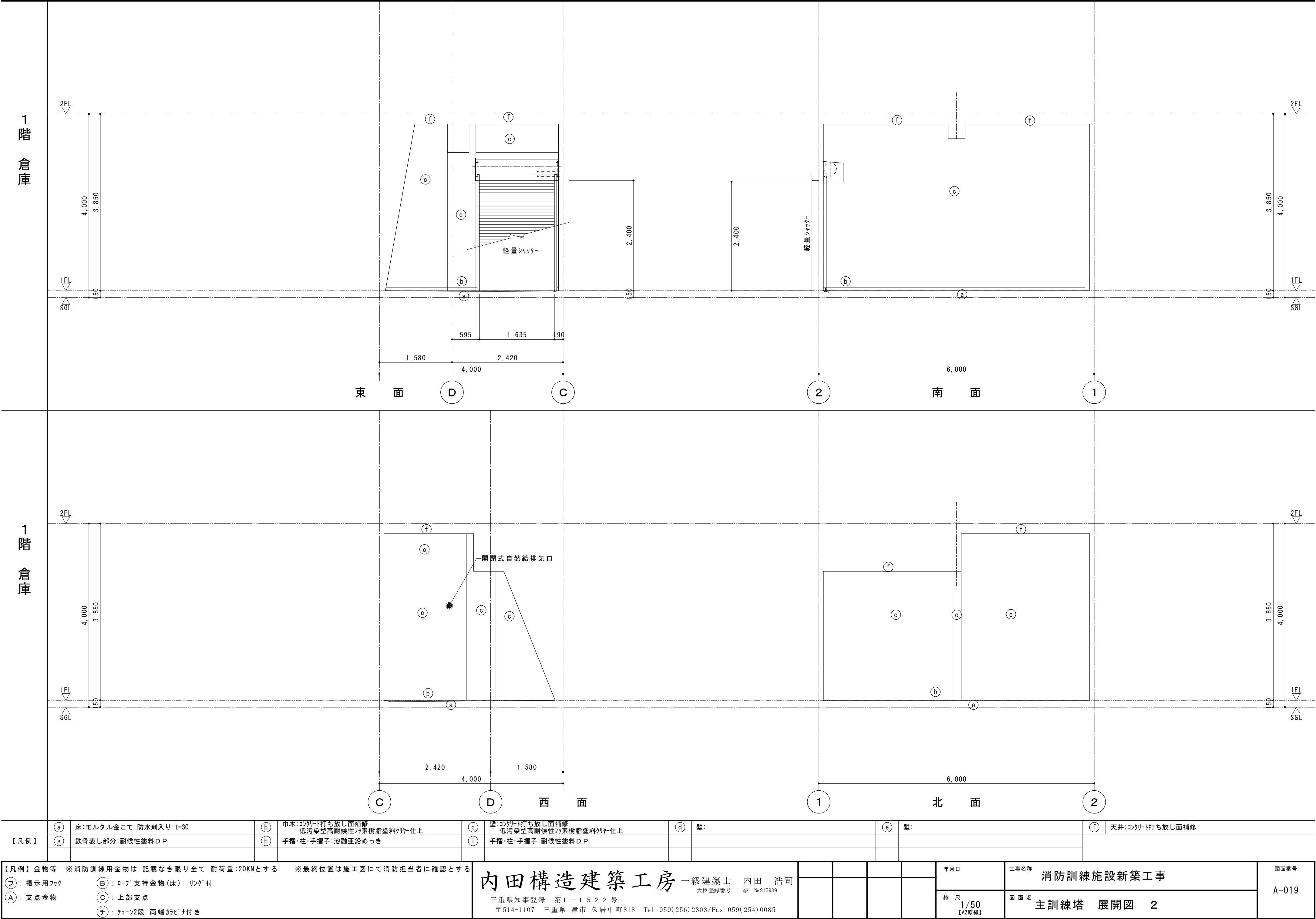
【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者に確認とする					内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085		年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-016
㊦: 揭示用フック	㊢: ロ-フ 支持金物(床) リンク 付き	㊤: 支点金物	㊣: 上部支点	㊤: チェーン2段 両端がピン付き			縮尺 1/50・1/10 【A2原紙】	図面名 断面詳細図 1	

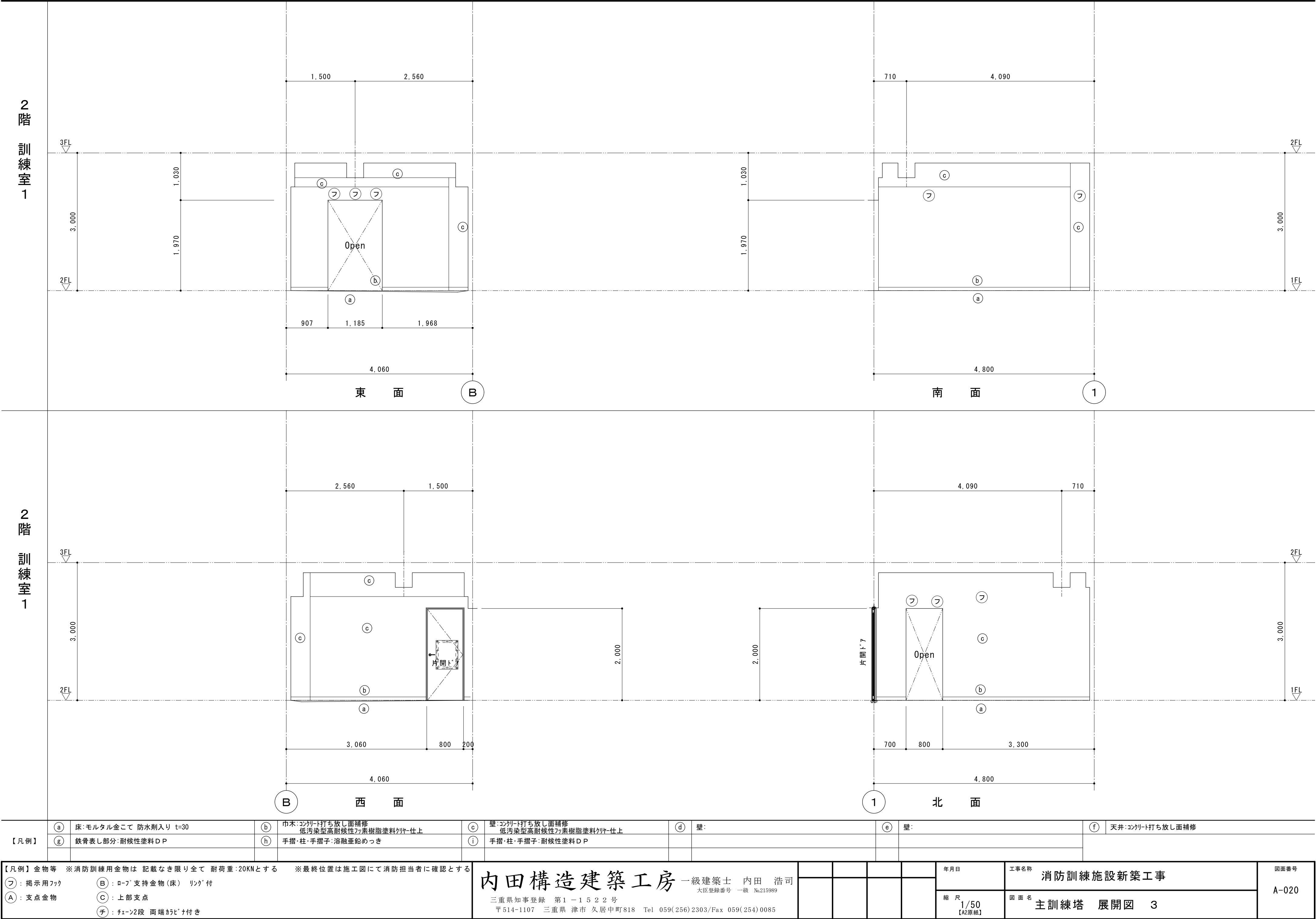


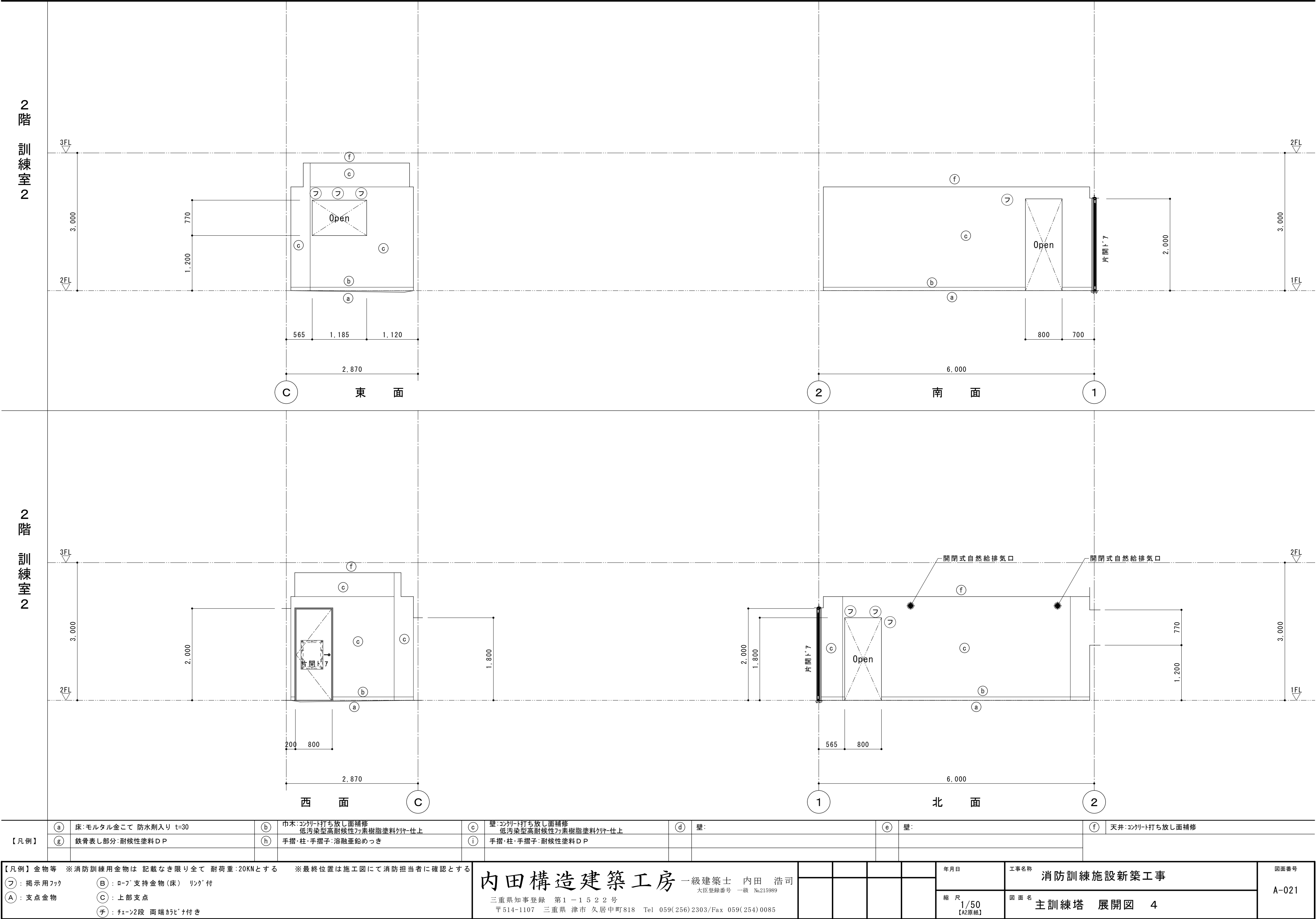
【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者に確認とする				内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日		工事名称 消防訓練施設新築工事		図面番号 A-017	
㊦: 揭示用フック		㊢: ロ-フ 支持金物(床) リンク 付き						縮 尺 1/50 【A2原紙】		図面名 断面詳細図 2			
㊦: 支点金物		㊢: 上部支点											
㊦: チェーン2段 両端からピン付き													

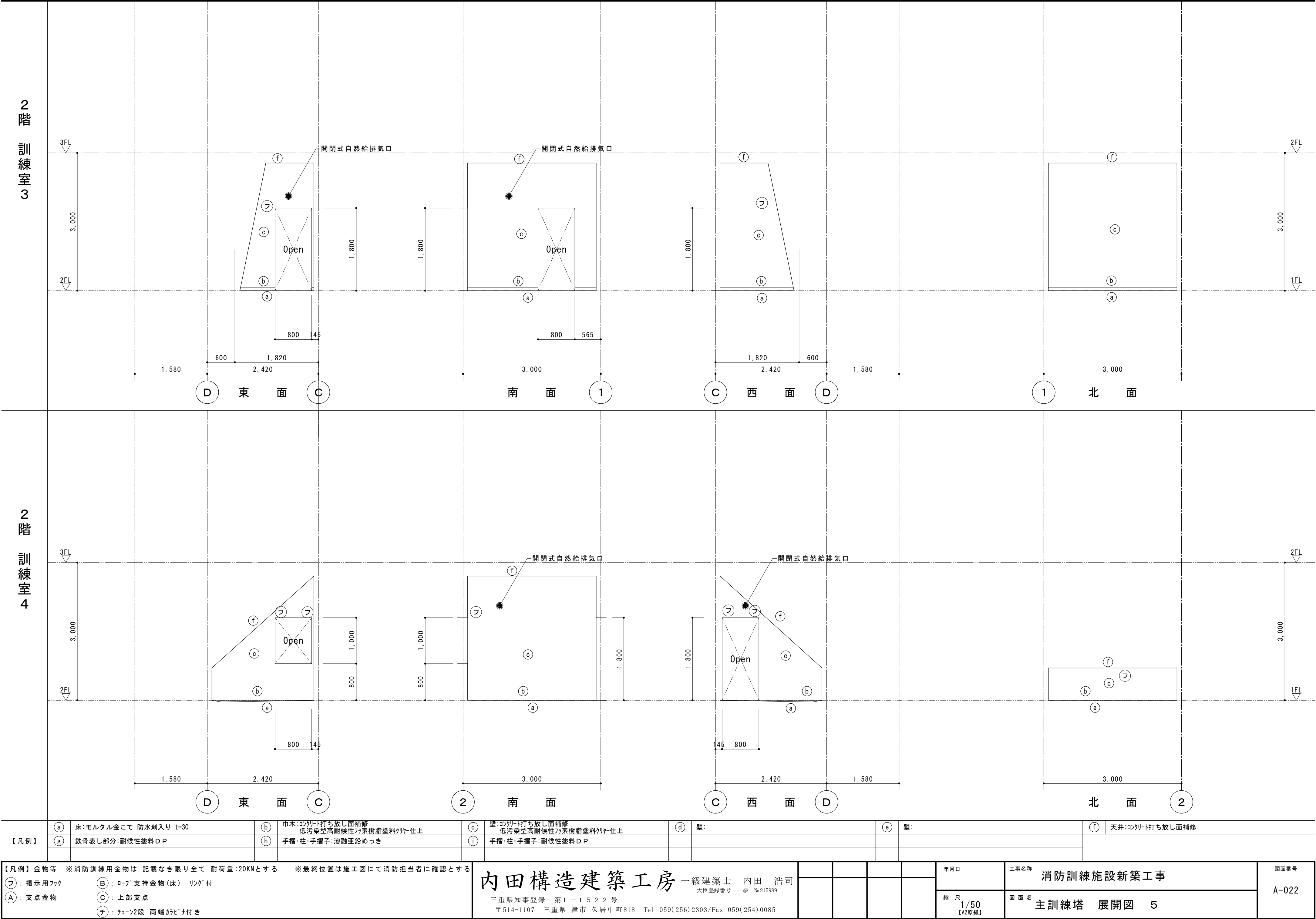
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

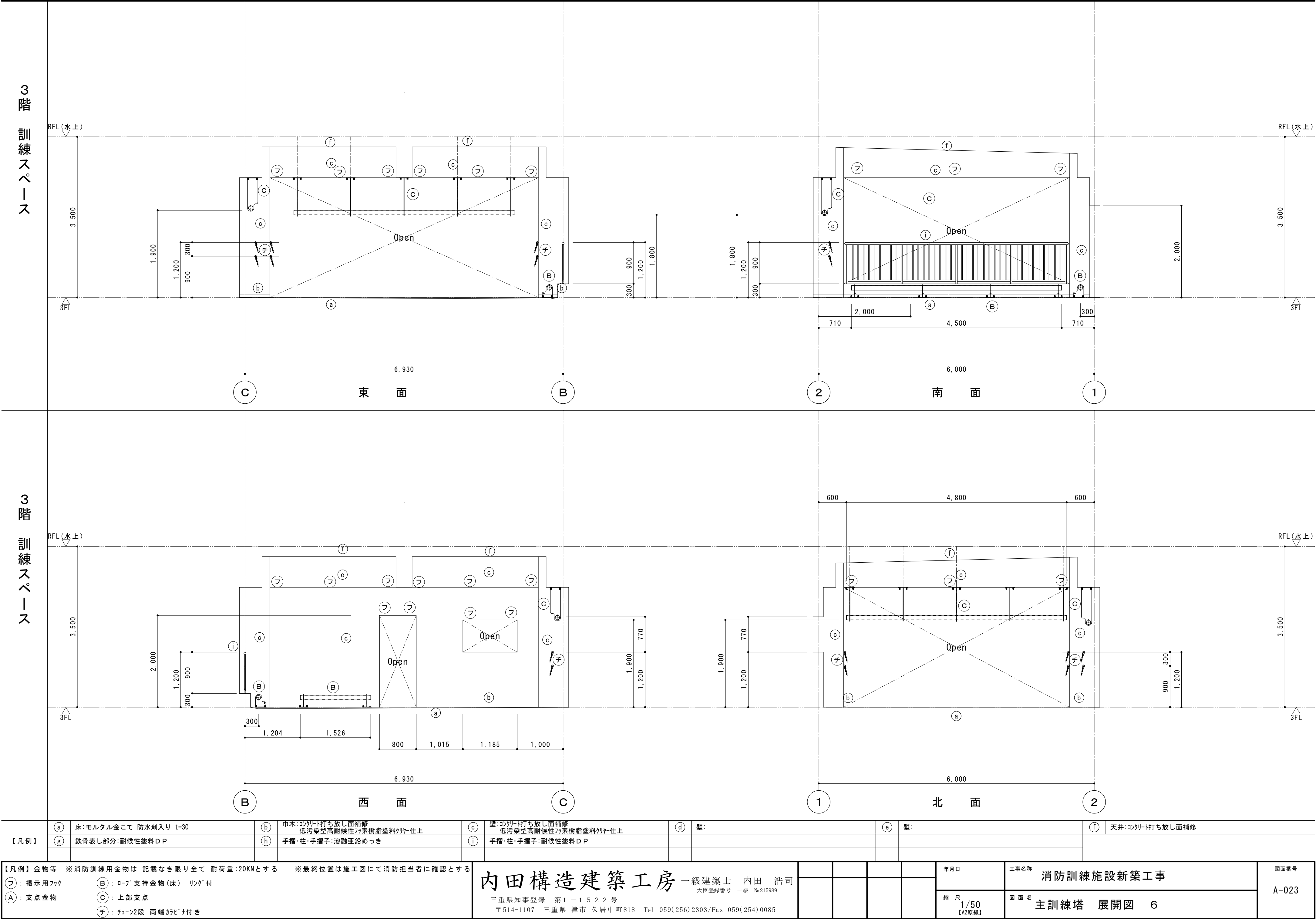












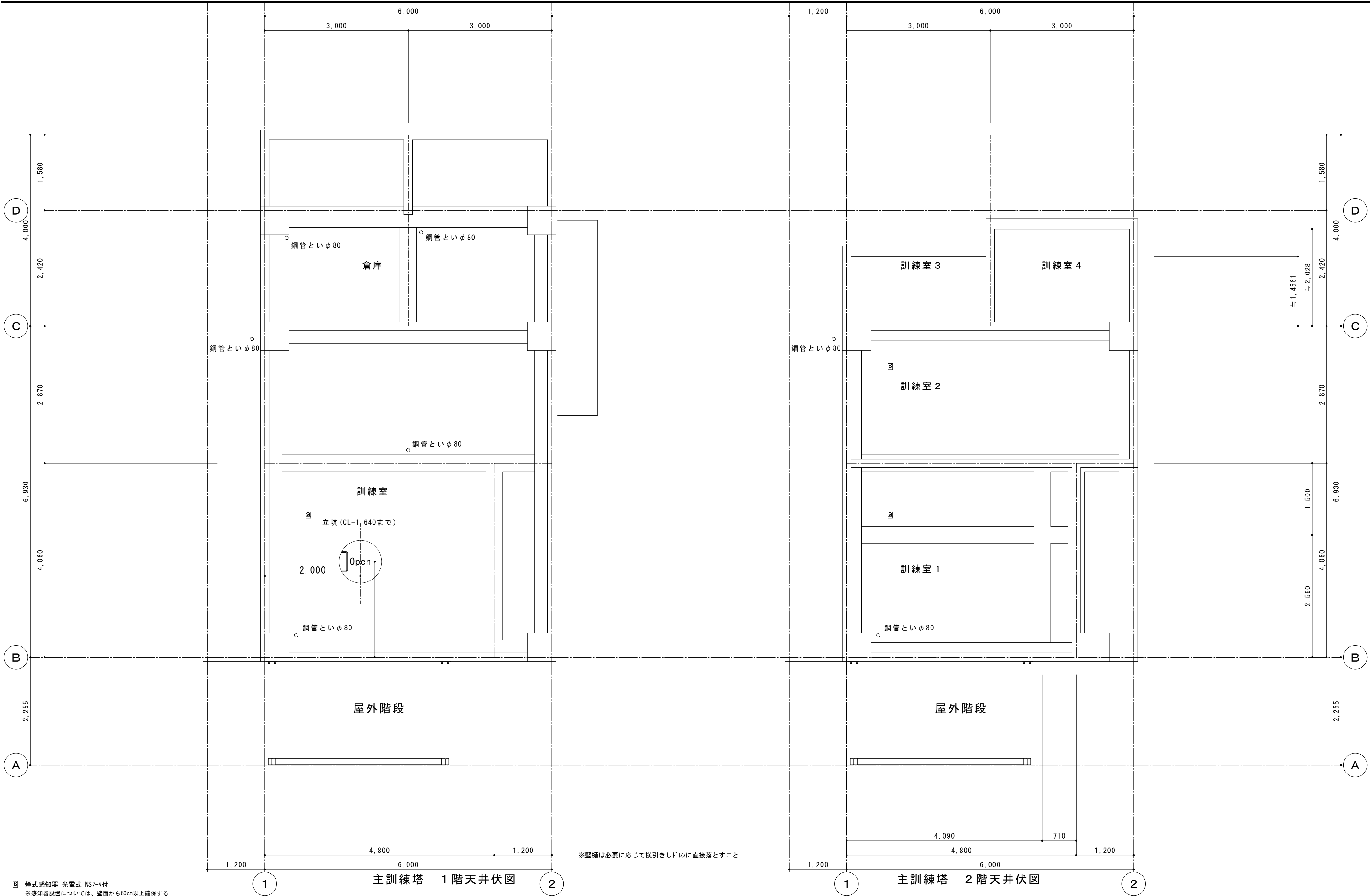
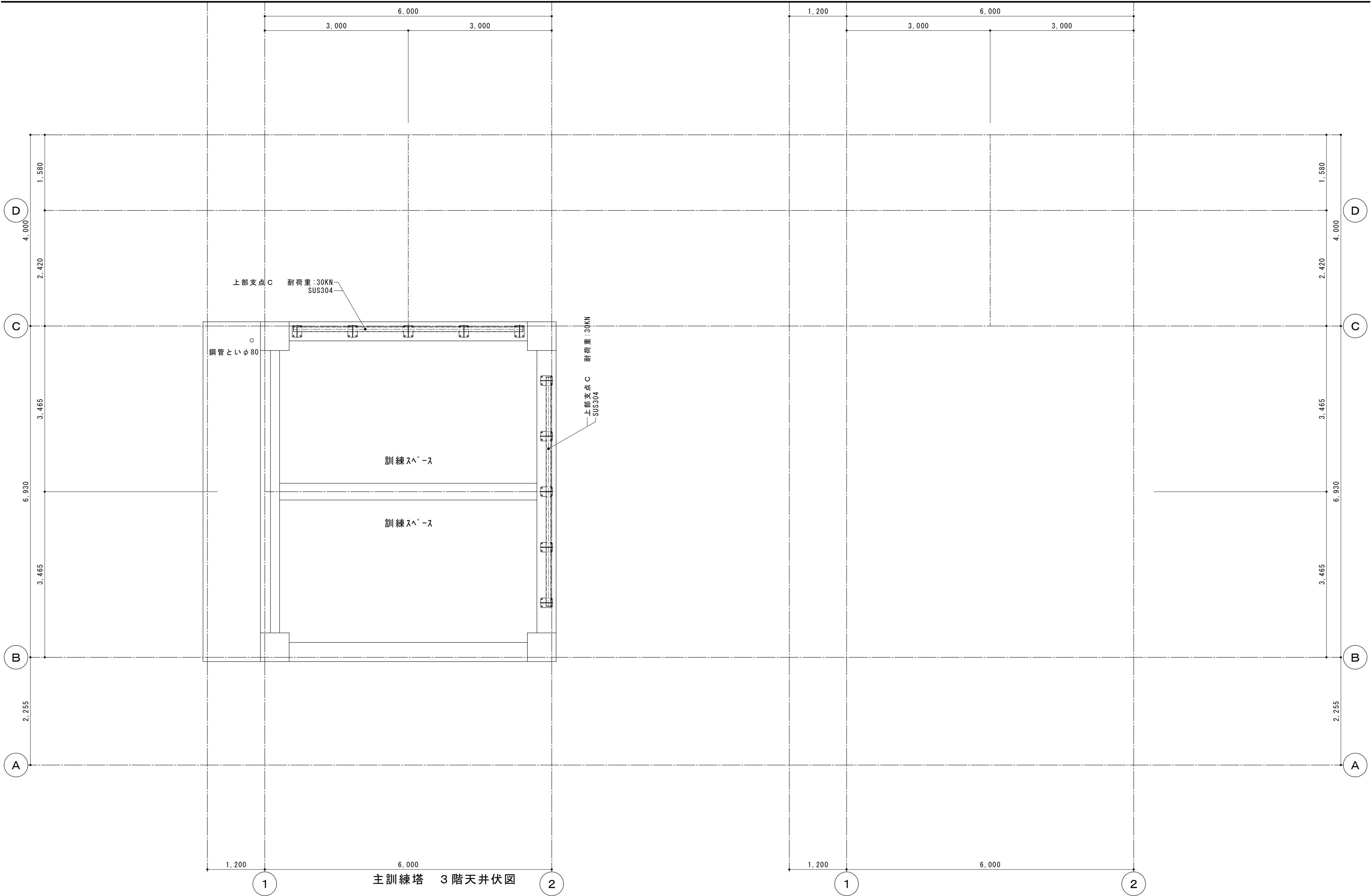


図 煙式感知器 光電式 NSマーク付
※感知器設置については、壁面から60cm以上確保する

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1-1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事		図面番号 A-024
縮尺 1/50 【A2原紙】	図面名 主訓練塔 1階・2階天井伏図		



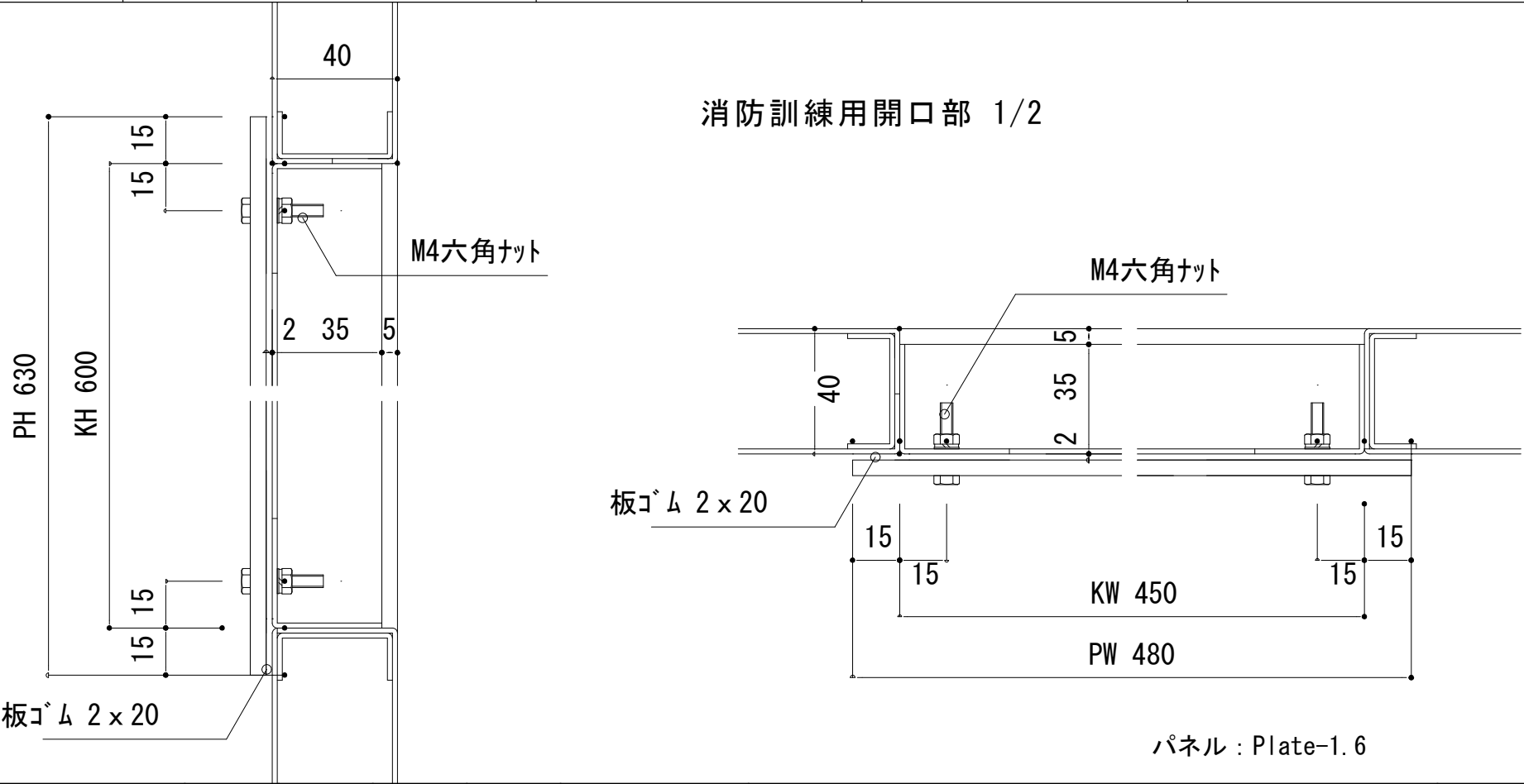
	内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-025
							縮尺 1/50 【A2原紙】	図面名 主訓練塔 3階天井伏図

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085

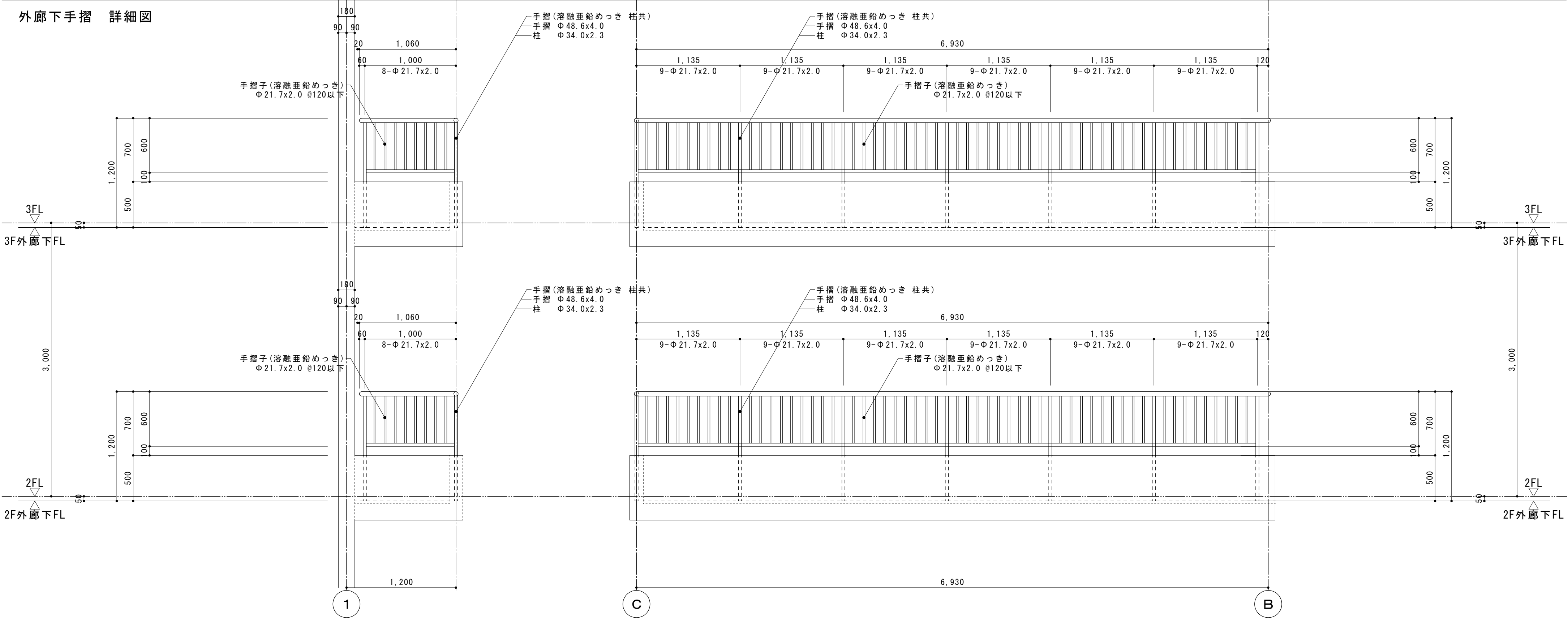
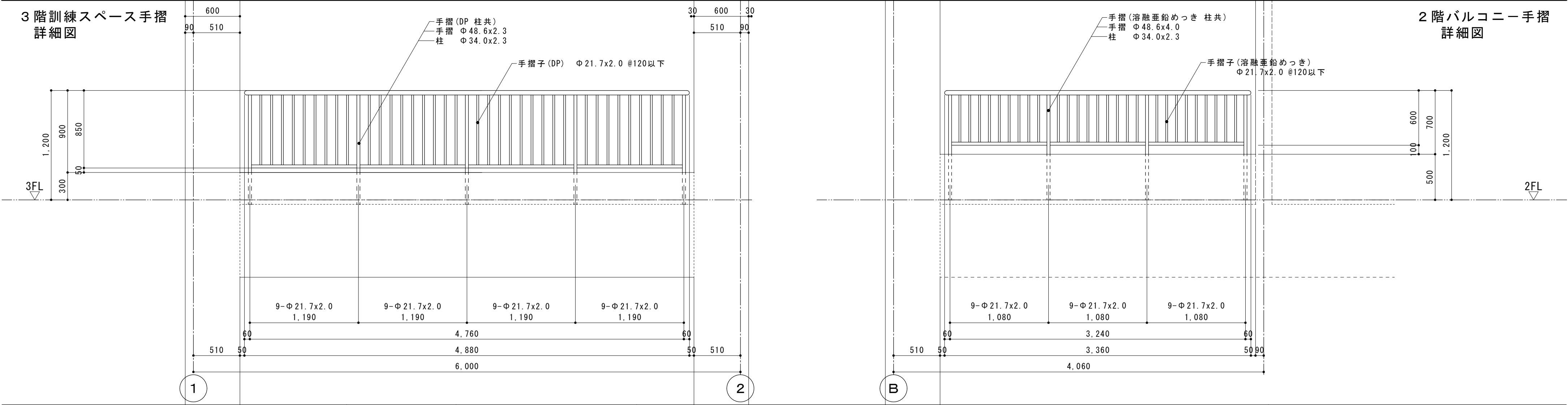
符号・数量			SD3 主訓練塔 1F訓練室			SD6 主訓練塔 2F訓練室1		SD8 主訓練塔 2F訓練室2			
形 状											
形 式			鋼製片開ド ⁷			鋼製片開ド ⁷		鋼製片開ド ⁷			
材 質			鋼板 t=1.6			鋼板 t=1.6		鋼板 t=1.6			
見 込			40mm 枠 100mm			40mm 枠 100mm		40mm 枠 100mm			
仕 上			焼付塗装			焼付塗装		焼付塗装			
ガ ラ ス											
金 物			シリンダ ⁶ -錠 (内開片開 ⁷)・サ-ミナルド ⁸ -DC 丁番 ⁹ -スリム番指 ¹⁰ -標準金物一式			シリンダ ⁶ -錠 (内開片開 ⁷)・サ-ミナルド ⁸ -DC 丁番 ⁹ -ド ⁷ ガ ¹¹ -ド ¹² -スリム番指 ¹⁰ -標準金物一式		シリンダ ⁶ -錠 (内開片開 ⁷)・サ-ミナルド ⁸ -DC 丁番 ⁹ -ド ⁷ ガ ¹¹ -ド ¹² -スリム番指 ¹⁰ -標準金物一式			

符号・数量	SS1 主訓練塔 倉庫	SS2 主訓練塔 訓練室									
形 状											
形 式	軽量手動スチ-ルシャッター 露出納まり RC直付 錠付	軽量手動スチ-ルシャッター 外壁後付タイフ 錠付									
材 質	ケース: 鈑-鋼板 0.4t・スラット: 鈑-鋼板 0.5t カ ¹ イ ² ド ³ レ ⁴ ル ⁵ ・マ ⁶ サ ⁷ 座板: SUS製	ケース: 鈑-鋼板 0.4t・スラット: 鈑-鋼板 0.3t カ ¹ イ ² ド ³ レ ⁴ ル ⁵ ・マ ⁶ サ ⁷ ケース: 座板: 7&5									
見 込											
仕 上											
ガ ラ ス											
金 物											

符号・数量											
形 状											
形 式											
材 質											
見 込											
仕 上											
ガ ラ ス											
金 物											

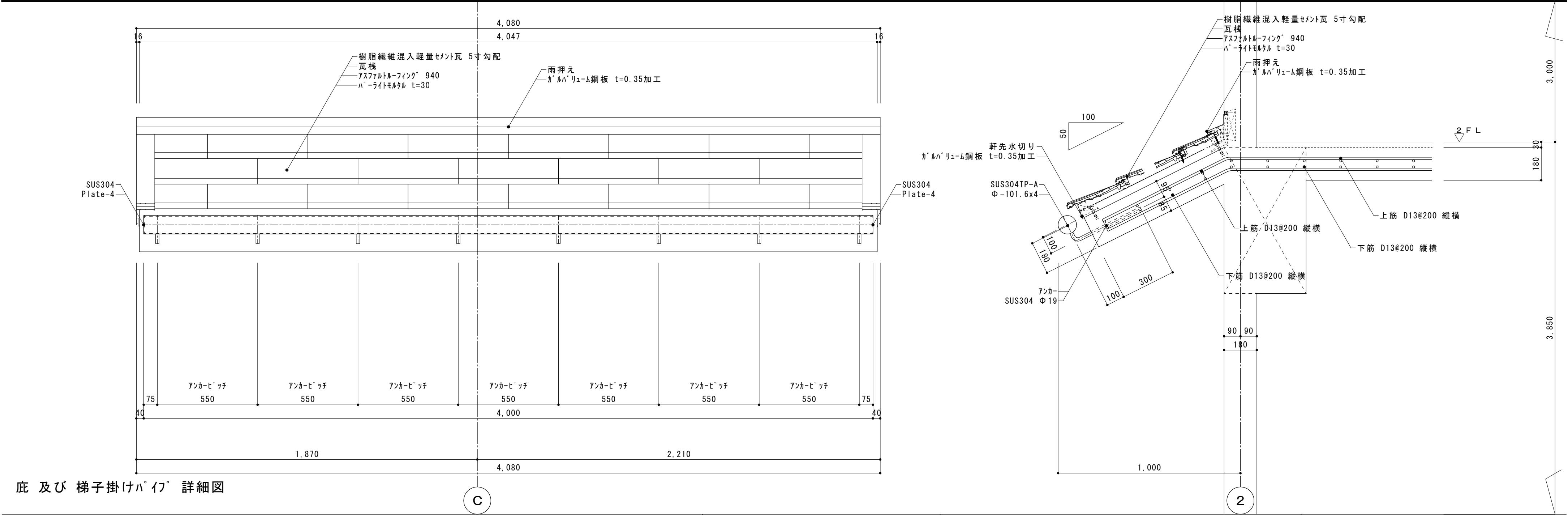


消防法上の無窓階計算に算入する建具について、開口部から道に通ずる通路幅は“1m”以上である。 消防開口に算入する建具は、内側から鍵を用いずに手動で開放可能である。					内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085								年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-026
													縮 尺 1/50 1/2 【A2原紙】	図 面 名 建具表	



年月日				工事名称 消防訓練施設新築工事		図面番号 A-027
縮尺 1/30 【A2原紙】				図面名 主訓練塔 手摺 詳細図		

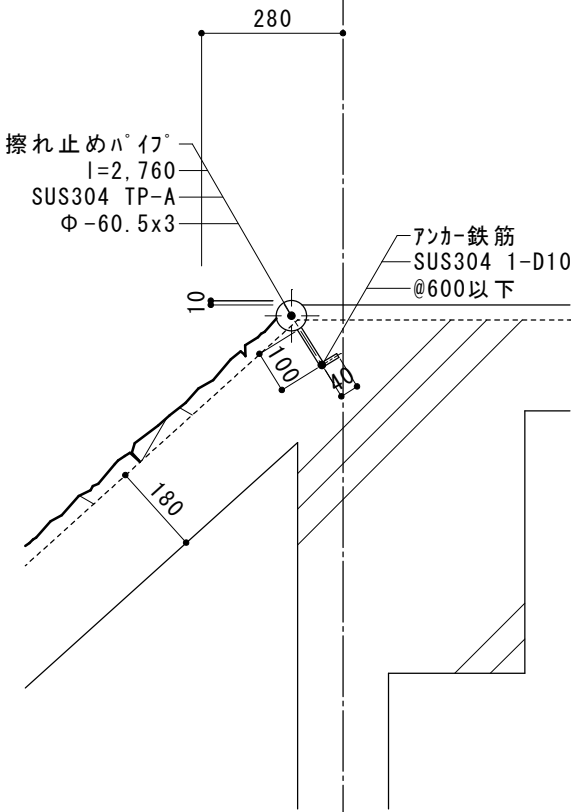
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085



底 及 び 梯子掛けハコ 詳細図

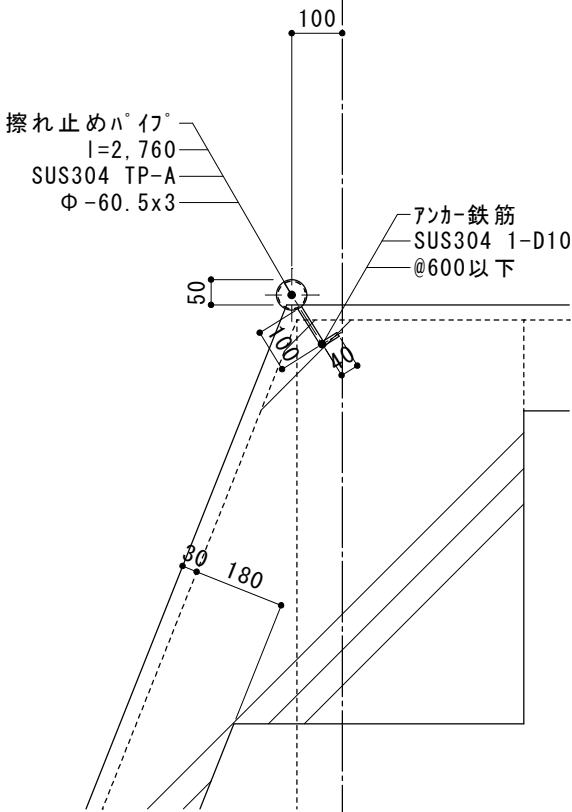
C

2



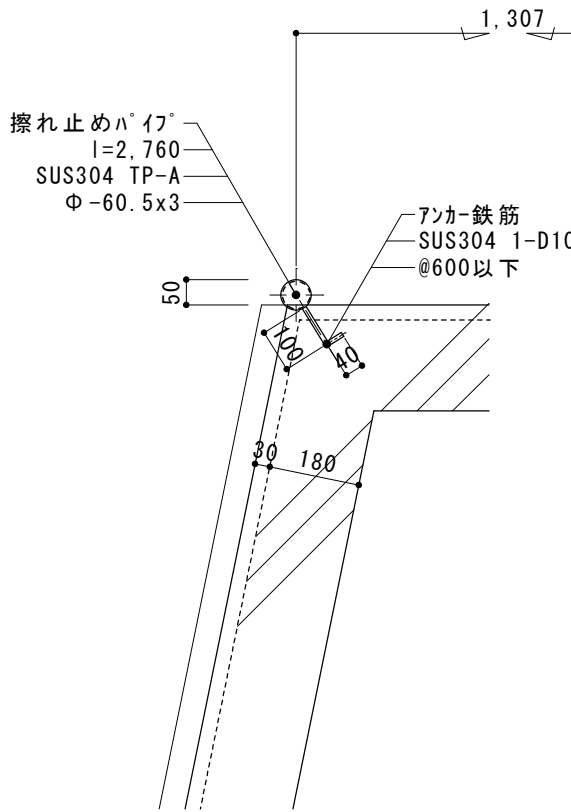
主訓練塔 山岳訓練斜面3F
擦れ止めハコ 詳細図

C



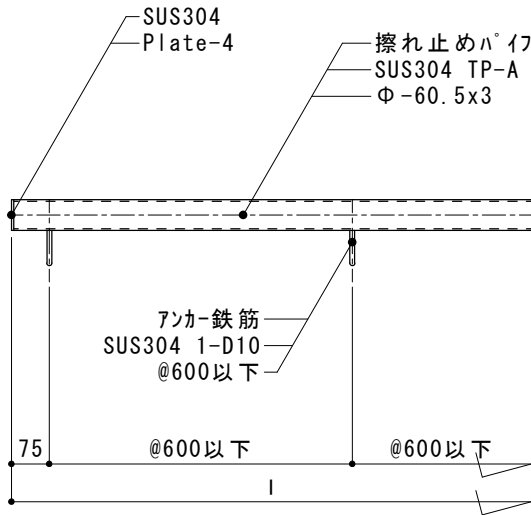
主訓練塔 登坂訓練斜面2F
擦れ止めハコ 詳細図

D

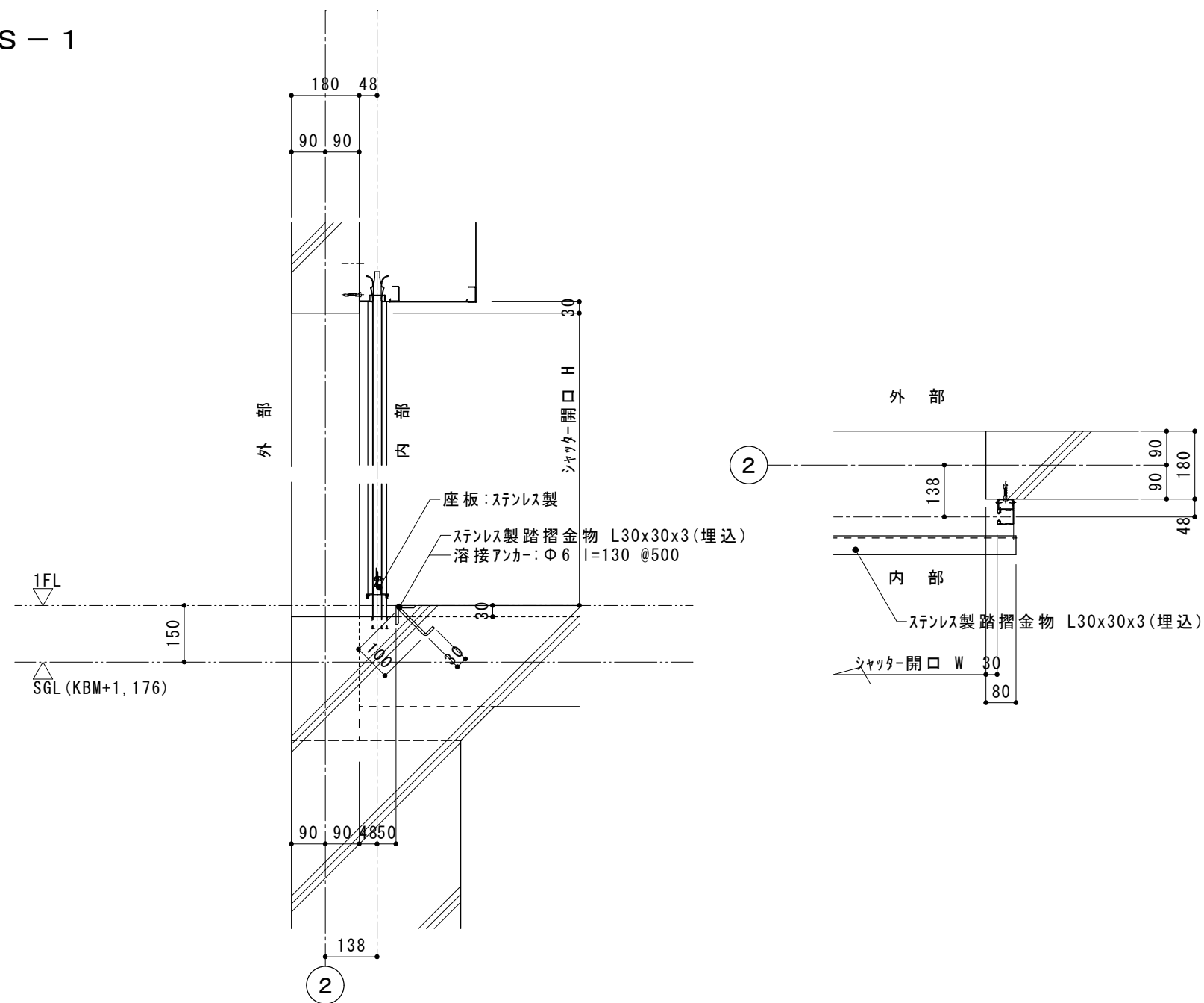


主訓練塔 登坂訓練斜面3F
擦れ止めハコ 詳細図

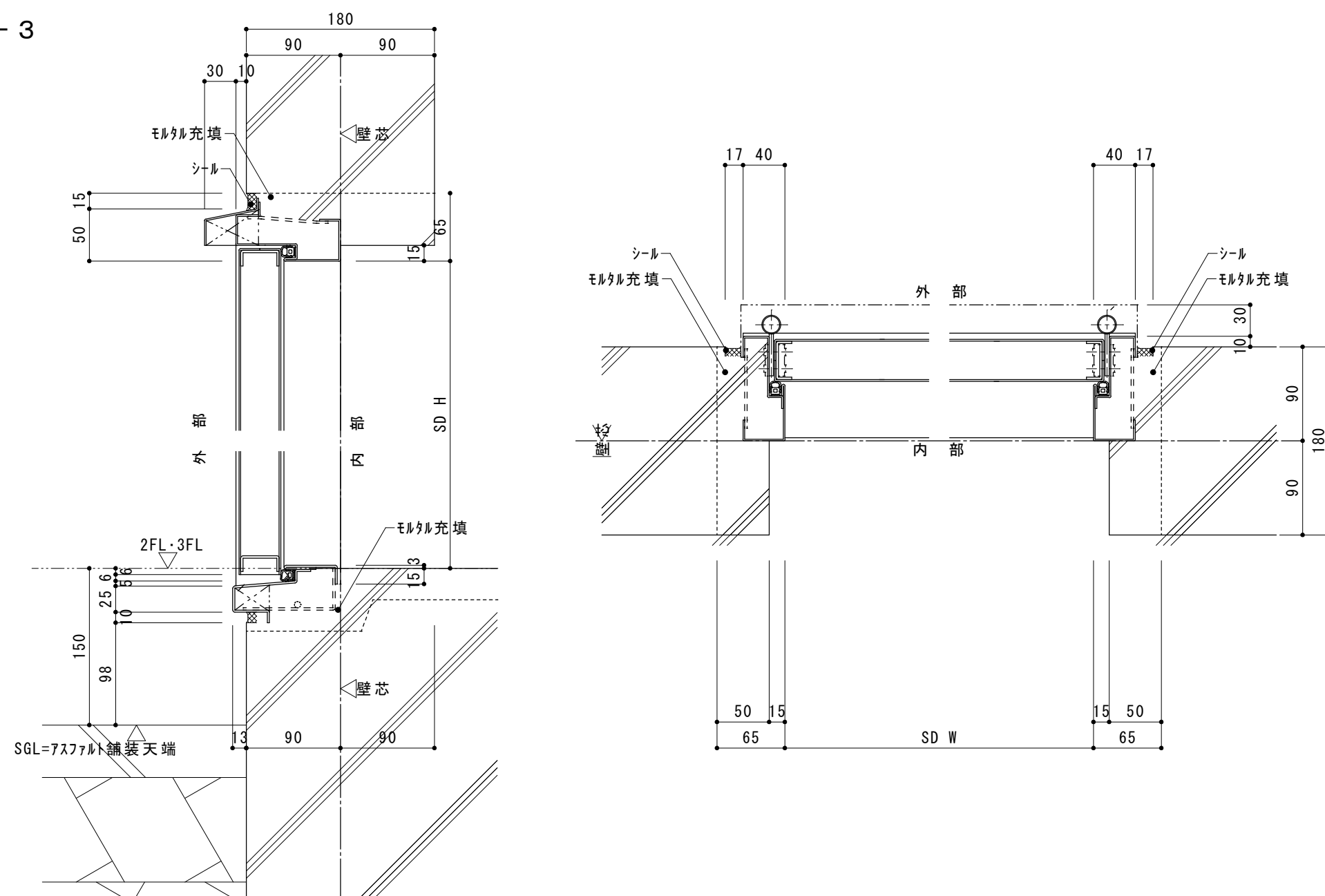
D



SS - 1



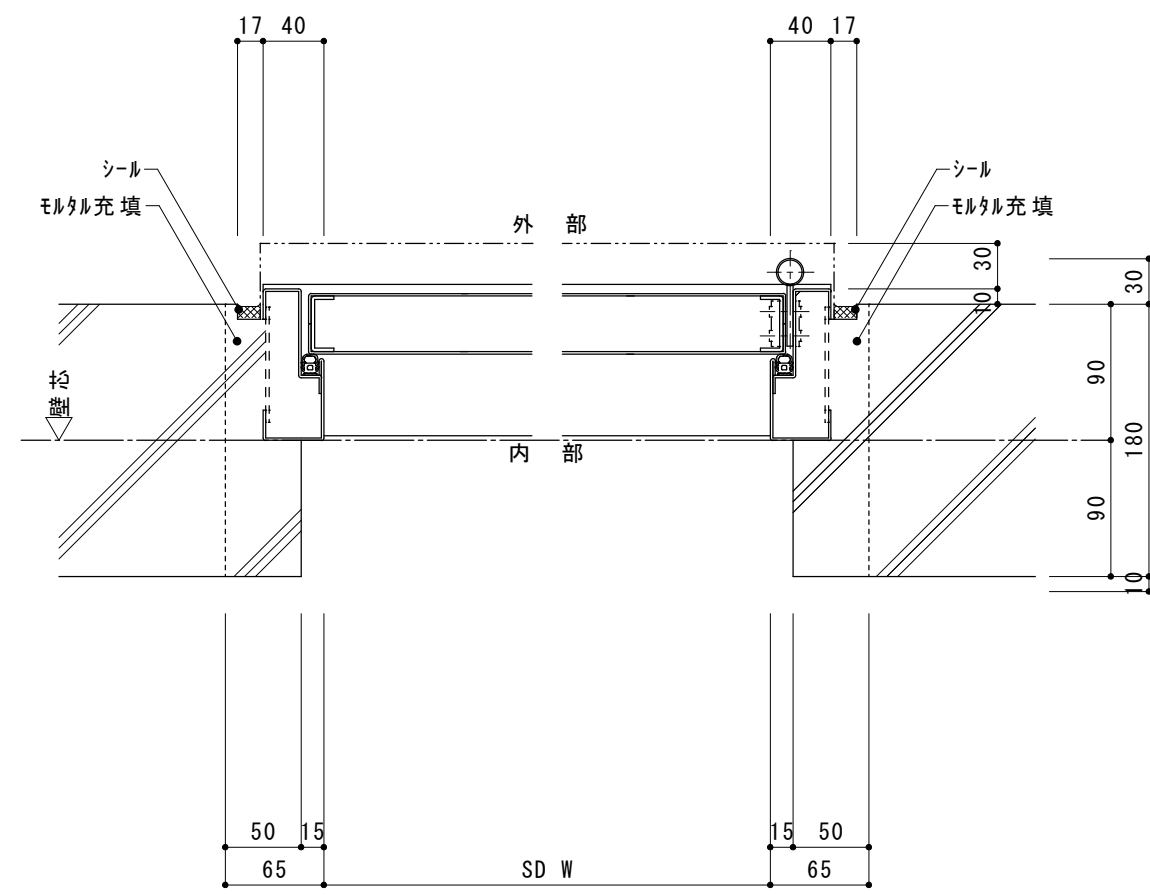
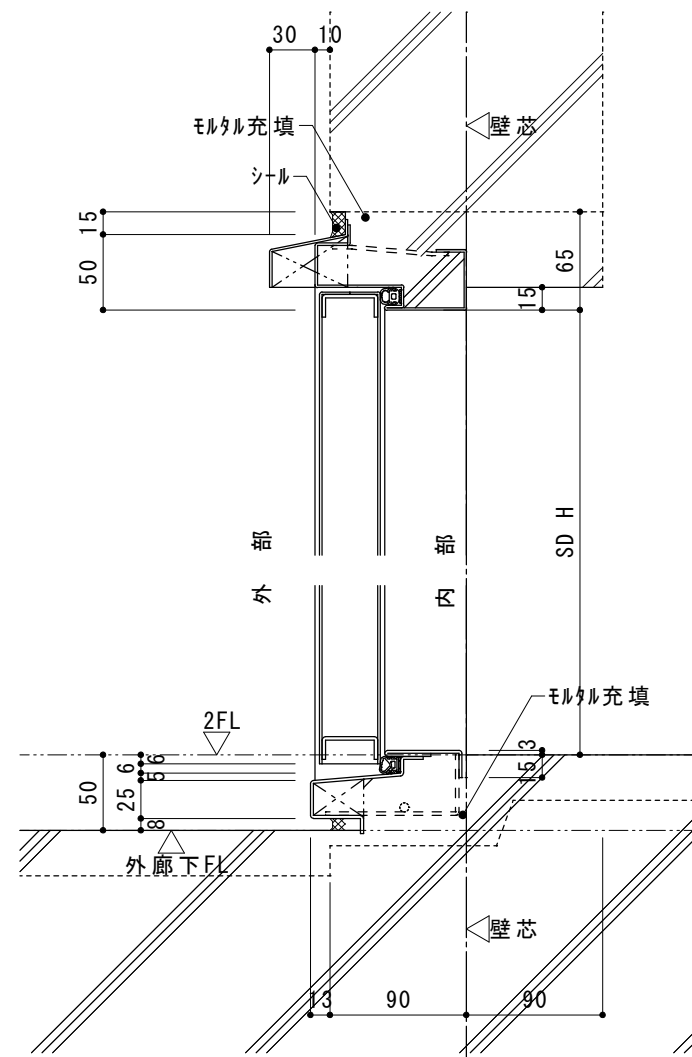
S D - 3



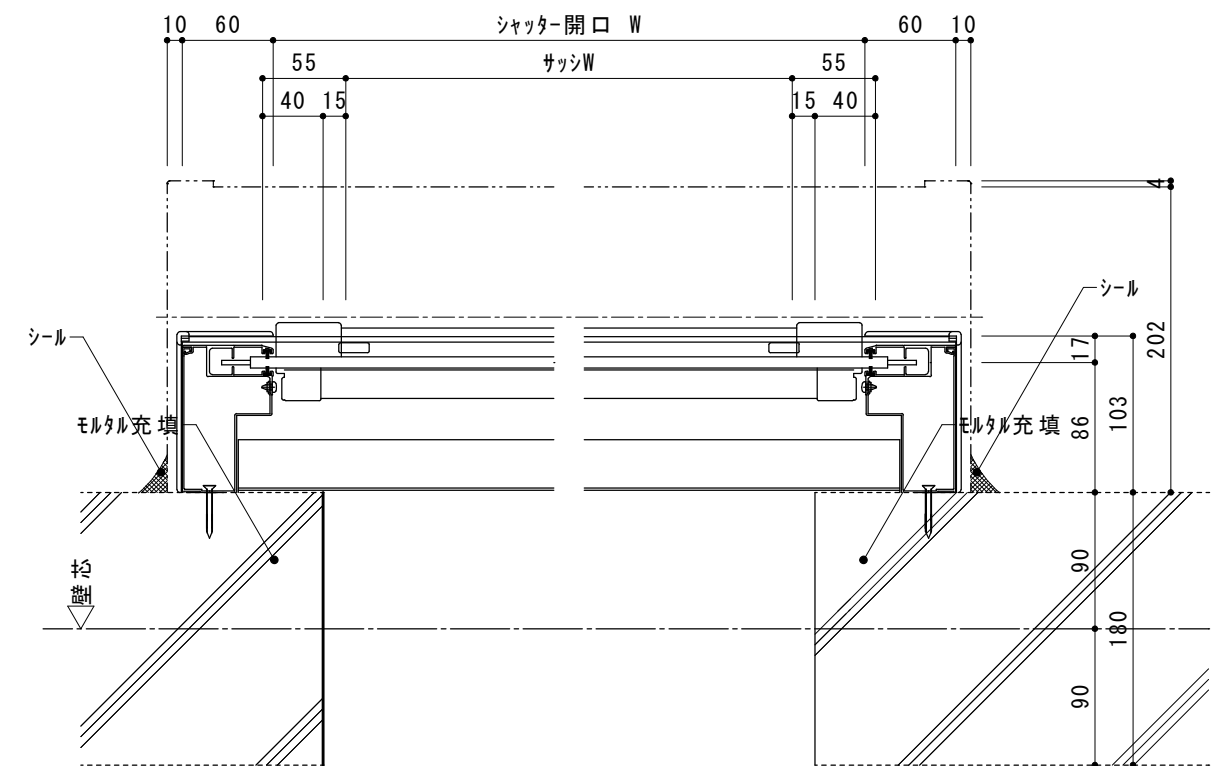
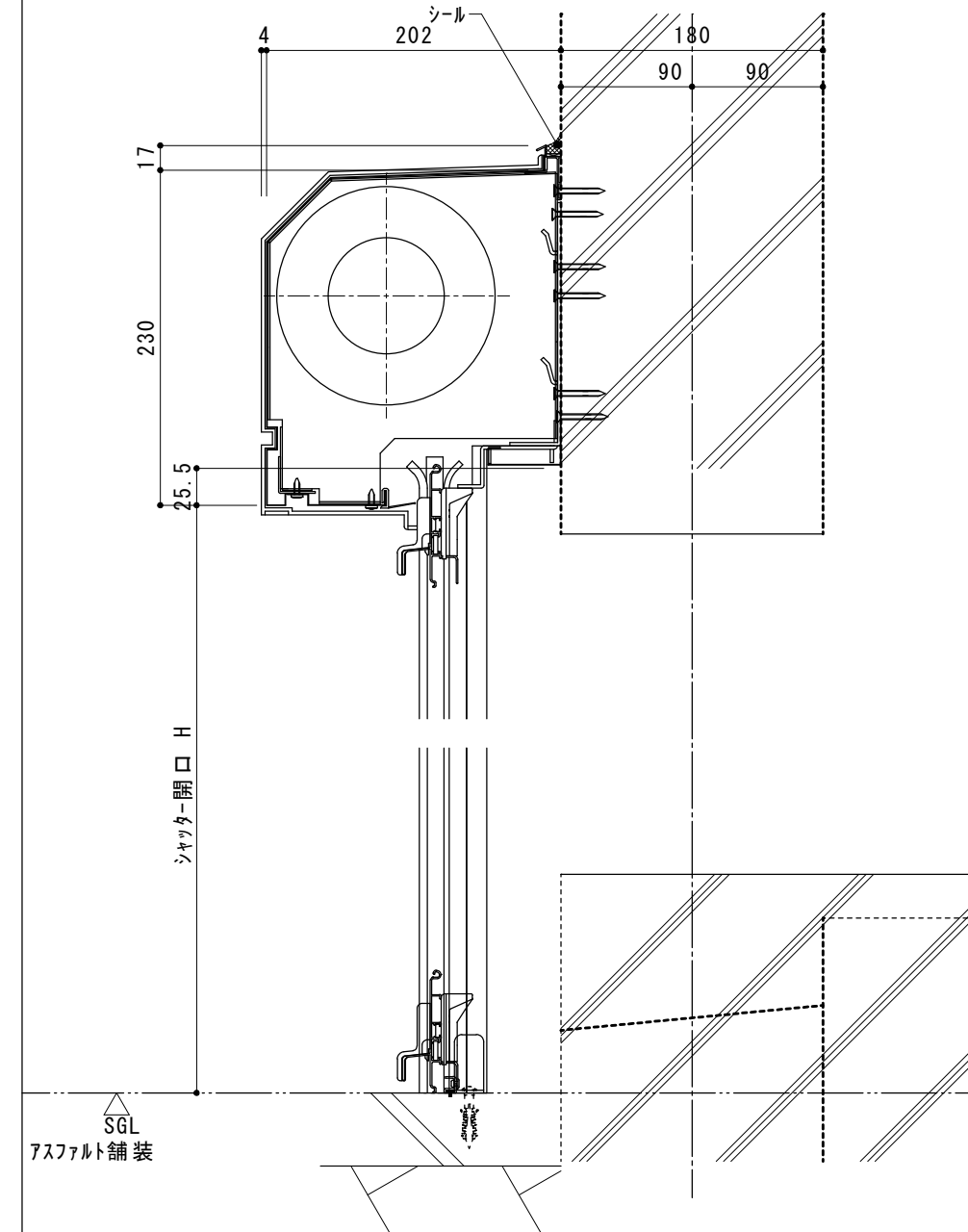
三重県知事登録 第1-1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-029
縮尺 1/15・1/5 【A2原紙】	図面名 部分詳細図 2	

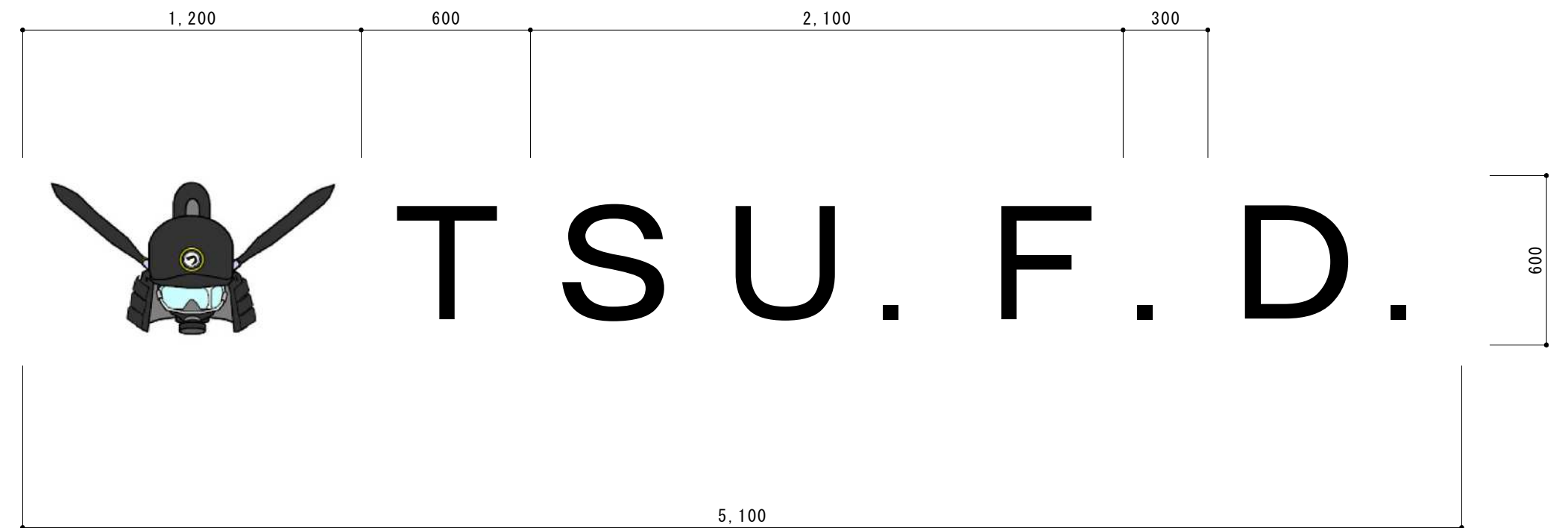
S D - 6 . 8



主訓練塔 1 階後付シャッター 納り図 s=1/5 SS-2



主訓練塔 箱文字壁面サイン s=1/20



ステンレス箱文字
H600 D10
SUS焼付塗装

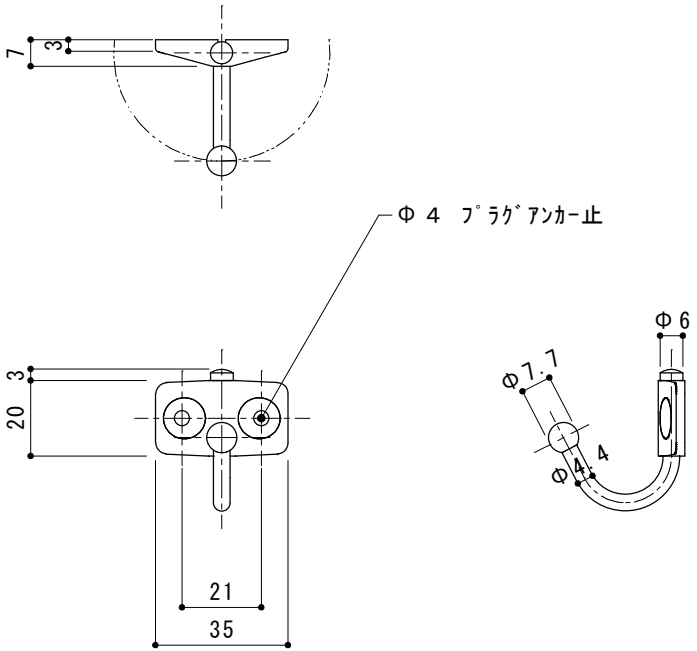
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 Na215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-030
					縮尺 1/5・1/20 【A2原紙】	図面名 部分詳細図 3	

㊦ 掲示用フック S=1/2 SUS304 製 耐荷重 118Ntype

1 階：10ヶ所

2 階：25ヶ所

3 階：22ヶ所

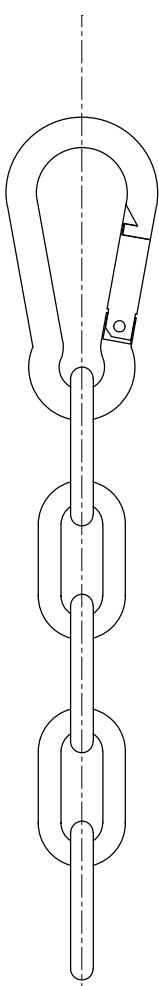


㊧ チェーン2段 両端カラビナ付き S=1/2

SUS304 製 止側リンク 環 耐荷重 1,100Ntype

SUS304 製 カラビナ 耐荷重 1,100Ntype

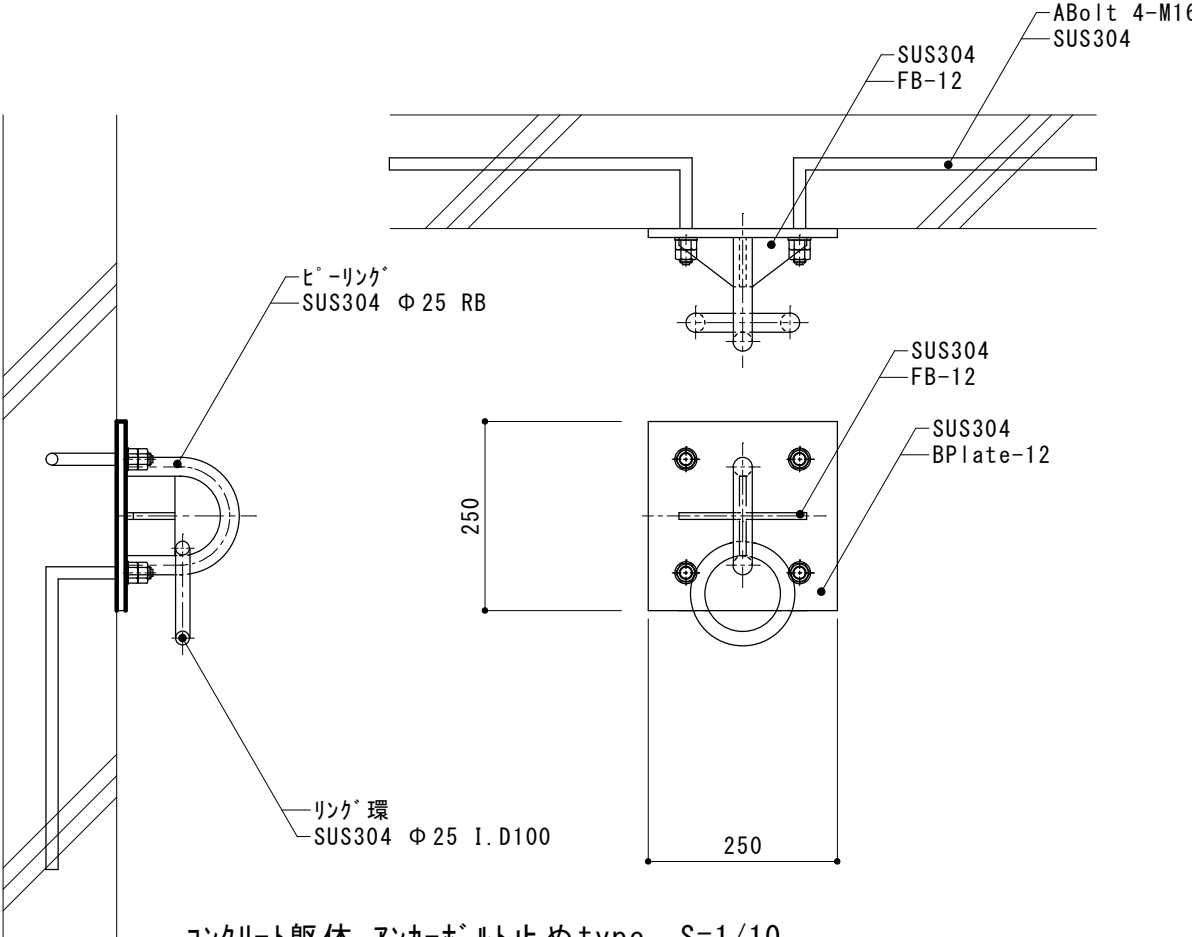
SUS304 製 チェーン 耐荷重 1,100Ntype



屋外階段：1ヶ所 (W:850程度)

3 階：2ヶ所 (W:4980, 5910程度)

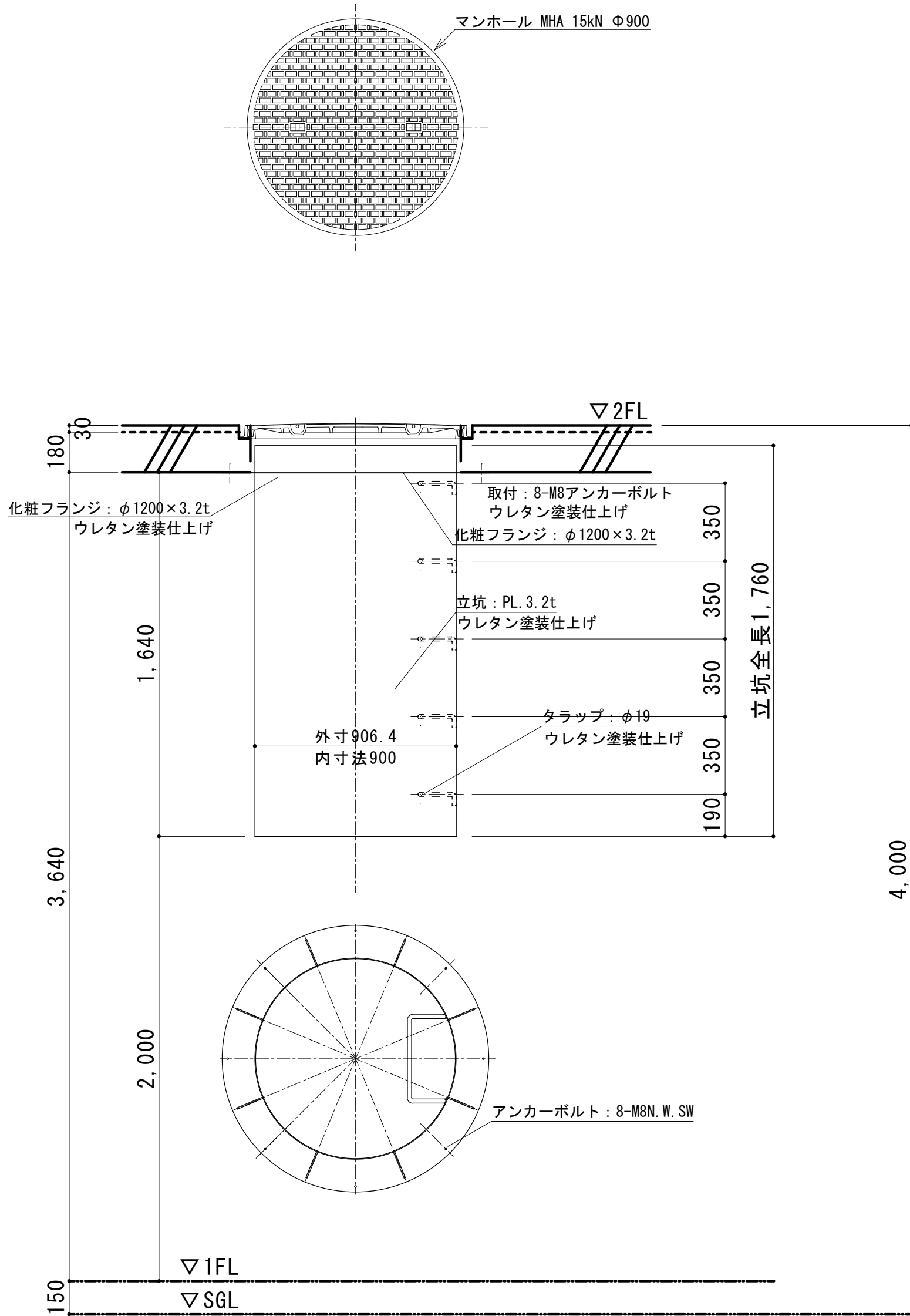
㊨ 支持金物 A ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする プラスチック製耐荷重表示板張り s=1/10



2 階：2ヶ所

3 階：2ヶ所

登坂面：5ヶ所

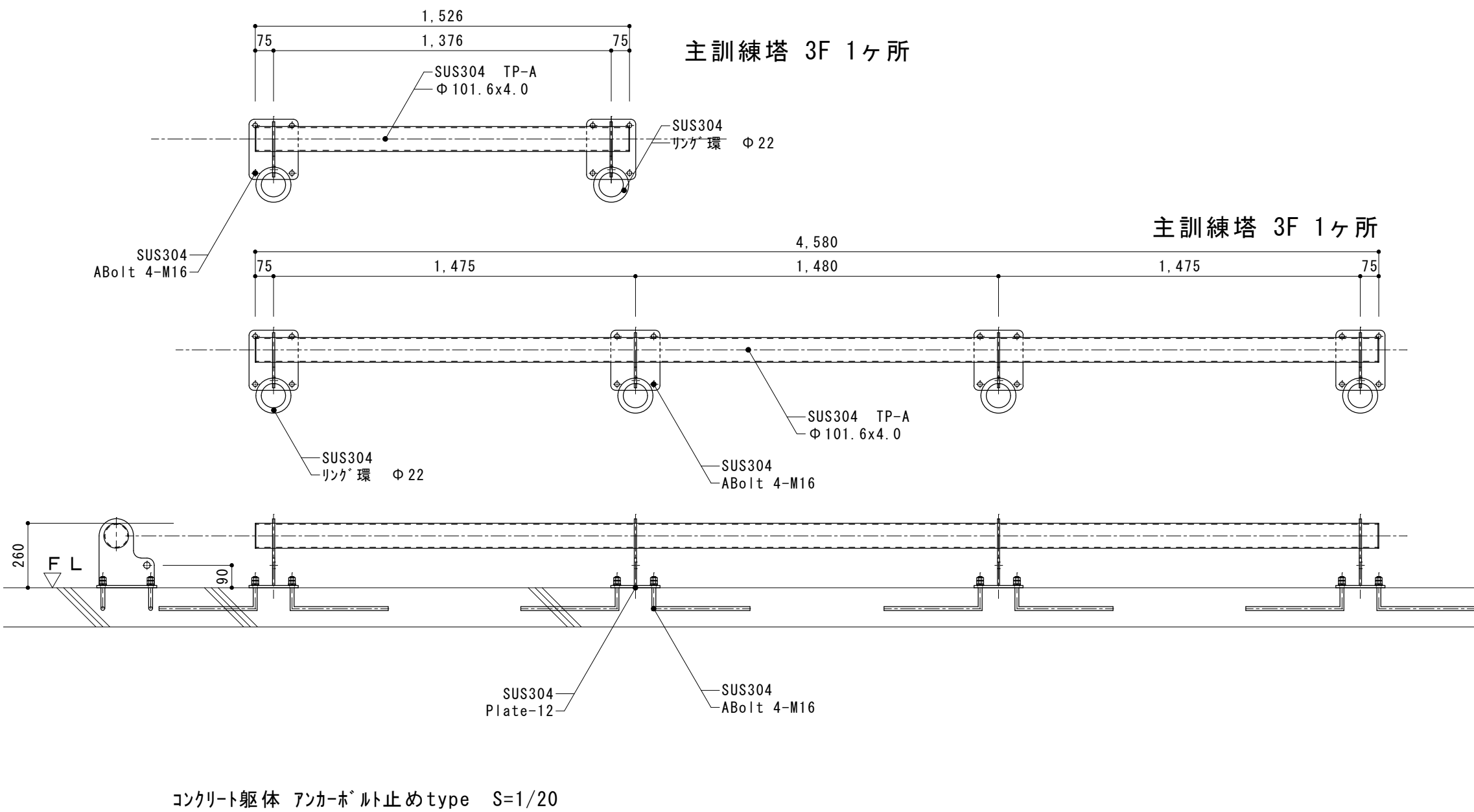


					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 A-031
					縮尺 1/30・1/2・1/10 【A2原紙】		

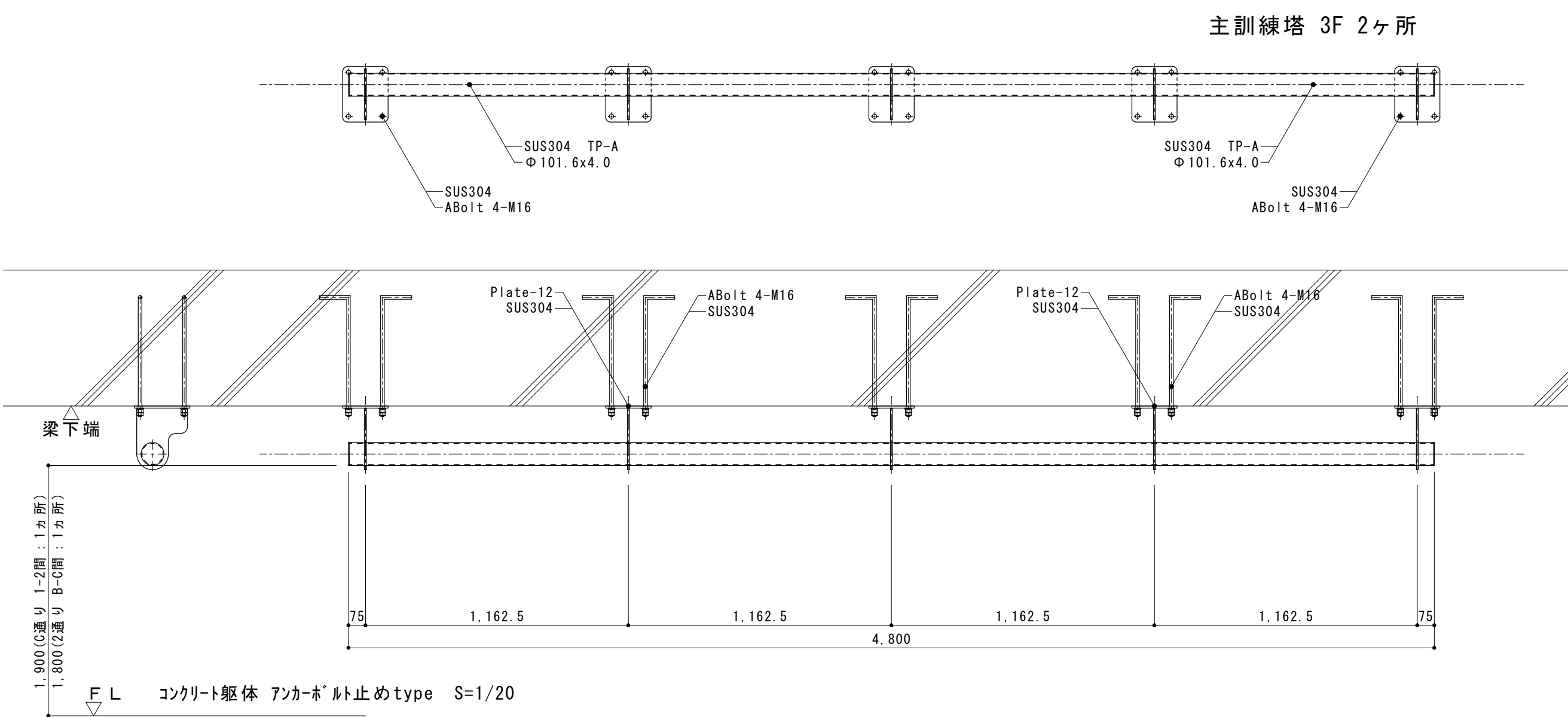
内田構造建築工房

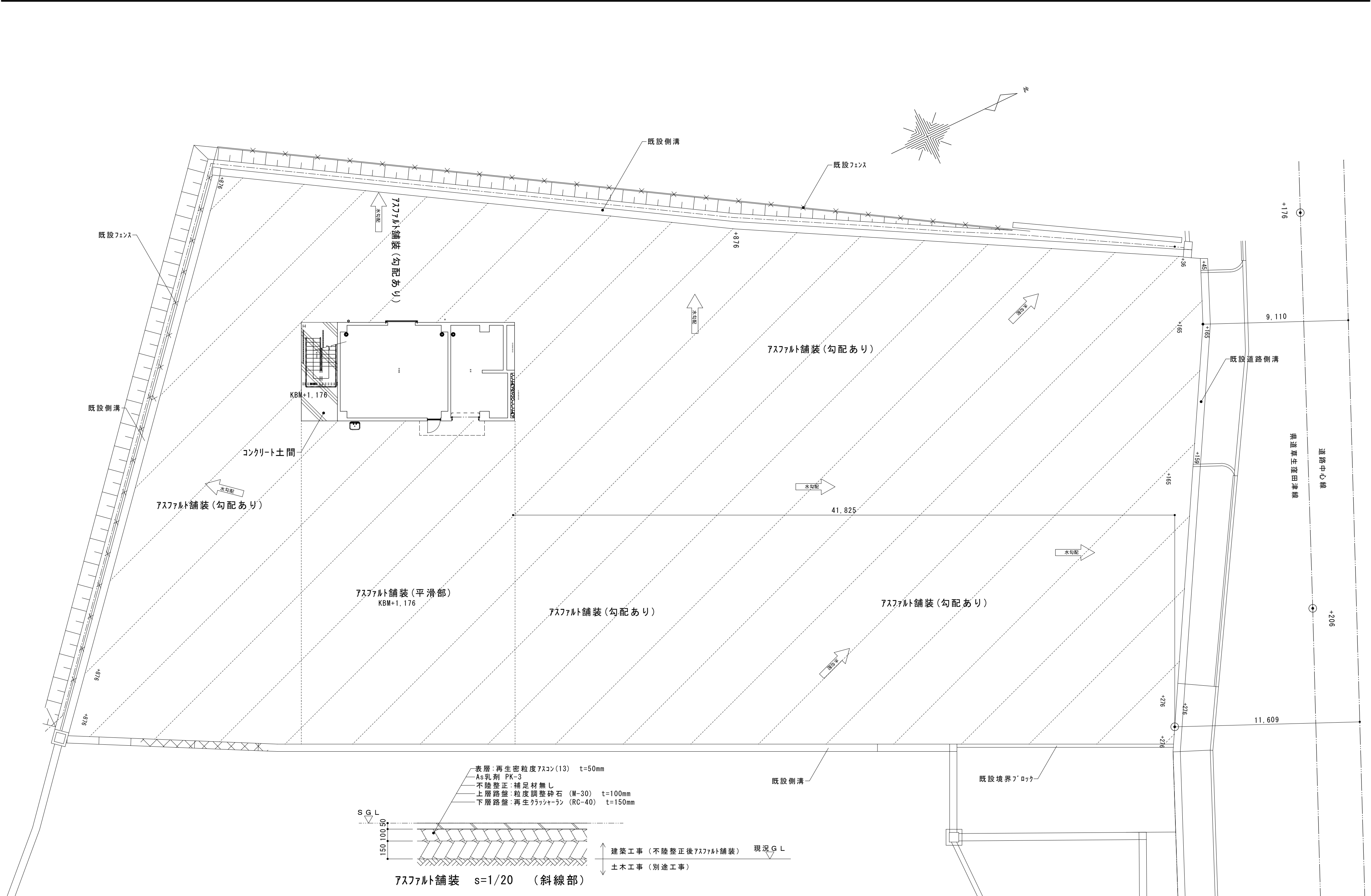
一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989

三重県知事登録 第1－1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085



※主訓練塔 3F 耐荷重:30KNとする





						年月日	工事名称	図面番号
							消防訓練施設新築工事	
内田構造建築工房				一級建築士	内田 浩司	縮 尺	図 面 名	A-033
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号				大臣登録番号	一級 Na215989	1/150	外構図	
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085								

凡例

----- 仮囲い:ガードフェンス H=1800

キャストケーシング W=6000 H=1800

養生鉄板敷き t = 22

カラーコンバー

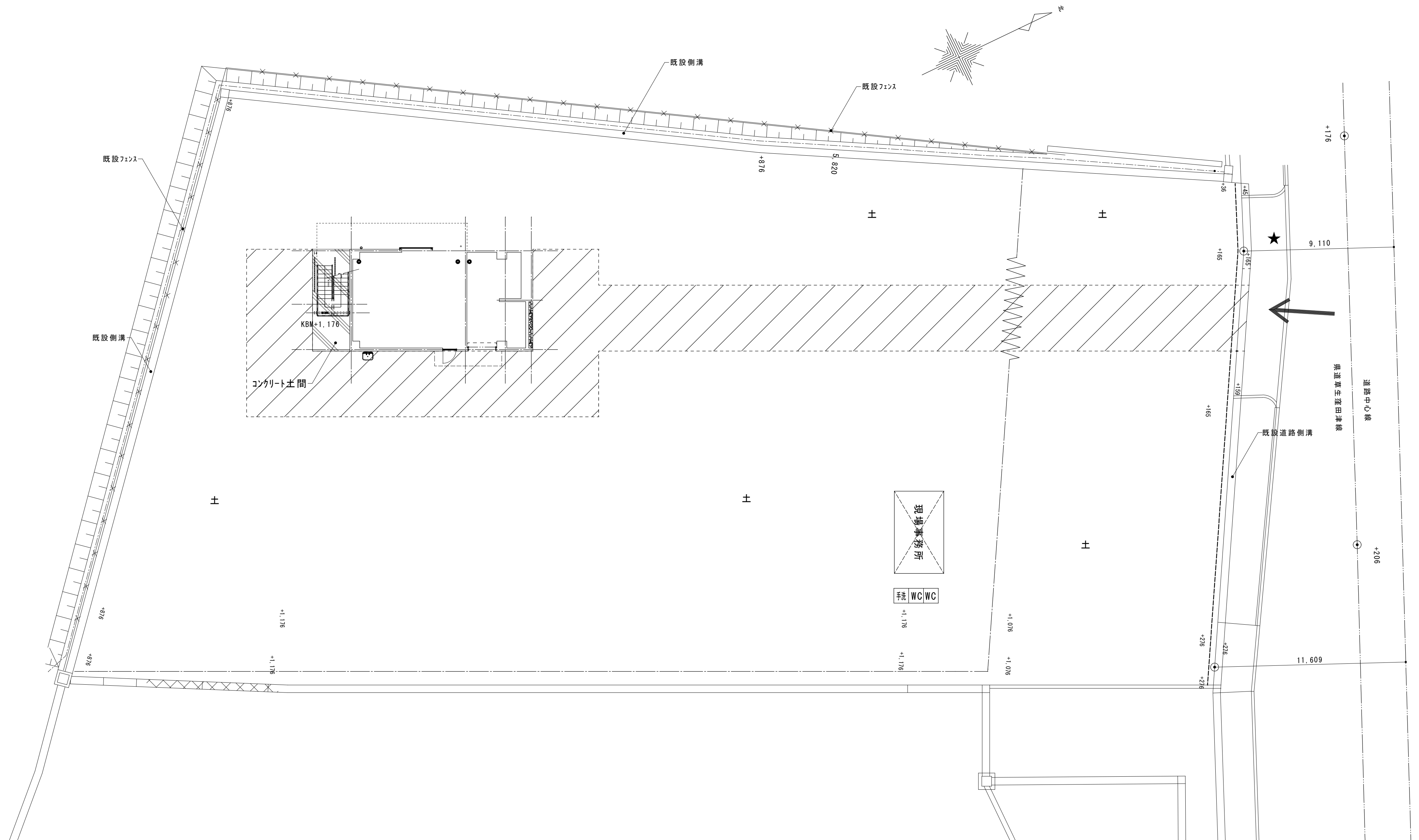
工事車両進入口

★ 交通誘導員配置

(現場稼働日)

※現場からの出入りの際に周辺道路を汚損しないよう対策を行う事。

※歩道に係る段差部は、スロープ等で
躓かないよう対策を行うこと



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 No.215989

三重県知事登録 第1-1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日

縮 尺
1/150
【A2原紙】

工事名称 消防訓練施設新築工事

図面名 総合仮設計画図（参考図）

面番号

-034

☒ 印は適用事項を示す。
☐ 印は採用項目を示す。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

- (1) 構造図に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
@…間隔 r…半径 C…中心線 l…部材間の内法距離 h o…部材間の内法高さ
S T…あばら筋 H O O P…補強帯筋 S、H O O P…補強帯筋 ϕ…直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

- (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	1 8 0 °	1 3 5 °	9 0 °	折曲げ角度90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形形のキャプタイにのみ用いる。 *片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4 d 以上	6 d 以上 (※4 d 以上)	8 d 以上 (4 d 以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3 d 以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3 d 以上、D19以上は4 d 以上

- (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法 (R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	1 6 ϕ D 1 6 以下 1 9 ϕ D 1 9 以下	3 d 以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	1 6 ϕ D 1 6 以下 1 9 ϕ ~ 2 5 ϕ D 1 9 ~ D 2 5 2 8 ϕ ~ 3 2 ϕ D 2 9 ~ D 3 8	4 d 以上 6 d 以上 8 d 以上

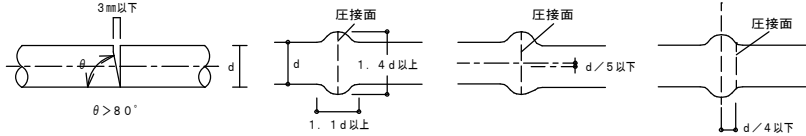
- (3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L ₂)	下ば筋 (L ₁)	
SD295A SD295B	30~36	30dまたは20d ⁷ かつ	小 梁 スラブ	35dまたは25d ⁷ かつ
	24, 27	30dまたは20d ⁷ かつ		35dまたは25d ⁷ かつ
	21	35dまたは25d ⁷ かつ		40dまたは30d ⁷ かつ
	18	40dまたは30d ⁷ かつ		45dまたは35d ⁷ かつ
SD345	30~36	30dまたは20d ⁷ かつ	25d または 15d ⁷ かつ	35dまたは25d ⁷ かつ
	24, 27	35dまたは25d ⁷ かつ	10d かつ 150mm以上	40dまたは30d ⁷ かつ
	21	35dまたは25d ⁷ かつ		45dまたは30d ⁷ かつ
SD390	30~36	35dまたは25d ⁷ かつ		40dまたは30d ⁷ かつ
	24, 27	40dまたは30d ⁷ かつ		45dまたは35d ⁷ かつ

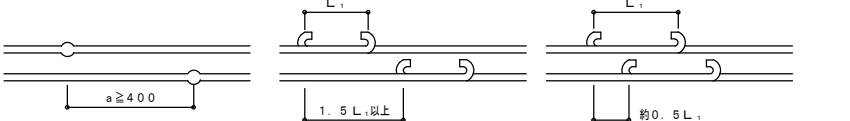
[注]許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は梁主筋の柱への定着は40dとする
継 手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

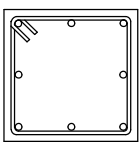


圧接継手



- (4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ誘発地盤部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



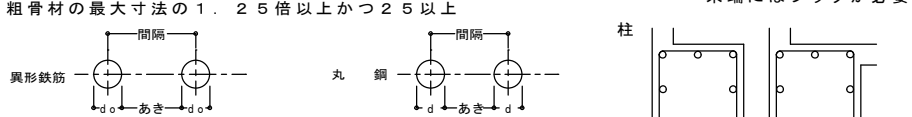
かぶり厚さ

部 位		設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	30	20
	床スラブ	40 ⁽¹⁾	30 ⁽²⁰⁾
	非耐力壁	40	30
	柱	40	30
土に接する部分	はり耐力壁	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾⁽³⁰⁾
	壁	50 ⁽³⁾	40
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 ⁽⁴⁾
	基礎・擁壁	70	60 ⁽⁴⁾

[注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) () 内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

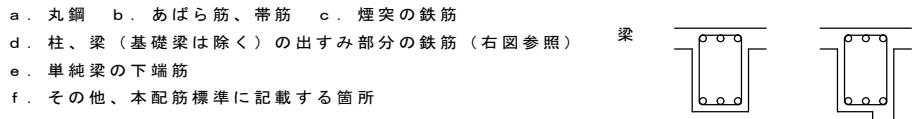
- (5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



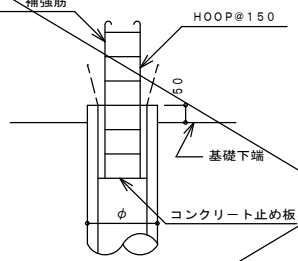
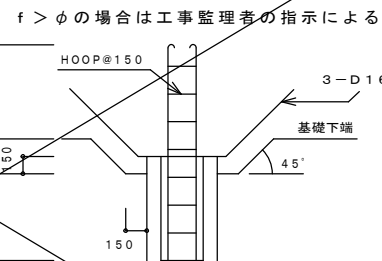
- (6) 鉄筋のフック

(a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

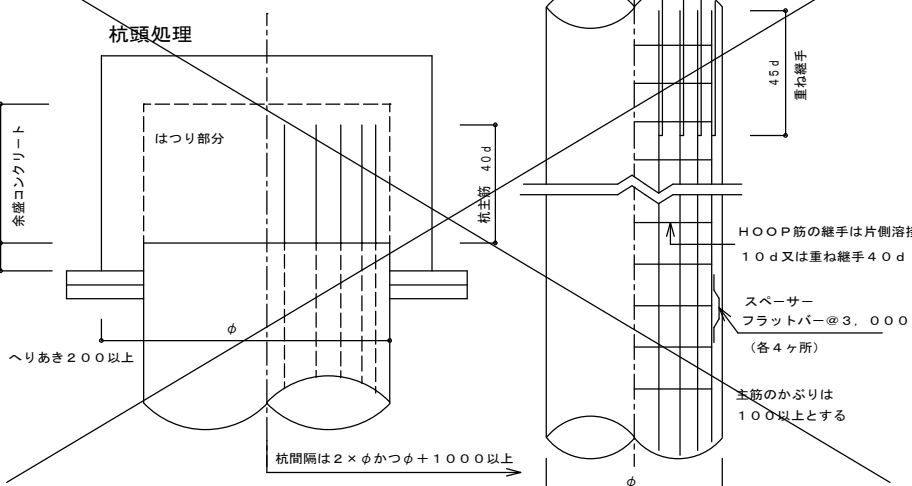


３．杭

(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

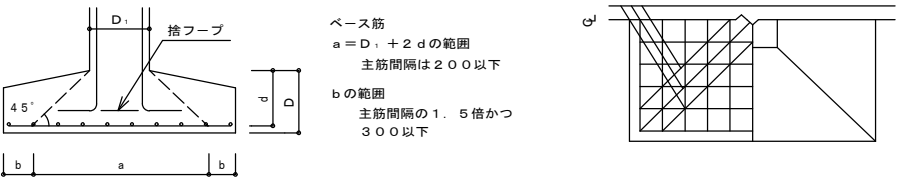
1) P C 杭、又は P H C 杭の全てに補強を行う		各基礎詳細図による			
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合			
		但し f ≤ ϕ の場合 f > ϕ の場合は工事監理者の指示による 			
杭 径	300 ϕ、350 ϕ	400 ϕ	450 ϕ	500 ϕ	600 ϕ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
H O O P	D10-@150				

- (2) 現場打ちコンクリート杭

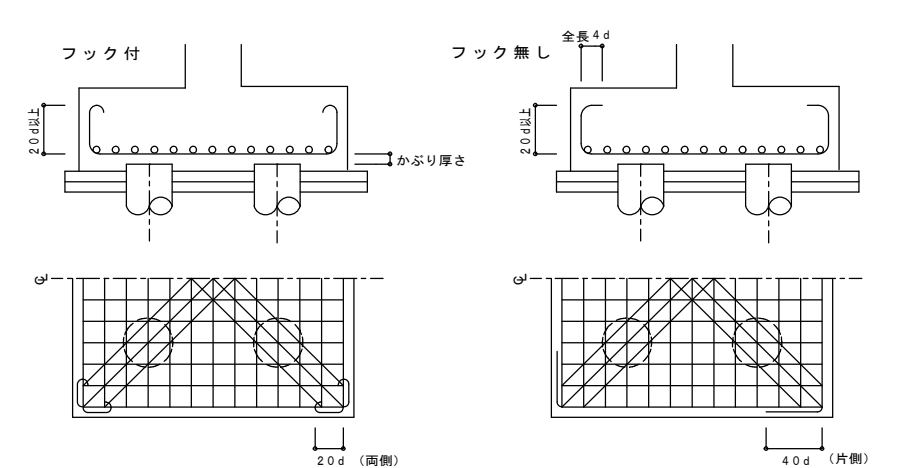


４．基礎

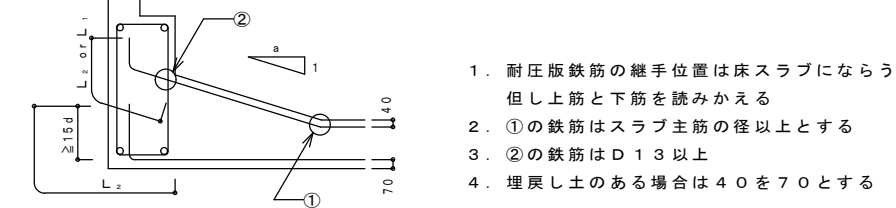
- (1) 直接基礎



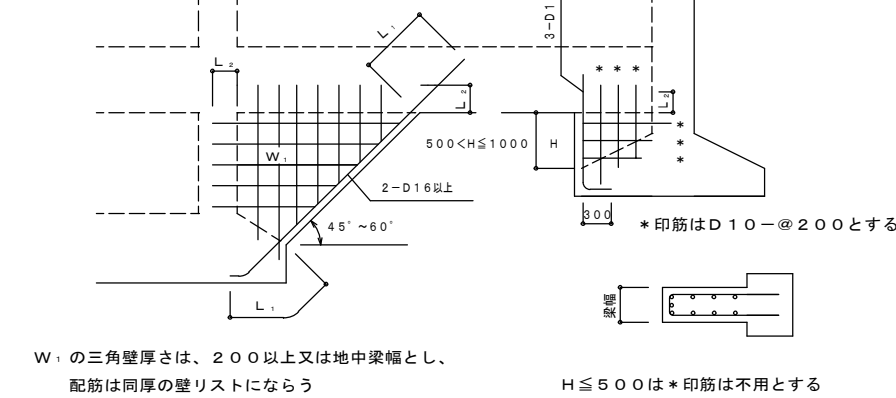
- (2) 杭基礎



- (1) べた基礎 ハンチを付けた場合 (a ≥ 3)

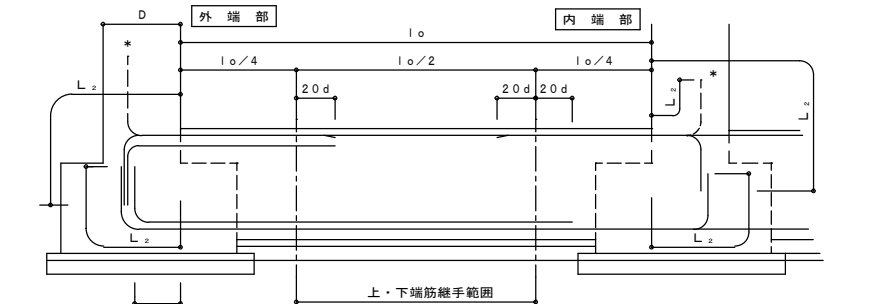


- (2) 基礎接合部の補強

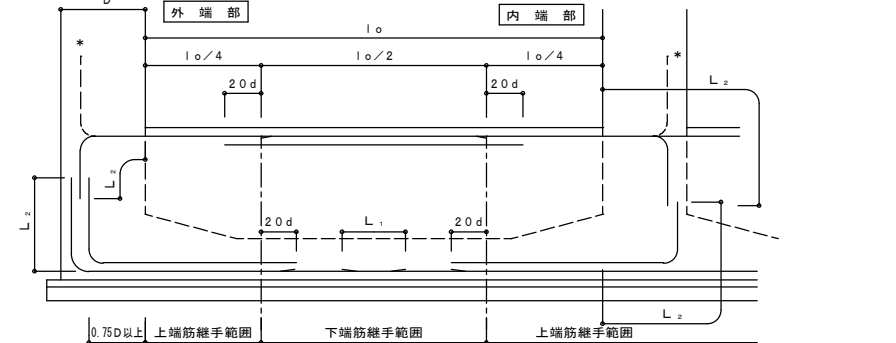


５．地中梁

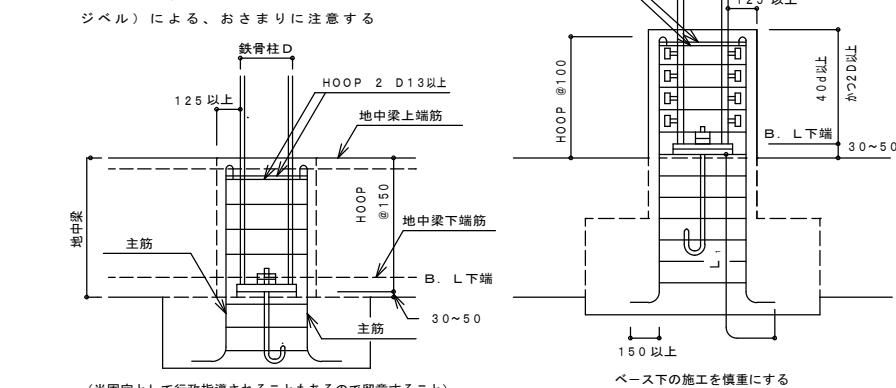
- (1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



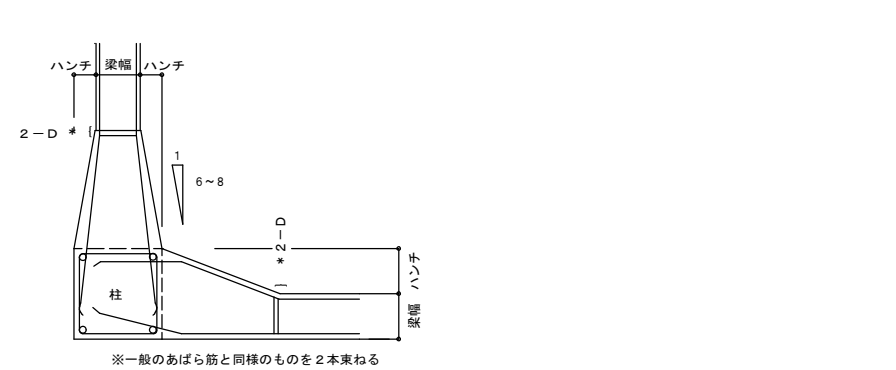
- (2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



- (3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

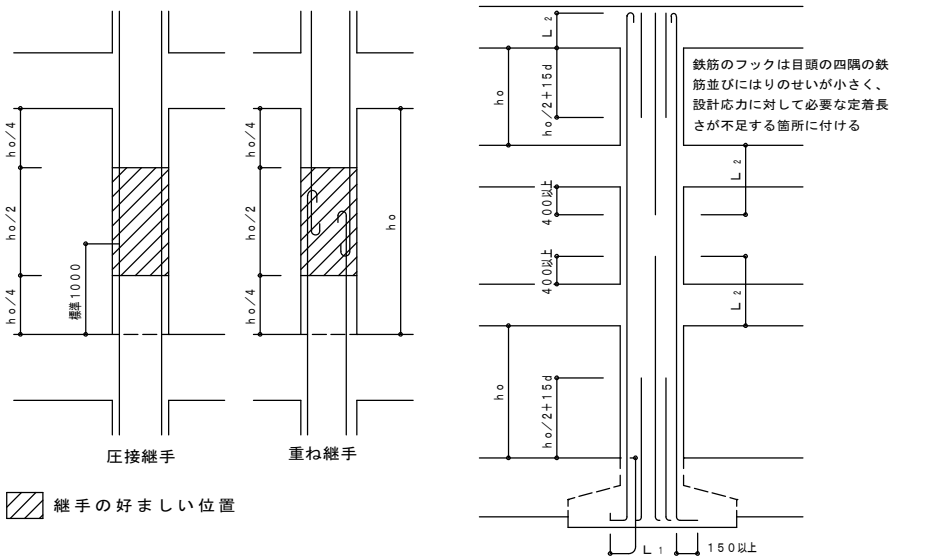


- (4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

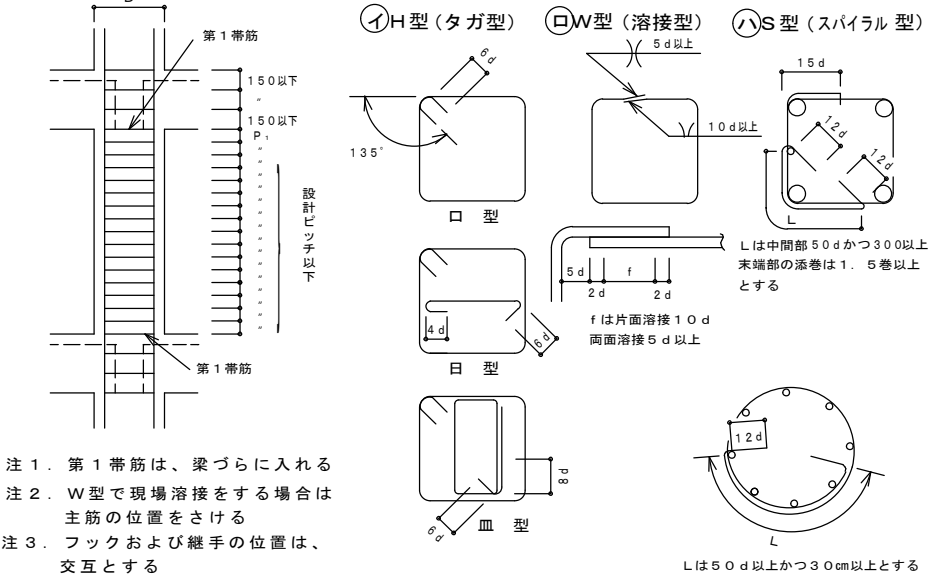


６．柱

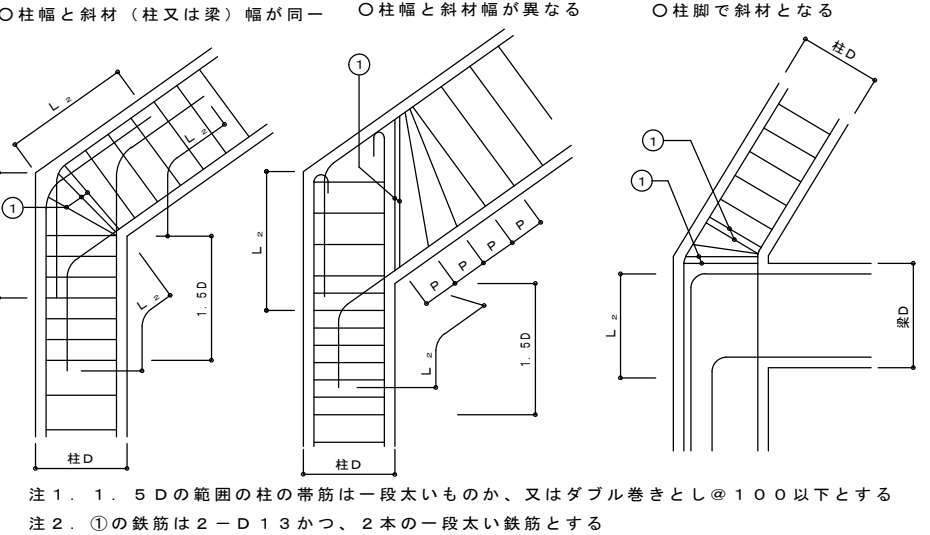
- (1) 柱主筋の継手



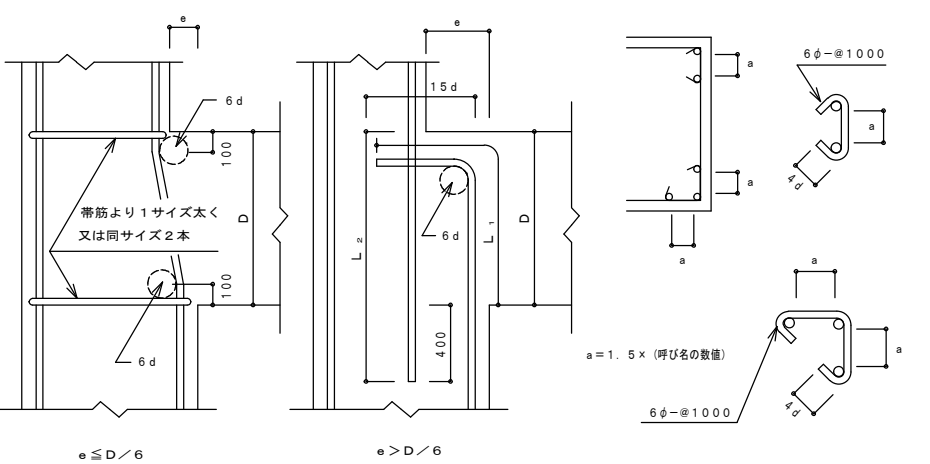
- (2) 柱主筋の定着



- (3) 帯 筋



- (4) 斜め柱・斜め梁



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989

三重県知事登録 第1-1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日

縮 尺

NS

【A2原紙】

工事名称

消防訓練施設新築工事

図面名

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

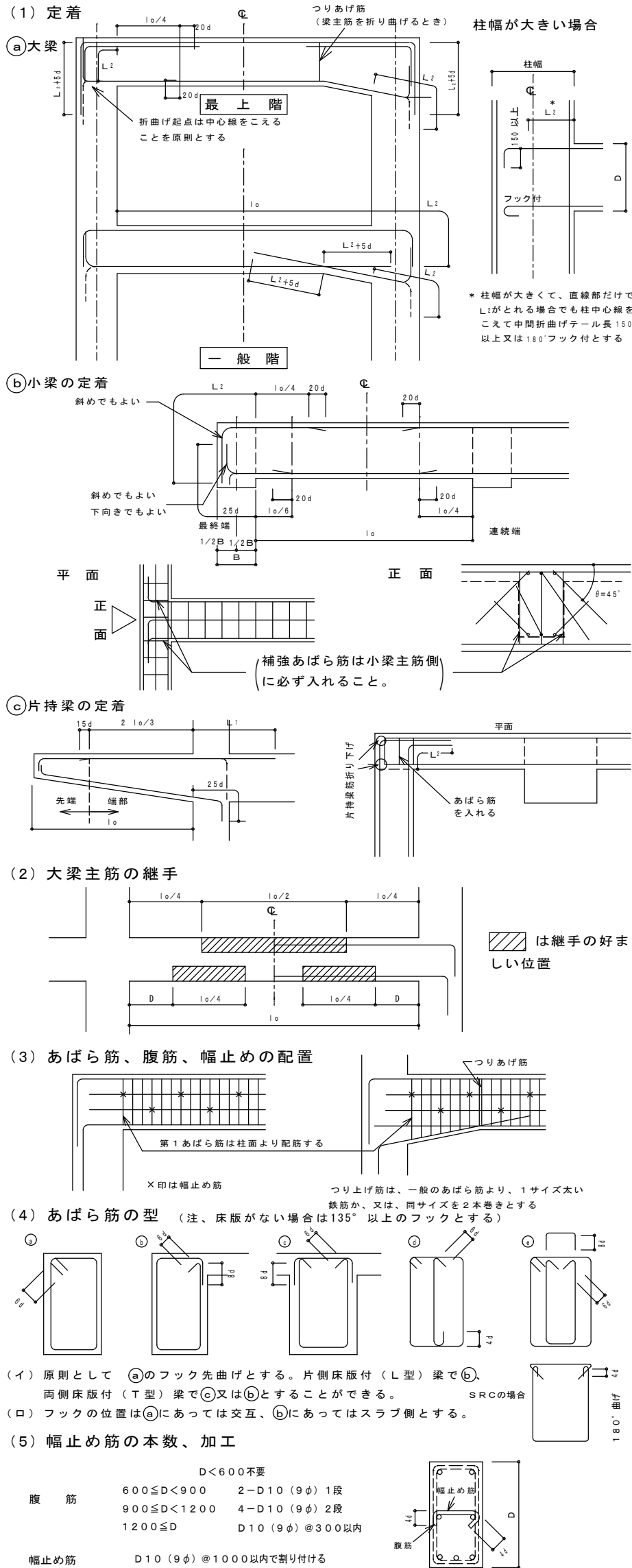
図面番号

S-002

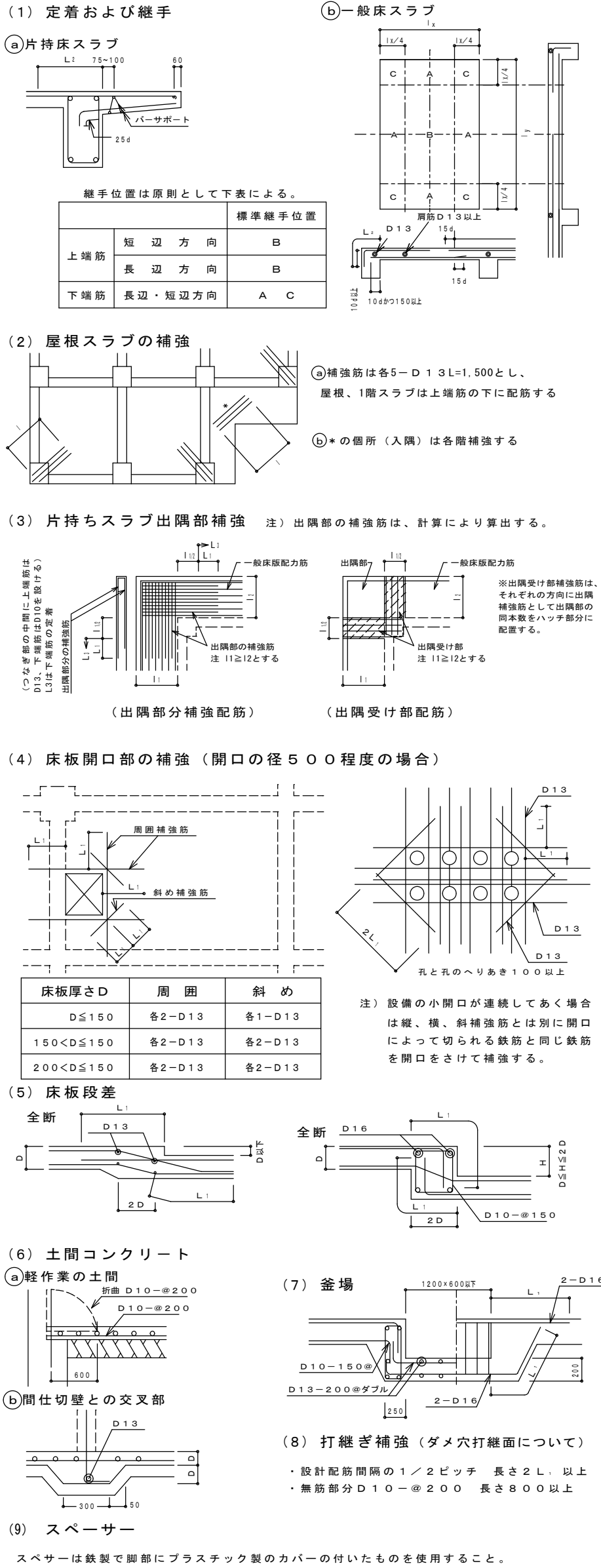
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

L＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2～(3)による。

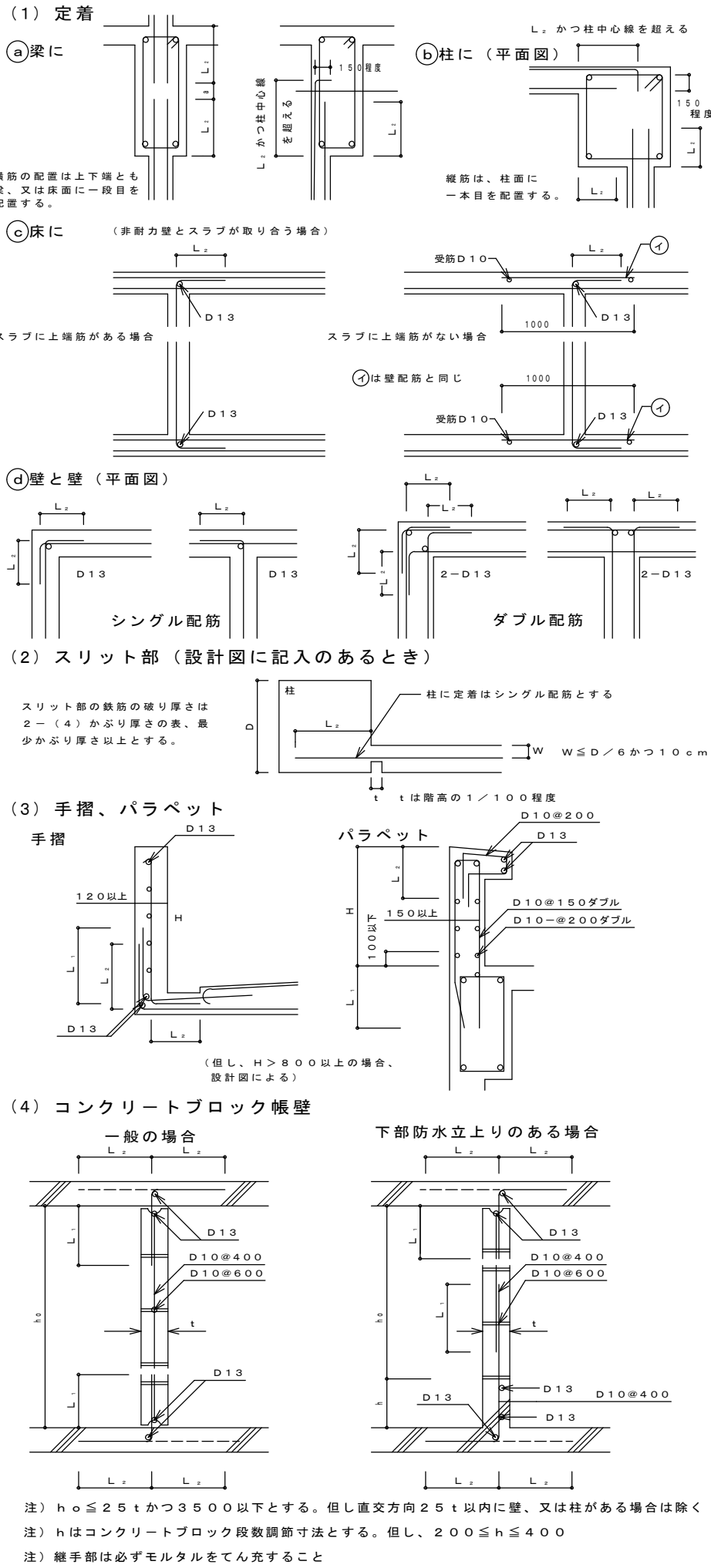
7．大梁、小梁、片持梁



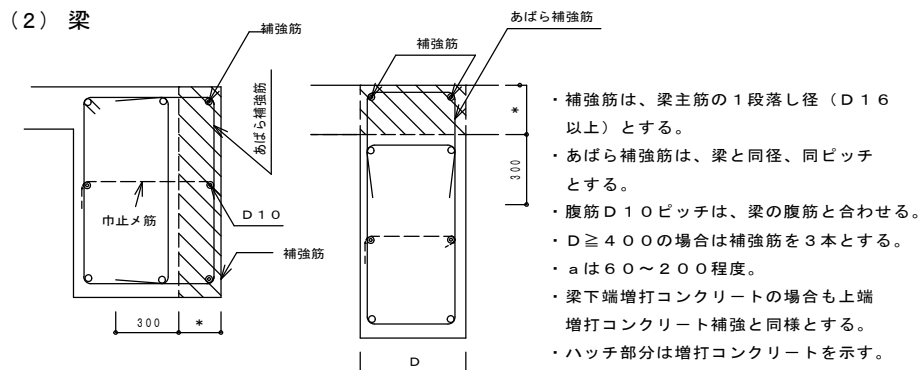
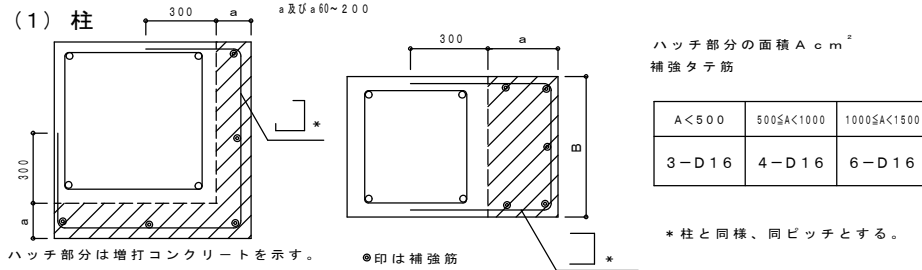
8．床板



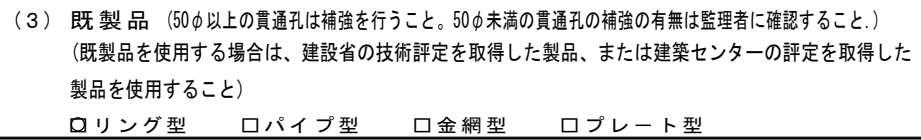
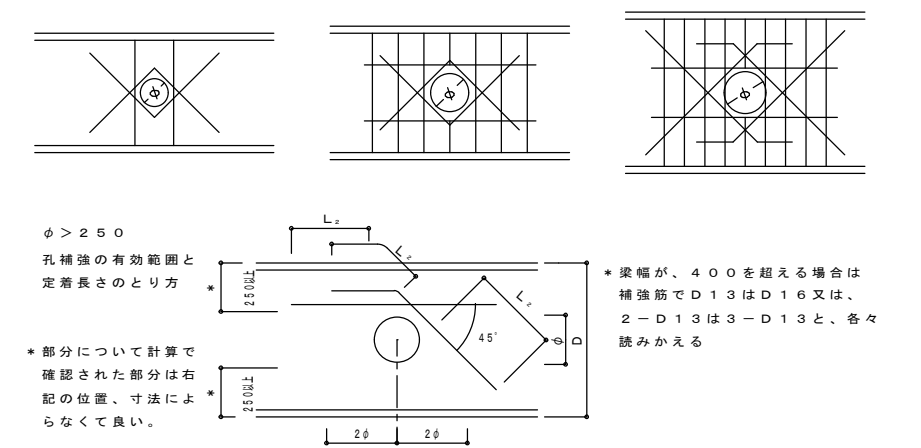
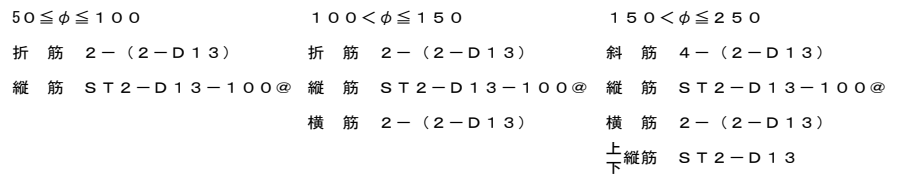
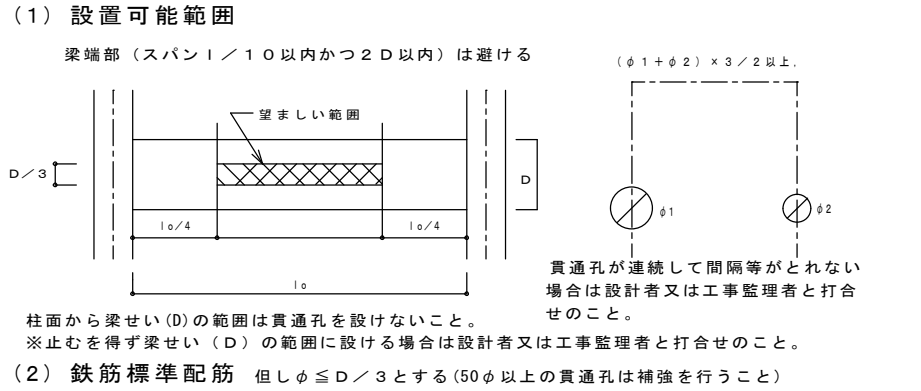
9．壁



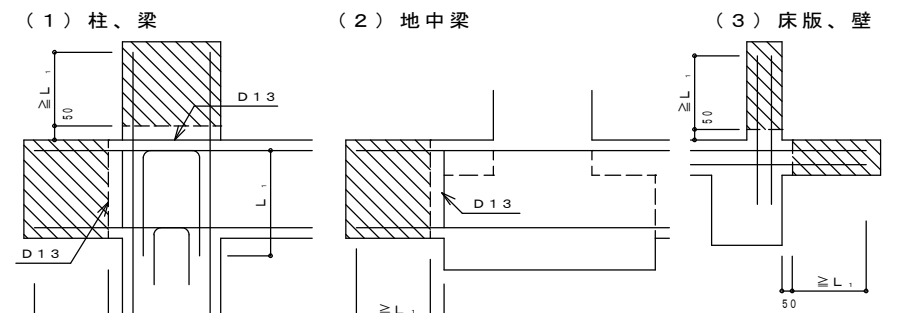
10．柱、梁増打コンクリート補強



11．梁貫通孔補強



12．増築予定



鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

- 1) 材料及検査

(a) 構造設計特記仕様による

(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く

(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る

(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による

(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラストグリットブラストによる処理で表面粗さが、 $50\mu\text{mRz}$ 以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。

(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するように注意して行う。

(4) 溶接接合

(a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。

(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適應するJISZ3801（手溶接）又はJISZ3841（半自動溶接）の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

(c) 溶接機器

(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアガウジング機（直流） (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サーマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器

(d) 溶接方法
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアガウジング(AAG)

(e) 溶接姿勢

下向 F 立向 V 横向 H 上向 O

(f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

仮付不良 良 仮付不良 良

(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する

仮付溶接
裏はつり側にする
開先面

(g) 溶接施工

(イ) エンドタブ

I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける

II エンドタブの材質は、母材と同質とする

III エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、
溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
グラインダー仕上げとする

IV プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る

(ロ) 裏当て金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
但し、溶接性能が確認されては監理者の承認を得て変更することができる

(ハ) スクラップ半径は30~35mmと10mmのダブルアールとする
但し梁成り $\phi=150\text{mm}$ 未満の場合はスクラップは $r=20\text{mm}$ とする

(ニ) ノンスクラップ工法

スクラップ
 $r=30\sim35\text{mm}$
 $r=10$
 $r=35$
裏当て金
G: ルート間隔
 θ : 開先角度

(ホ) 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載がある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークを付ける

(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めないように養生を行う

(5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接規準図 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

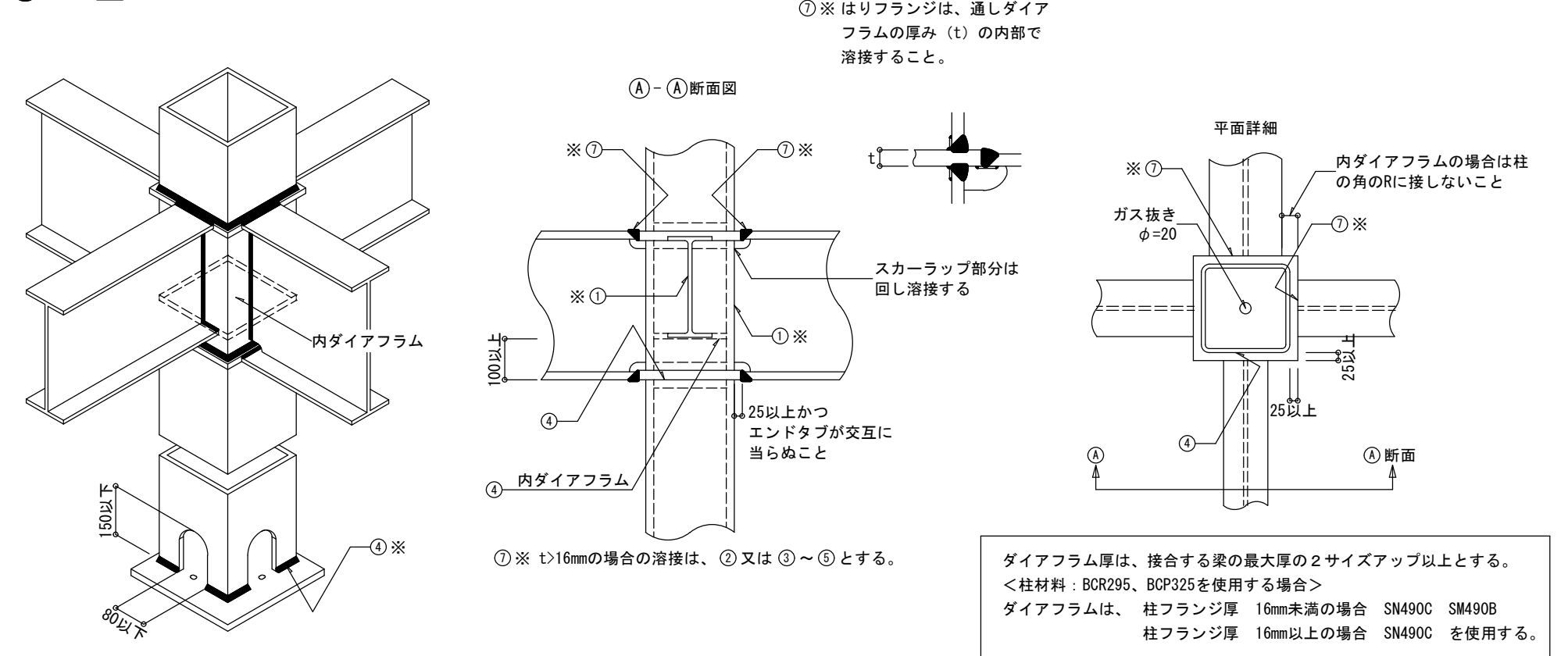
- | (1) 隅肉溶接 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|---|----------|--------------|--------|---------|------------|---|-------------|------|--------|-------|---|----------|------------|------|----|----|----|---------|-------------|-----|---|----|----|---------|--------|-----|---|---|---|---------|------|------|--|--|--|--|
| | <div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="5">t ≤ 16mm</th></tr> <tr> <th>t</th><th>7以下</th><th>8~10</th><th>11~13</th><th>14~16</th></tr> <tr> <th>S</th><td>6</td><td>7</td><td>10</td><td>12</td></tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・但し片面溶接の場合はS=tとする ・tはt1、t2の小なる方とする ・余盛は(1+0.1S)mm以下とする ・軸力がかかる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい | t ≤ 16mm | | | | | t | 7以下 | 8~10 | 11~13 | 14~16 | S | 6 | 7 | 10 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t ≤ 16mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t | 7以下 | 8~10 | 11~13 | 14~16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S | 6 | 7 | 10 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 部分溶込み溶接 (使用箇所に注意) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> $R \leq 2$
 $t/4 \leq f \leq 10mm$
 $t \leq t1$ </div> <table border="1"> <tr> <th>t</th><th>t > 16mm</th></tr> <tr> <td>溶接姿勢</td><td>F, V</td></tr> </table> </div> | t | t > 16mm | 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t | t > 16mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <th>t</th><th>6 < t < 19mm</th></tr> <tr> <td>溶接姿勢</td><td>F, V</td></tr> </table> | t | 6 < t < 19mm | 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t | 6 < t < 19mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th><th colspan="2">MC NGC</th><th colspan="2">GC</th></tr> <tr> <th>t mm</th><th>θ</th><th>G</th><th>t1 L</th><th>θ</th><th>G t1 L</th></tr> <tr> <td>6 ≤ t < 12</td><td>45°</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td><td>45° 6 6</td></tr> <tr> <td>12 ≤ t < 16</td><td>35°</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>45° 6 9</td></tr> <tr> <td>16 ≤ t</td><td>35°</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>35° 9 9</td></tr> <tr> <td>溶接姿勢</td><td colspan="5">F, V</td></tr> </table> | | | MC NGC | | GC | | t mm | θ | G | t1 L | θ | G t1 L | 6 ≤ t < 12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° 6 6 | 12 ≤ t < 16 | 35° | 9 | 9 | 8 | 45° 6 9 | 16 ≤ t | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° 9 9 | 溶接姿勢 | F, V | | | | |
| | | MC NGC | | GC | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t mm | θ | G | t1 L | θ | G t1 L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 ≤ t < 12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° 6 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 ≤ t < 16 | 35° | 9 | 9 | 8 | 45° 6 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 ≤ t | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° 9 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> T形突合せ継手余盛
 <table border="1"> <tr> <th>のど厚t mm</th><th>余盛高さmm</th></tr> <tr> <td>t ≤ 4</td><td>1</td></tr> <tr> <td>4 < t ≤ 12</td><td>2</td></tr> <tr> <td>12 < t ≤ 19</td><td>3</td></tr> <tr> <td>19 < t</td><td>4</td></tr> </table> </div> <table border="1"> <tr> <th>t</th><th>t ≥ 19mm</th></tr> <tr> <td>溶接姿勢</td><td>F, V</td></tr> </table> </div> | のど厚t mm | 余盛高さmm | t ≤ 4 | 1 | 4 < t ≤ 12 | 2 | 12 < t ≤ 19 | 3 | 19 < t | 4 | t | t ≥ 19mm | 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| のど厚t mm | 余盛高さmm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t ≤ 4 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 < t ≤ 12 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 < t ≤ 19 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 < t | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t | t ≥ 19mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> $0 < f \leq 3.0mm$
 (但し、t ≥ 15mmの時 4.0mmとする) </div> <div> $t2/4 \leq a \leq 10mm$
 (平継手で板厚が異なる時) </div> </div> <table border="1"> <tr> <th>t</th><th>6 < t ≤ 19mm</th></tr> <tr> <td>溶接姿勢</td><td>F, V</td></tr> </table> | t | 6 < t ≤ 19mm | 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t | 6 < t ≤ 19mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> $0 < f < 3.0mm$
 (但し、t ≥ 15mmの時 4.0mmとする) </div> <table border="1"> <tr> <th colspan="2"></th><th colspan="2">MC NGC</th><th colspan="2">GC</th></tr> <tr> <th>t mm</th><th>θ</th><th>G</th><th>t1 L</th><th>θ</th><th>G t1 L</th></tr> <tr> <td>6 < t < 12</td><td>45°</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td><td>45° 6 6</td></tr> <tr> <td>12 ≤ t ≤ 19</td><td>35°</td><td>9</td><td>9</td><td>5</td><td>45° 6 9</td></tr> <tr> <td>19 < t</td><td>35°</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>35° 9 9</td></tr> <tr> <td>溶接姿勢</td><td colspan="5">F, V</td></tr> </table> </div> | | | MC NGC | | GC | | t mm | θ | G | t1 L | θ | G t1 L | 6 < t < 12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° 6 6 | 12 ≤ t ≤ 19 | 35° | 9 | 9 | 5 | 45° 6 9 | 19 < t | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° 9 9 | 溶接姿勢 | F, V | | | | |
| | | MC NGC | | GC | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| t mm | θ | G | t1 L | θ | G t1 L | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 < t < 12 | 45° | 6 | 6 | 5 | 45° 6 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 ≤ t ≤ 19 | 35° | 9 | 9 | 5 | 45° 6 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 < t | 35° | 9 | 9 | 8 | 35° 9 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溶接姿勢 | F, V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) フレー溶接 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| K形の場合
 | <table border="1"> <tr> <th colspan="3">寸法 (mm)</th></tr> <tr> <th>φ</th><th>B</th><th>S</th></tr> <tr> <td>9</td><td>7</td><td>4</td></tr> <tr> <td>13</td><td>8</td><td>4.5</td></tr> <tr> <td>16</td><td>9</td><td>5</td></tr> <tr> <td>19</td><td>10</td><td>6</td></tr> <tr> <td>22</td><td>11</td><td>7</td></tr> <tr> <td>25</td><td>12</td><td>8</td></tr> </table> | 寸法 (mm) | | | φ | B | S | 9 | 7 | 4 | 13 | 8 | 4.5 | 16 | 9 | 5 | 19 | 10 | 6 | 22 | 11 | 7 | 25 | 12 | 8 | | | | | | | | | | | | |
| 寸法 (mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| φ | B | S | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 7 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 8 | 4.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 9 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 10 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 11 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 12 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・フレー溶接長は、鋼板に接する全長とする

・9mm~16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする

溶接傾角度θは30°~40°とする

●BOX型 (通しダイアフラムの場合)

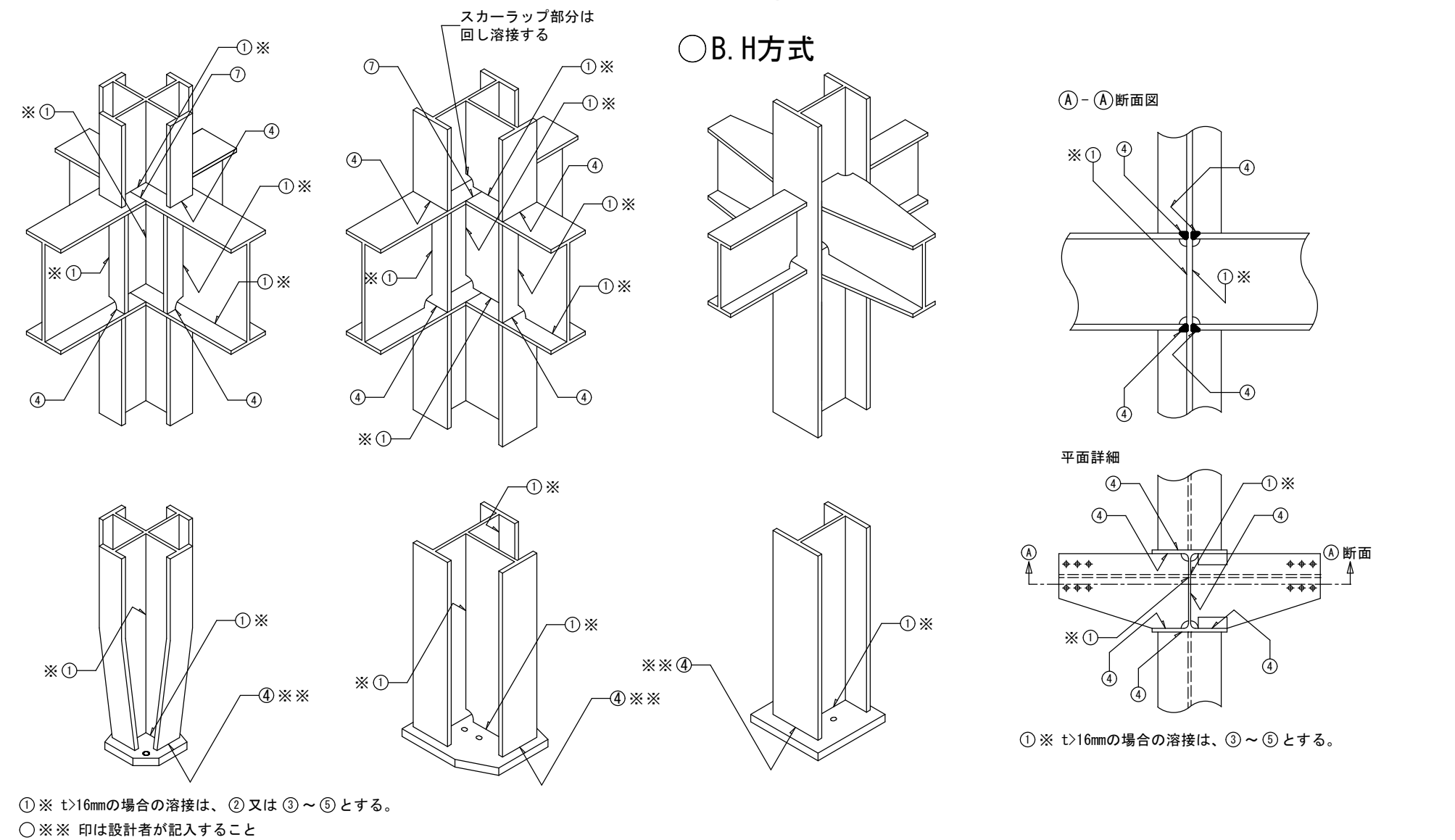


●鋼材種別による溶接条件

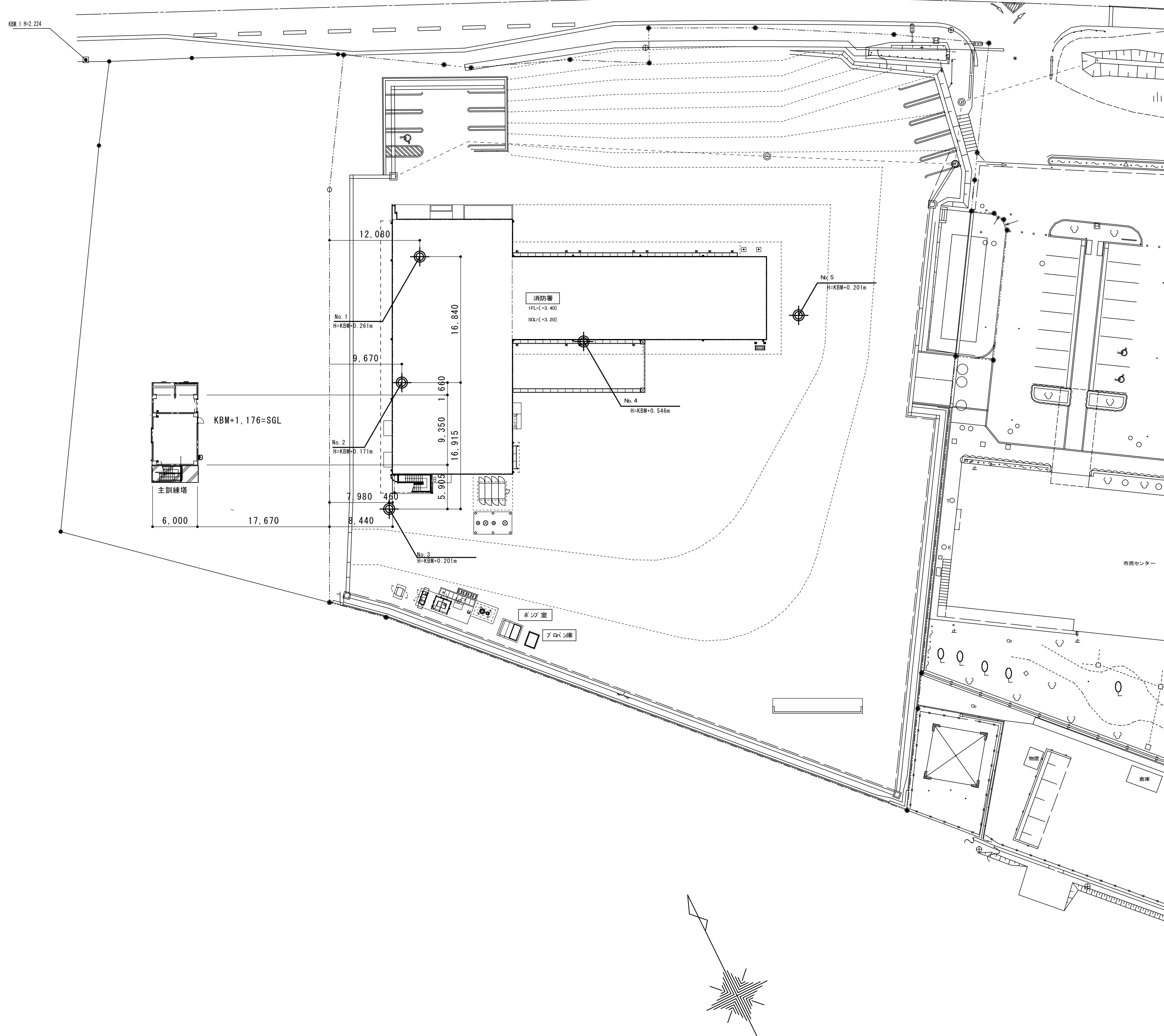
鋼材の種類	溶 接 材 料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40 以下	350 以下
	YGW-11.15		
	JIS Z 3312		
	YGW-18.19		
490N級鋼	JIS Z 3315	40 以下	350 以下
	YGA-50W, 50P		
	JIS Z 3212, 3214		
	YGW-11.15		
	YGW-18.19		
	JIS Z 3315	40 以下	350 以下
	YGA-50W, 50P		

注) STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312 のみ使用可
鉄骨製作認定工場のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

○ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ 型

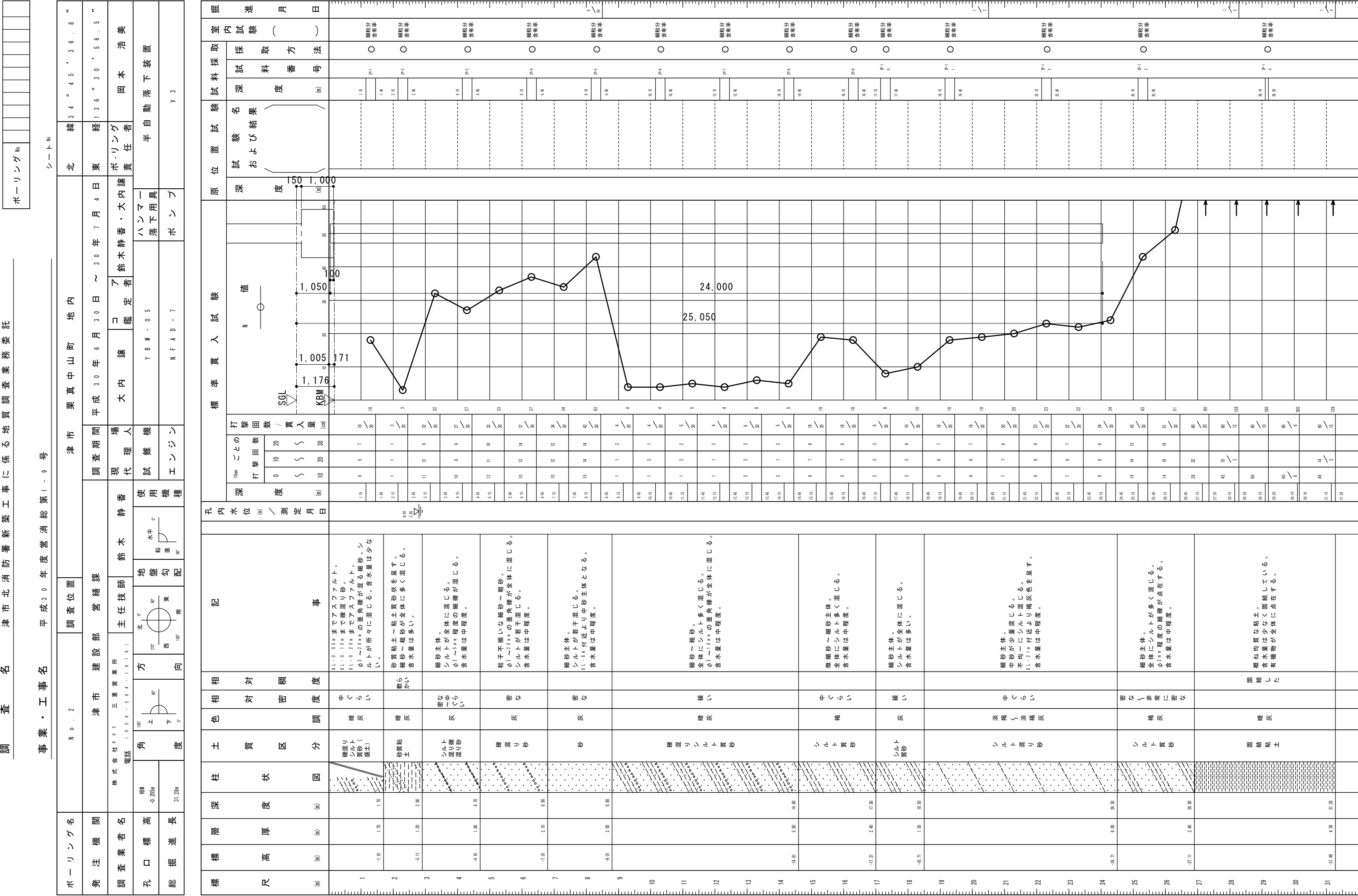


内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-004
					縮尺 NS 【A2原紙】	図面名 鉄骨構造標準図 (1)	



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085				年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-006
				縮尺 1/400 【A2原紙】	図面名 ボーリング調査位置図	

ボーリング柱状図



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989

三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085

年月日

縮尺
1/100
【A2原紙】

工事名称
消防訓練施設新築工事

図面名
NO.2 柱状図（主訓練塔）

図面番号

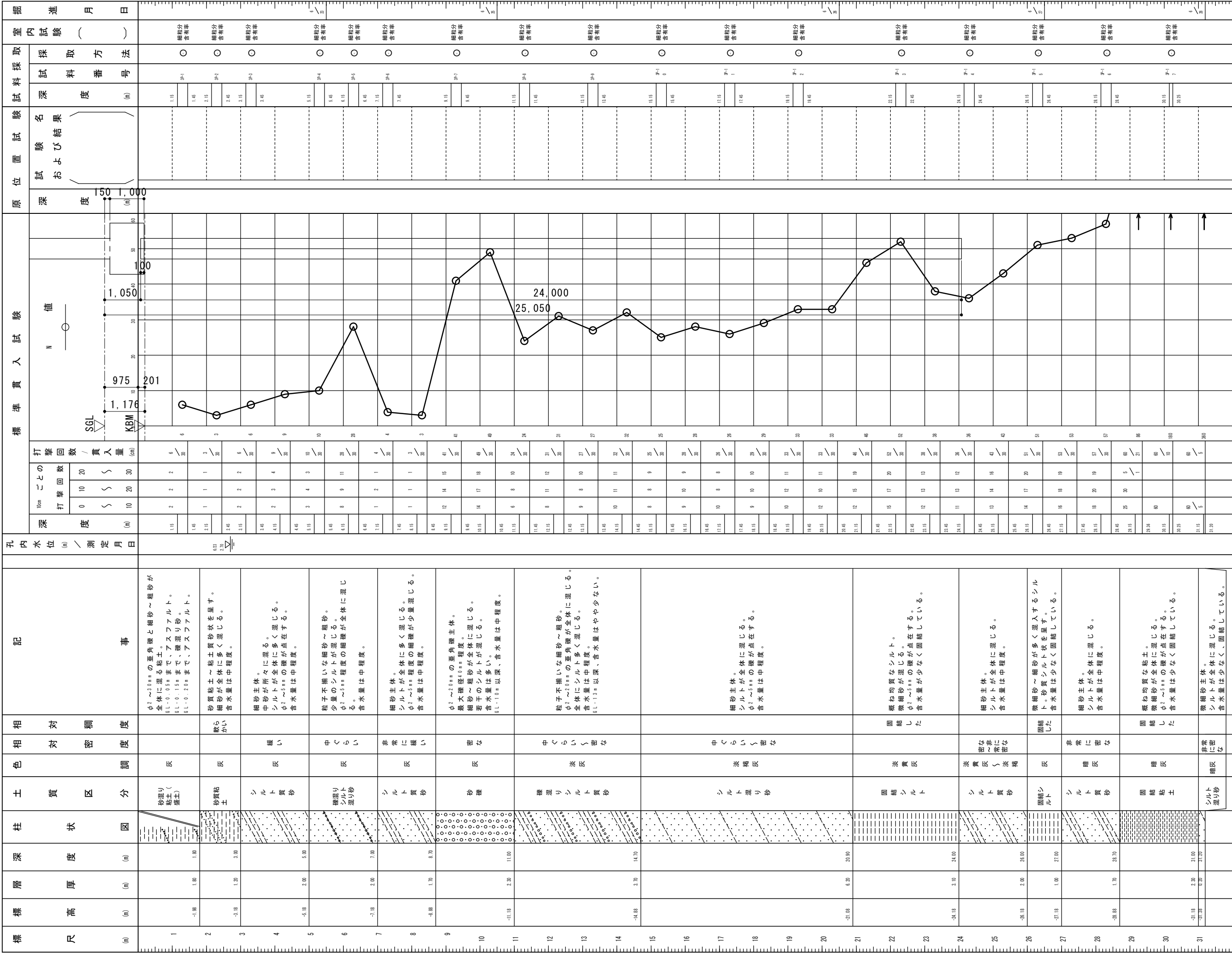
S-007

調査新築工事に係る地域の質調査業務委託

[illegible]

學業成績優良學生獎狀

ボーリング名	N 0 . 3		調査位置	津市 栗真中山町 地内		北緯	3 4 ° 4 5 ' , 3 6 . 3 "
発注機関	津市建設部 営繕課		調査期間		平成 3 0 年 6 月 2 2 日 ~ 3 0 年 6 月 2 8 日	東経	1 3 6 ° 3 0 ' , 5 6 . 2 "
調査業者名	株式会社 K S S 三重富家所 電話 (0 5 9 - 2 4 4 - 1 6 1 1)		鈴木 静香	現場代理人	ア 大内 謙 定 者	ボ-リング責任者	岡本 浩 実
孔口標高	109m -0.10m		方位	使用機器	ハンマース 落下用具		
総掘進長	31.20m		角度	エンジン	ボンプ		
			方位	使用機器	ハンマース 落下用具		
			角度	エンジン	ボンプ		



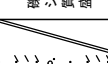
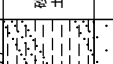
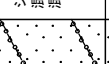
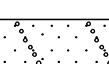
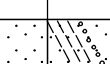
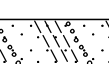
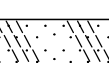
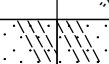
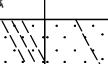
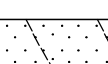
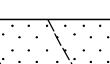
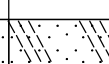
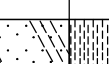
調査 新築工事に係る地域の質調査業務委託

[illegible]

事業名：事業年度平成30年度消費生活

20

ボーリング名	N 0 . 2	調査位置	津市 栗真中山町 地内	北緯	3 4 ° 4 5 ' , 3 6 . 8 "
発注機関	津市建設部 営繕課				
調査業者名	株式会社 三重富業所 電話 (0 5 9 - 2 6 4 - 1 1 6)	錦木 静香	調査期間 平成 3 0 年 6 月 3 0 日 ~ 3 0 年 7 月 4 日	東経	1 3 6 ° 3 0 ' 5 6 . 5 "
調査者名		主任技師	現場 大内 譲	ア コ 定 者	ボ-リング 責任者
孔口標高	国 4 2.25m	方角	使用機種 Y B M - 0 5	ハンマー一 落下用具	半自動落下装置
総掘進長	31.20m	方位	地盤勾配 図	ボンプ	Y 3

標尺	標高	層厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験										室内試験	進捗月日
										深度	打撃回数	打撃回数 / 貫入量	N値	原位置試験	試験採取方法	試験番号					
1	-1.8	1.3	1.3		埋戻しシルト質砂(硬土)	黄灰	中	中	0.1~0.15%アスファルト。 0.1~0.15%まで埋戻り砂。 0.1~0.10%までアスファルト。 シルトが密々に混じる。含水量は少ない。	1.15	6	5	7	18	1.3	○	細粒分含有率				
2	-2.1	1.2	2.5		砂質粘土	黄灰	硬	硬	砂質粘土を混す。 シルトが全体に多く混じる。含水量は多い。	1.41	11	1	1	3	21	○	細粒分含有率				
3	-2.3	1.2	2.8		シルト質砂	黄	硬	硬	シルトが全体に多く混じる。 含水量は中程度。	1.45	11	12	9	32	21	○	細粒分含有率				
4	-4.3	1.8	4.3		埋戻り砂	黄	硬	硬	粘土質ないな砂。 シルトが全体に多く混じる。 含水量は中程度。	1.48	12	11	10	33	21	○	細粒分含有率				
5	-2.2	2.2	6.8		埋戻り砂	黄	硬	硬	シルトが全体に多く混じる。 含水量は中程度。	1.45	10	12	14	31	21	○	細粒分含有率				
6	-2.2	2.2	6.8		埋戻り砂	黄	硬	硬	シルトが全体に多く混じる。 含水量は中程度。	1.45	10	12	14	31	21	○	細粒分含有率				
7	-2.2	2.2	6.8		埋戻り砂	黄	硬	硬	シルトが全体に多く混じる。 含水量は中程度。	1.45	10	12	14	31	21	○	細粒分含有率				
8	-2.2	2.2	6.8		砂	灰	密	密	細砂主体。 シルトが若干混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
9	-2.2	2.2	6.8		砂	灰	密	密	細砂主体。 シルトが若干混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
10	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.15	1	2	2	5	25	○	細粒分含有率				
11	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
12	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
13	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
14	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
15	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
16	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
17	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
18	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
19	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
20	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
21	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
22	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
23	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
24	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
25	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
26	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
27	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
28	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
29	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
30	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				
31	-2.2	2.2	6.8		埋戻りシルト質砂	黄	硬	硬	細砂〜粗砂。 全体にシルトが多く混じる。 0.1~0.10%の重炭酸が全体に混じる。 含水量は中程度。	1.41	11	1	2	4	25	○	細粒分含有率				

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1-1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-009
縮尺 1/100 【A2原紙】	図面名 NO.2 柱状図（外階段）	

Hyper-MEGA工法（標準型） 特記仕様書

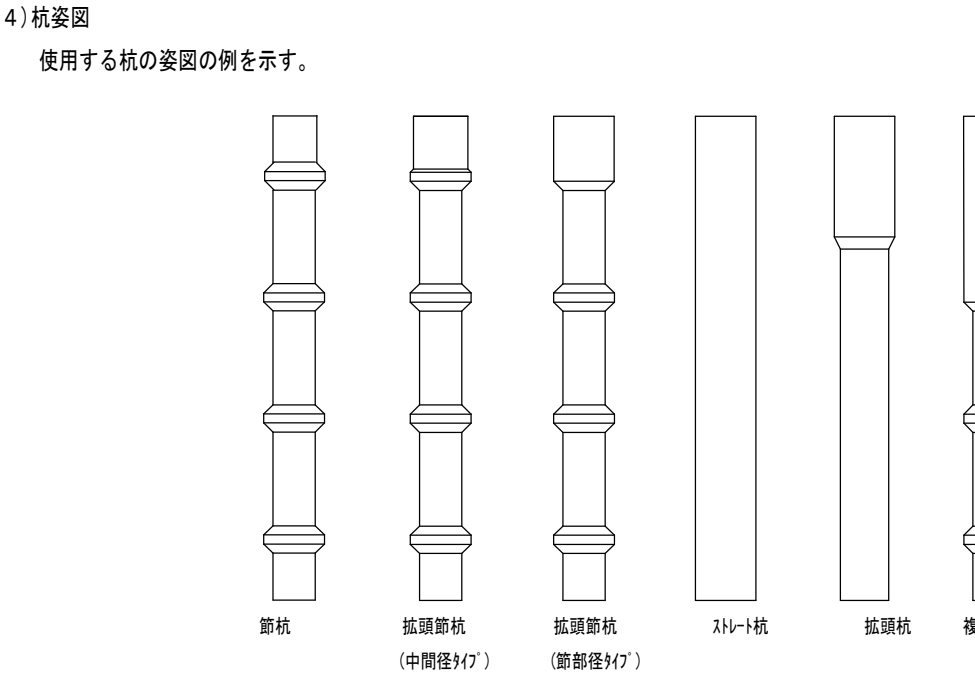
1. 一般事項

- 1）本工事に採用する工法は「Hyper-MEGA工法」（認定番号：TACP-0527号, TACP-0528号, TACP-0529号）とする。
- 2）工事着手前に、工事概要・工程・使用する杭の明細・使用機械等を明記した施工計画書を作成し、監督員の承認を得る。
- 3）工事施工者および管理者は、ジャパンパイル株式会社もしくはジャパンパイル株式会社が承認した施工会社とする。ただし、後者の場合でも地盤の許容支持力については、ジャパンパイル株式会社が責任を負う。

2. 使用杭

- 1）杭の構造
- 使用する杭は下記のものとする。
- ①平成13年国土交通省告示第1113号8号第二号、第三号、第四号、第五号及び第六号の何れかに基づきコンクリートの許容応力度が規定された既製コンクリート杭。
- ②建築基準法施工令第90条、平成12年国土交通省告示第2464号第1、第2に基づき鋼材の許容応力度が規定された鋼管。
- 2）杭の構成
- 節杭（拡頭節杭、複合杭を含む）のみ、または節杭（拡頭節杭を含む）とこの上方に継いで使用するスリート杭（拡頭杭を含む）により基礎杭を構成する。なお、下杭には必ず節杭（拡頭節杭を含む）を使用する。

- 3）杭径
- ①節杭（拡頭節杭を含む）の径は、以下のとおりである。
- 節部径 φ440～φ1200mm
- 軸部径 φ300～φ1000mm
- ②スリート杭（拡頭杭を含む）の径は、以下のとおりである。
- 杭径 φ298.4～φ1200mm



- 5）最大施工深さ
- 最大施工深さは、先端地盤が砂質地盤の場合は杭施工地盤面－68.5m、先端地盤が礫質地盤の場合は杭施工地盤面－68.5m、先端地盤が粘土質地盤の場合は杭施工地盤面－60.0mとする。

3. 試験杭

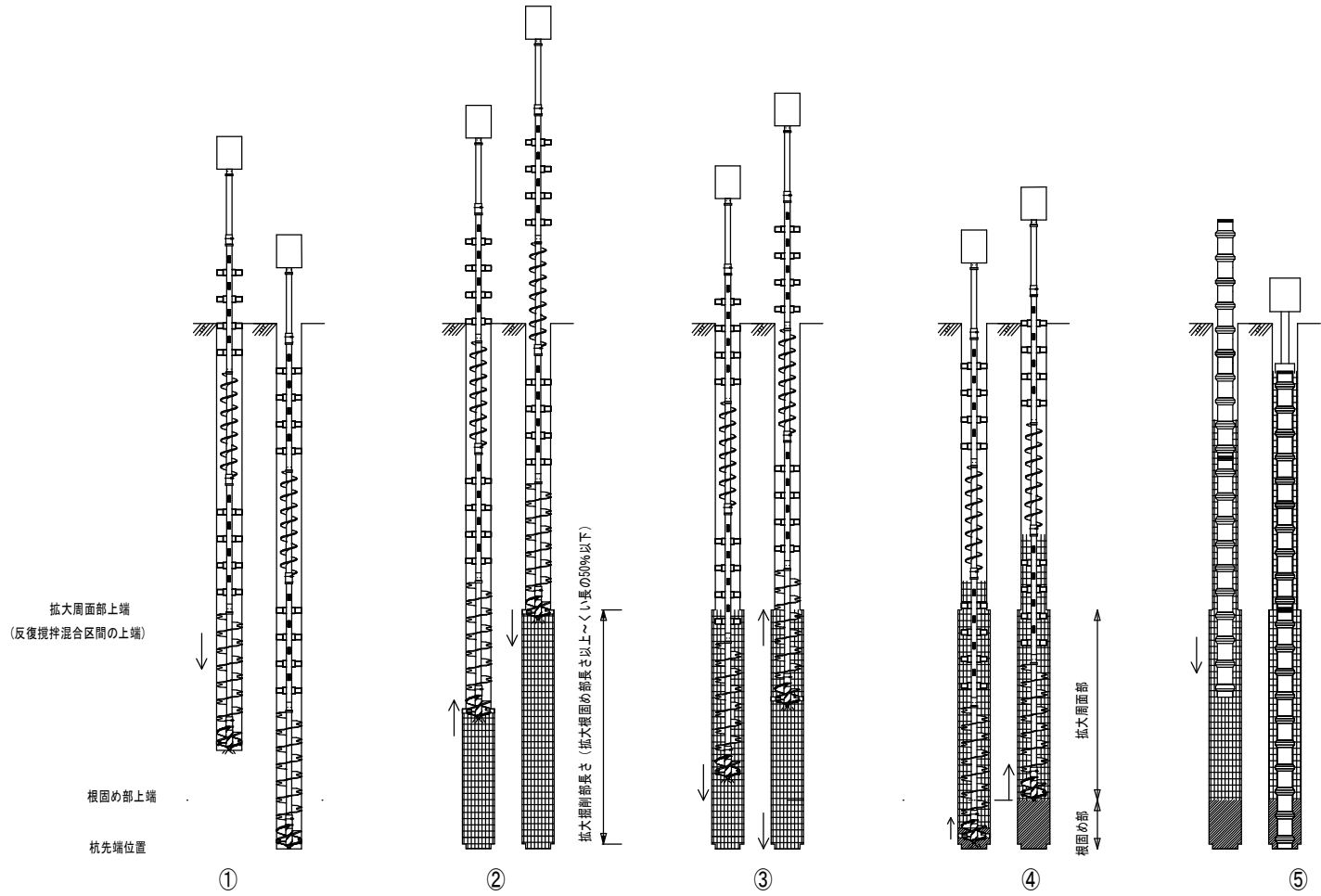
- 1）試験杭は、本工事に先立ち、設計・施工計画の妥当性を確認するために実施する。
- 2）試験杭の位置および数量は、設計図書による。なお、地盤調査・敷地状況・建築物の平面計画等を考慮し、設計者・監督員と協議して決定する。
- 3）試験杭では、本工事と同一寸法の杭、本工事に使用予定の機械器具を用いることを原則とし、次の項目について確認する。
- 1. 施工能率
 - 2. 使用機械・設備の適否
 - 3. 掘削液と充填液の配合・使用量の適否
 - 4. 地盤の構成（透水の有無、地中障害の有無）
 - 5. 先端地盤の確認
 - 6. 根固め部の品質管理
 - 7. 高止まりの有無

4. 施工方法

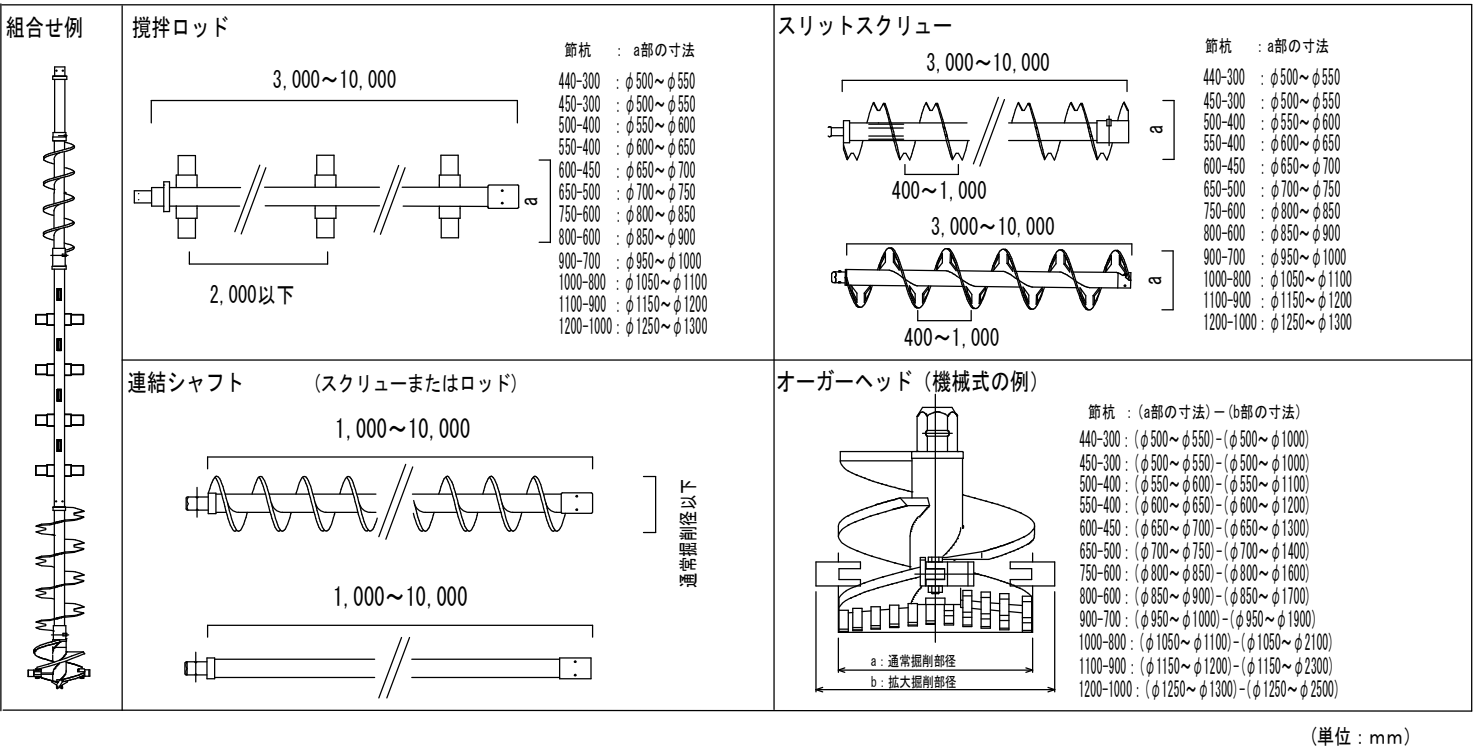
代表的な施工手順（拡翼作業を伴い拡大掘削長が杭長の30%以上の場合）を下図に示し、概要を以下に記述する。

- ①杭心セット～掘削
- 杭打ち機を所定の位置に据え付け、拡大ヘッドを杭心に合わせ掘削心及び鉛直性を確認しつつ、適宜、掘削液を送りながら地盤に適した速度で所定の位置まで掘削する。
- ②掘削完了～杭周充填液注入
- 所定深度まで掘削後、拡大ヘッドの拡大翼を拡翼し、杭周充填液を注入しながら、所定の範囲を拡大掘削する。
- ③攪拌混合
- 所定の範囲を上下反復して杭周充填液と掘削土砂を攪拌混合する。
- ④根固め部の築造～掘削装置の引き上げ
- 根固め液に切り替え、根固め部範囲において地盤の種類に応じた注入方法で根固め部を築造する。
- 根固め部築造後、拡大翼を閉翼して掘削装置を引き上げる。
- ⑤杭の建て込み
- 掘削孔内に鉛直性を確認しながら杭を建て込む。杭の自重による建て込み後、回転圧入、またはモンケンで圧入・軽打することにより、所定の深度まで杭を定着させる。なお、継杭の場合（溶接継手または機械式継手の場合）は、下杭を保持装置等で保持し、上下の杭の鉛直性を確認して接続し、その後に杭を建て込む。

なお、試験掘削または試験杭の結果や地盤状況に応じて、0～0.5m範囲で余掘りを行う場合がある。



5. 掘削装置の形状および寸法



（単位：mm）

6. 充填材の配合と管理

- 1）材料
1. セメントは、普通ポルトランドセメント、早強ポルトランドセメントまたは混合セメントを用いる。
2. 練り混ぜに使用する水は、上水道水またはセメント硬化に悪影響のない水とする。

- 2）杭周充填液
- 杭周充填液は、杭体と地盤とを一体化させる目的で注入し、水セメント比は100%以下とする。
- 杭周充填液の標準配合（対象土1m³あたり）を下表に示す。

セメント種類	水セメント比 W/C (%)	セメント C (kg)	水 W (%)	注入量 (m ³)
普通ポルトランドセメント	100	380	380	0.500
高炉セメントB種	100	377	377	0.500

*普通ポルトランドセメント：比重3.15、高炉セメント：比重3.05の場合

- 3）根固め液
- 杭先端部に、先端支持力を確保するために根固め部の体積量以上を注入し、杭先端平均N値（N）と拡大比（ω）に応じて、水セメント比は下記の値以下とする。

拡大比	水セメント比		
	N≤20	20<N≤40	40<N
1.0≤ω≤1.25	100%	85%	65%
1.25<ω≤1.75	85%	60%	60%
1.75<ω≤2.0	85%	60%	55%

- 4）強度の管理
- 管理試験は、充填液について下表により行う。

杭の種別		回数
試験杭		1本毎
本杭	継ぎ手のある場合	20本毎またはその端数につき1回
	継ぎ手のない場合	30本毎またはその端数につき1回

1. 1回の試験の、供試体の数は杭周充填液および根固め液を各3本とする。
2. 供試体は、（公社）土木学会「コンクリート標準示方書（標準編）」のPCグラウトのブリーディング率および膨張率試験方法によるポリエチレン袋、（一社）コンクリートパイル建設技術協会「埋込工法に用いる根固め液及び杭周固定液の圧縮強度試験方法」によるポリエチレン袋、またはこれと同等な袋を用いて、グラウトプラントより採取し、直径50mm・高さ100mm程度の円柱形に仕上げる。
3. 強度試験は、JIS A 1108（コンクリートの圧縮試験方法）による。
4. 充填液の圧縮強さは、材齢28日とし、1回の試験の平均値は下表により管理する。
- なお、個々の値は、管理値の85%以上の値にて管理する。

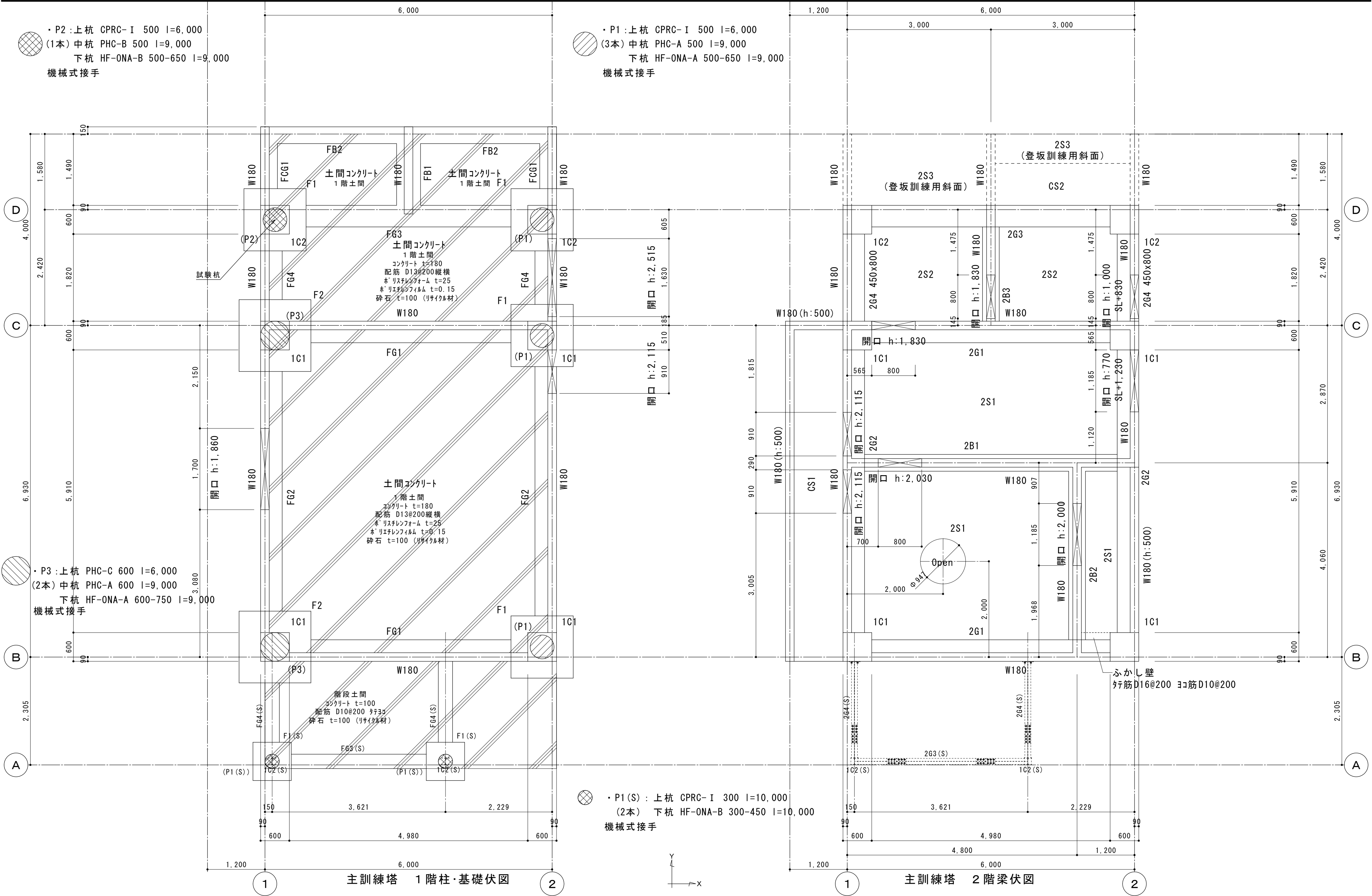
杭周充填液	根固め液			
	拡大比	N≤20	20<N≤40	40<N
	1.0≤ω≤1.25	10N/mm ² 以上	17N/mm ² 以上	22N/mm ² 以上
	1.25<ω≤1.75	17N/mm ² 以上	25N/mm ² 以上	25N/mm ² 以上
10N/mm ² 以上	1.75<ω≤2.0	17N/mm ² 以上	25N/mm ² 以上	30N/mm ² 以上

- 5）充填液の密度管理
1. 杭周充填液および根固め液の密度測定を1日1回以上行う。
2. 計量・練り混ぜ及び計測のばらつきを考慮し、かつ、所定の圧縮強度が得られるよう、測定結果が計算密度の-1～+3%の範囲であることを確認する。

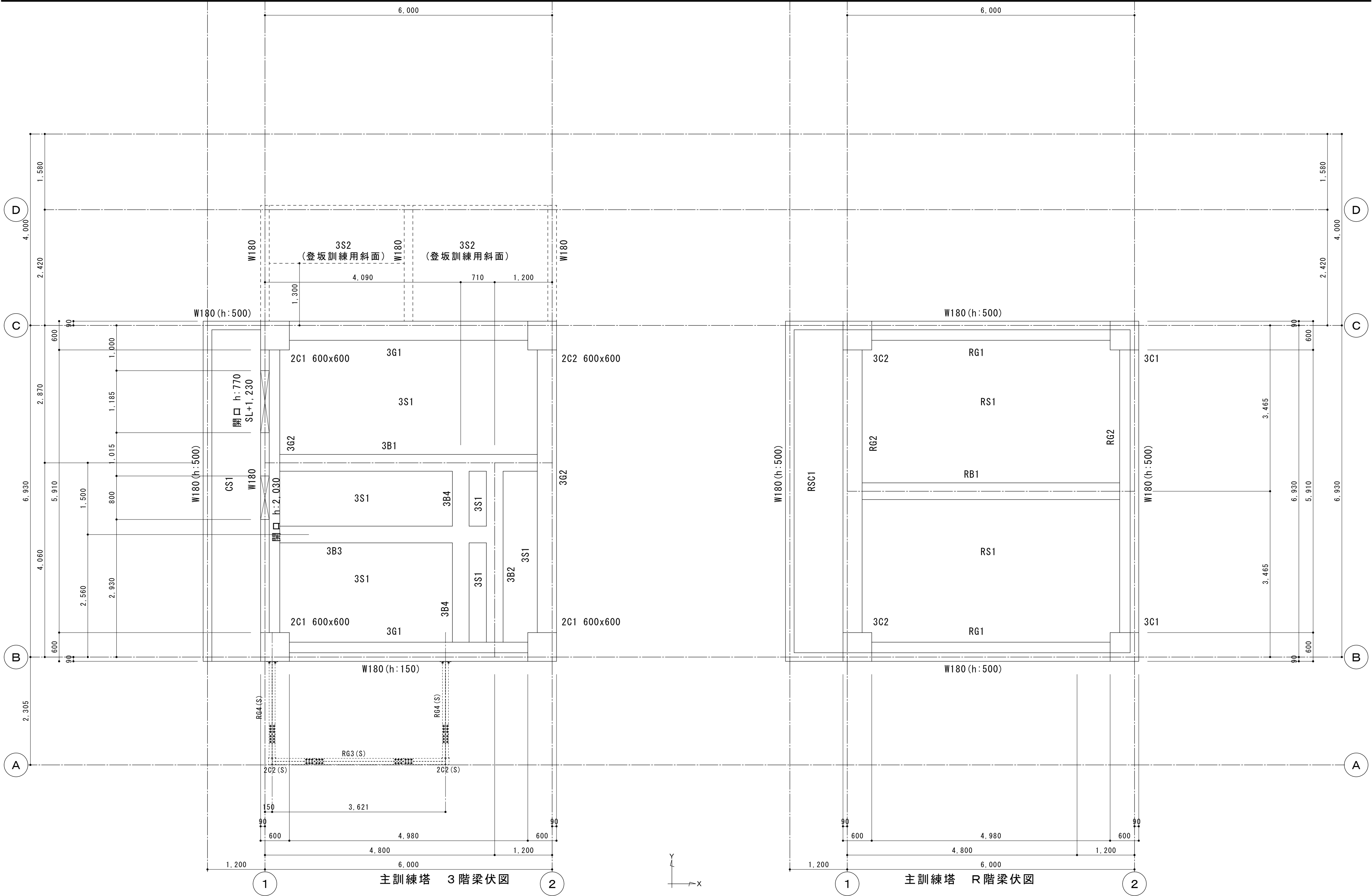
7. 施工記録

- 1. 工事概要・組織
- 2. 実施工程表
- 3. 使用杭の仕様・諸元
- 4. 施工方法概要
- 5. 施工機械の仕様
- 6. 充填液の材料・配合・使用量・試験結果
- 7. 試験杭または試験掘削の記録
- 8. 本杭施工記録
- 9. 杭配置図
- 10. 地盤調査結果
- 11. その他必要事項

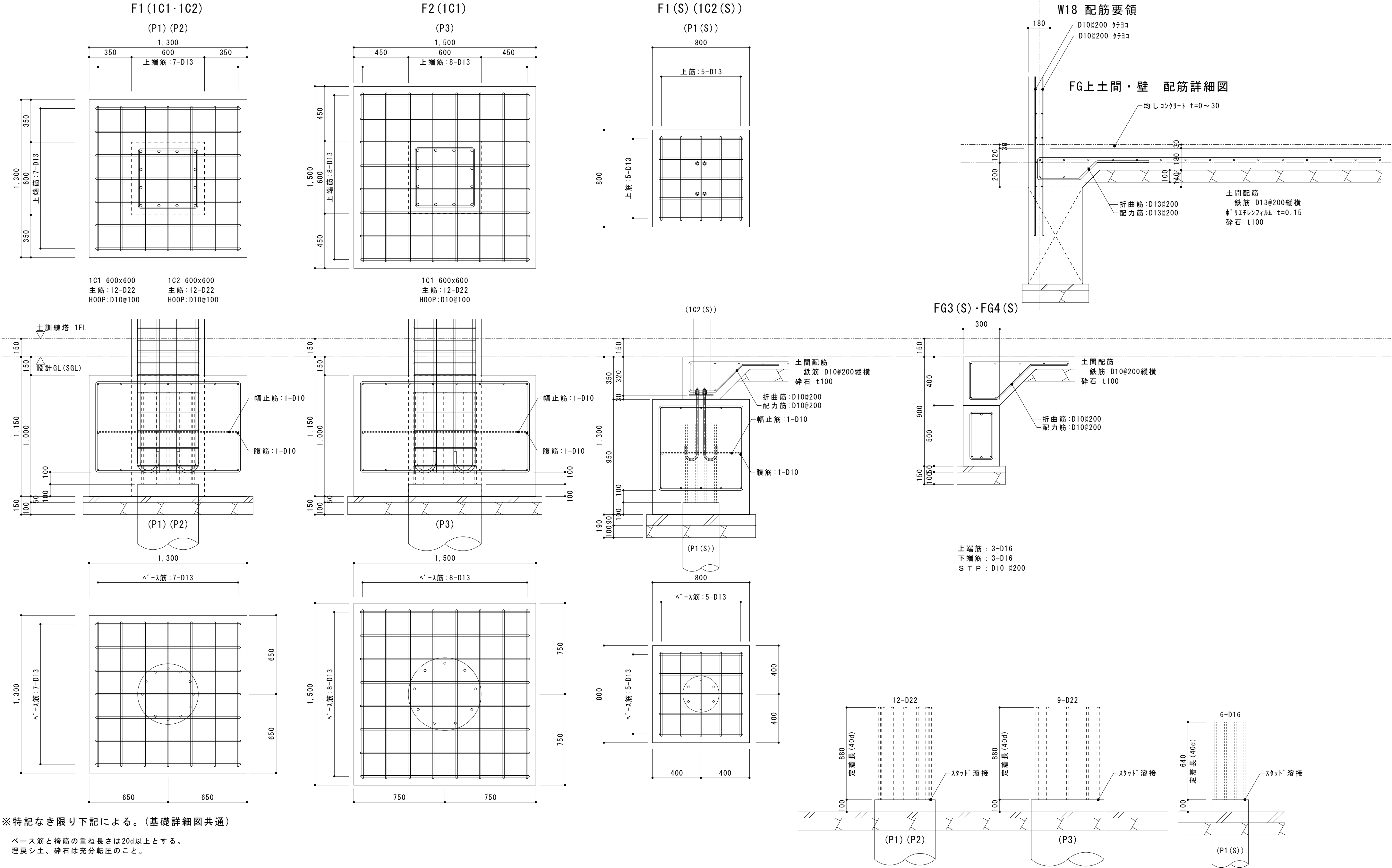
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 Na.215989 三重県知事登録 第1-1522号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085						年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-010
						縮尺 NS 【A2原紙】	図面名 Hyper-MEGA工法（標準型）特記仕様書	



								年月日	工事名称	図面番号
									消防訓練施設新築工事	
								縮尺	図面名	S-011
								1/50 【A2原紙】	主訓練塔 1階柱・基礎・2階梁伏図	



								年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-012
								縮尺 1/50 【A2原紙】		
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085										

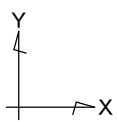
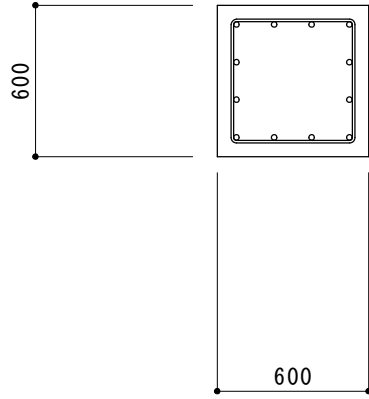
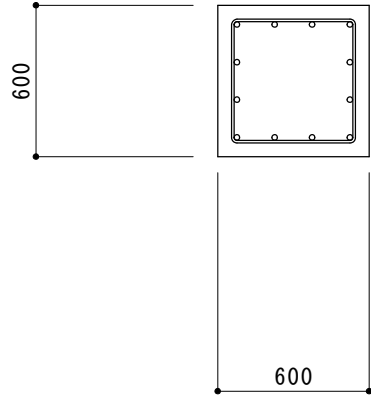
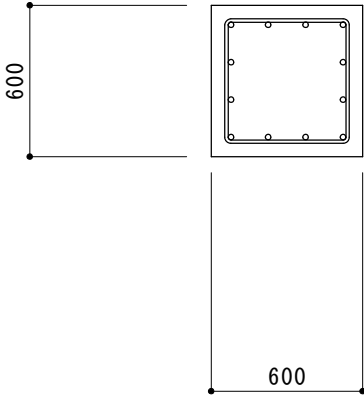
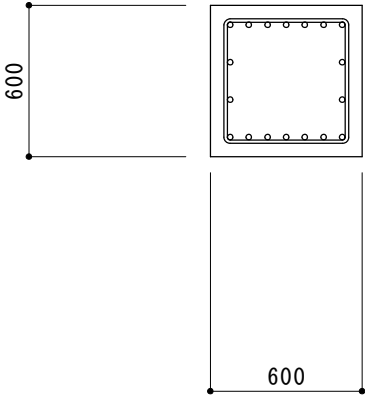
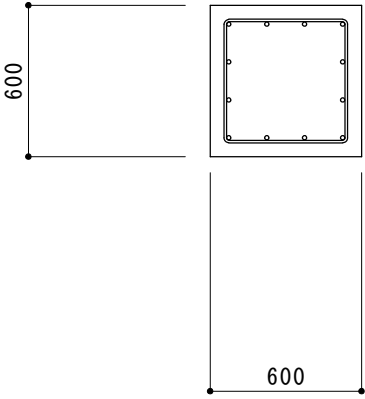
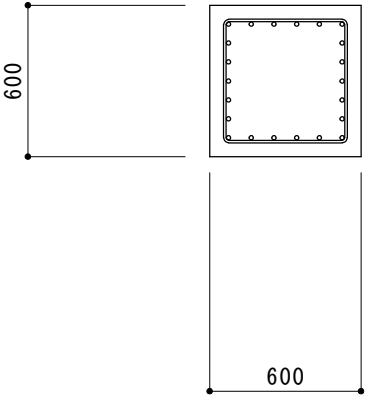


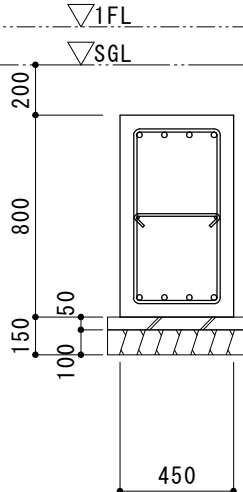
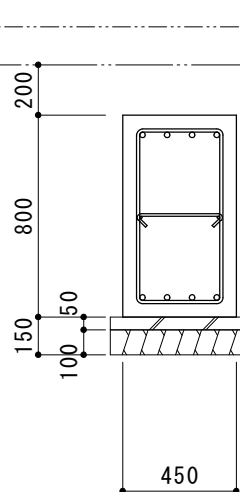
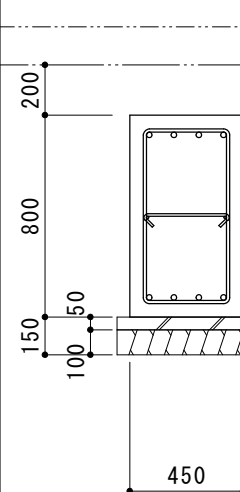
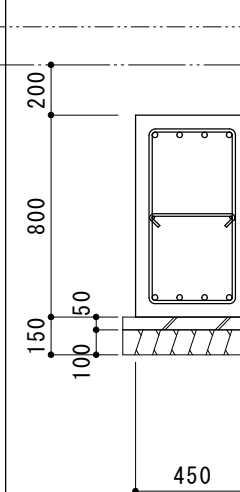
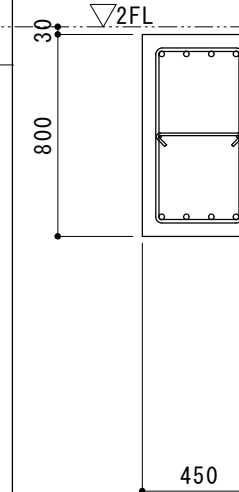
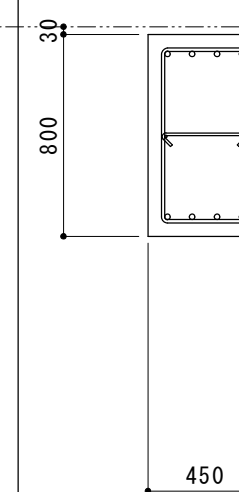
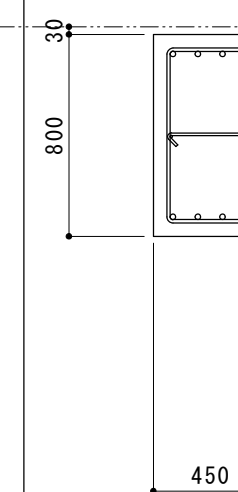
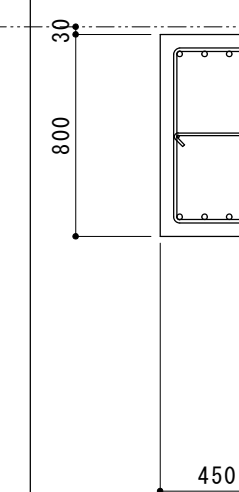
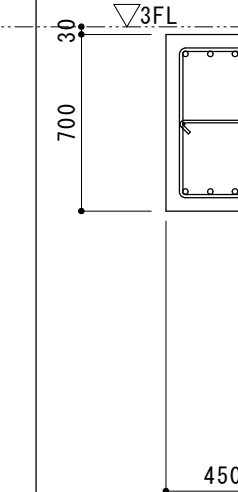
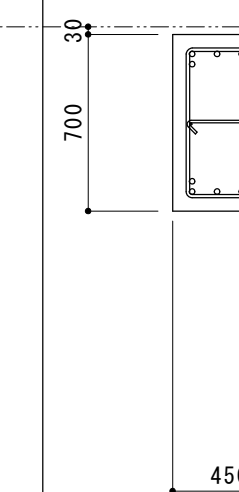
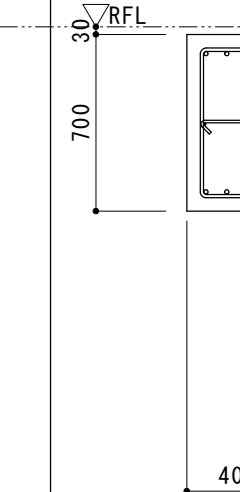
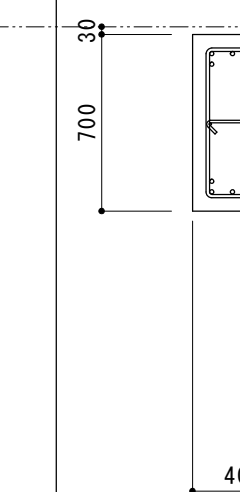
※特記なき限り下記による。(基礎詳細図共通)

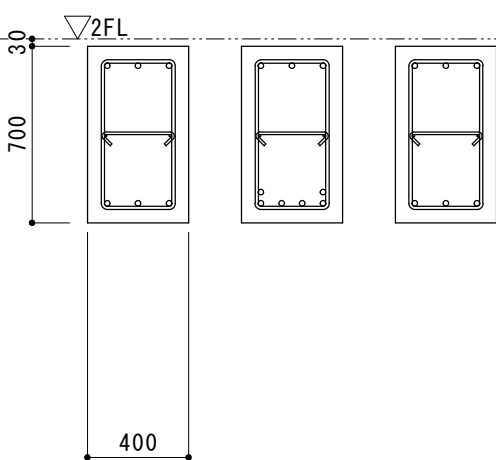
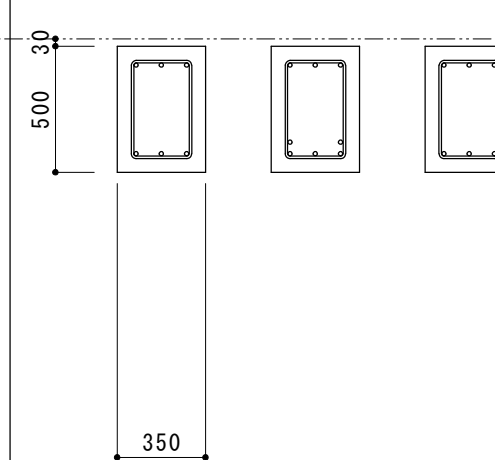
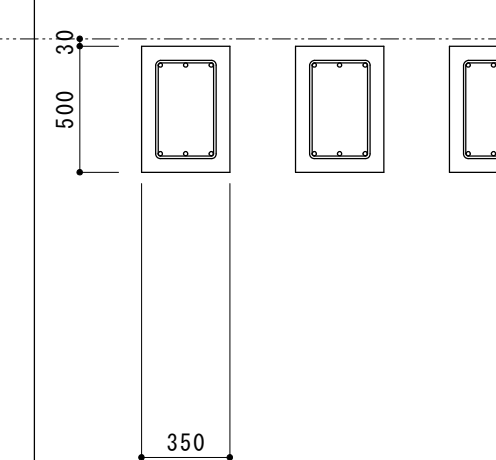
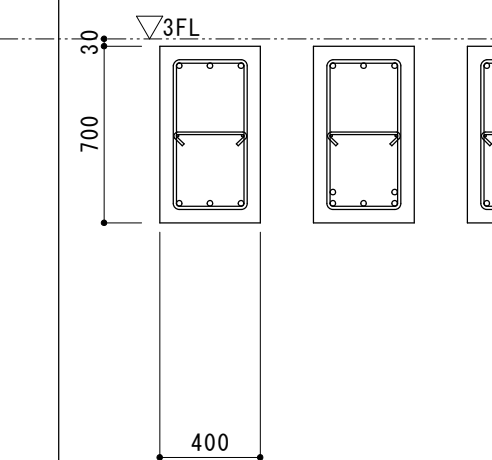
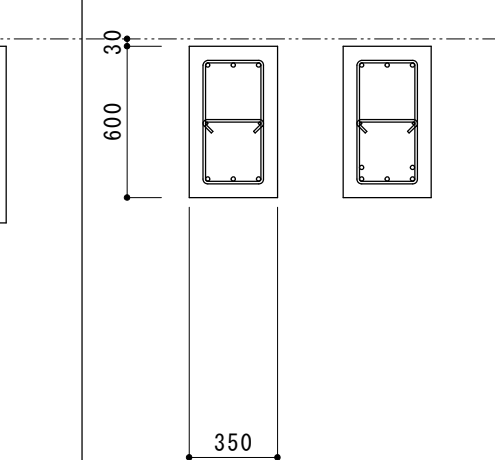
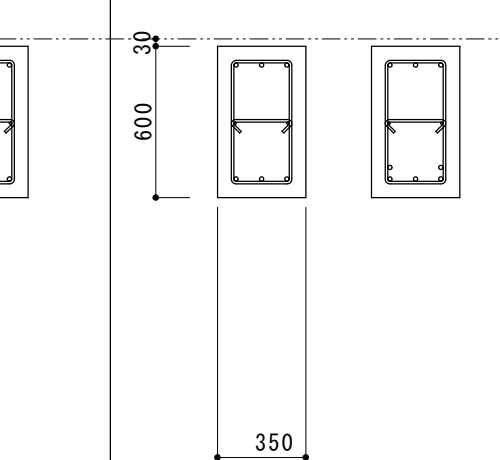
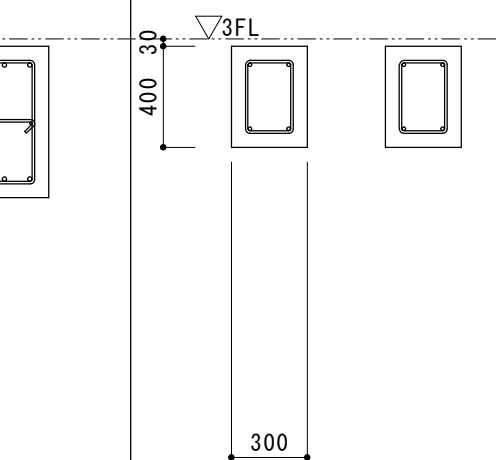
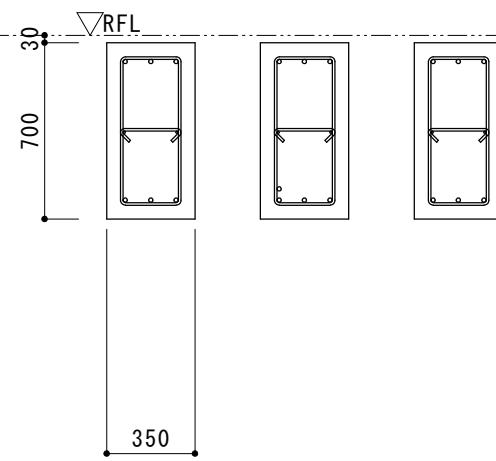
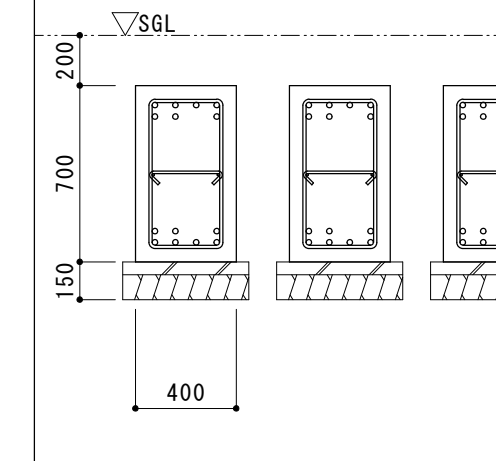
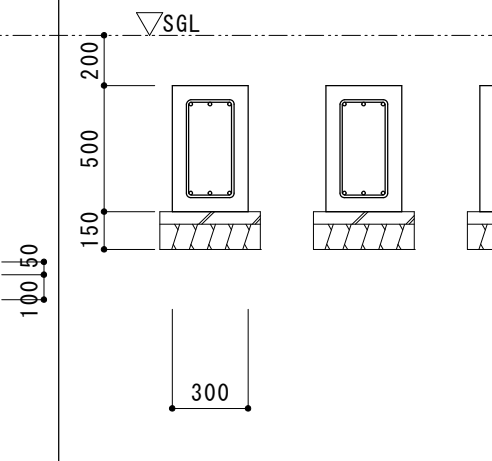
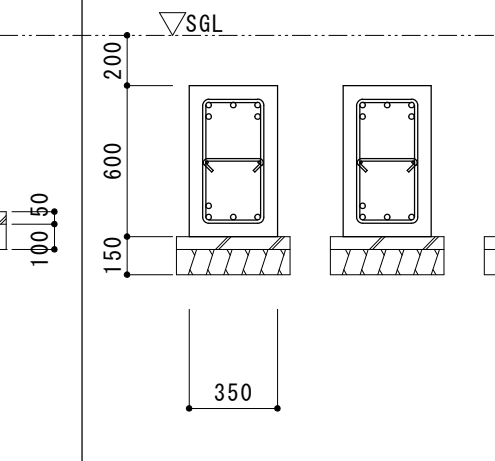
ベース筋と袴筋の重ね長さは20d以上とする。
埋戻し土、砕石は充分転圧のこと。

※施工時の杭芯ズレについては、各方向100mm以下の場合は基礎形状は設計通りとし、
100mmを超える場合は監理者の指示による。ただし地中梁配筋については、杭施工後の
杭芯ズレ実測値により再検討を要するため、100mm以下の場合も監理者に報告すること。

						年月日	工事名称	図面番号	
							消防訓練施設新築工事		
内田構造建築工房						一級建築士 内田 浩司	縮 尺	図面 名	S-013
大臣登録番号 一級 №215989									
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号							1/20	主訓練塔 基礎・地中梁等詳細図	
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085							【A2原紙】		

柱リスト S=1/30															
符 号		1 C 1		1 C 2		2 C 1		2 C 2		3 C 1		3 C 2			
階		1 F - 1 F		1 F - 1 F		2 F - 2 F		2 F - 2 F		3 F - 3 F		3 F - 3 F			
位 置		全断面		全断面		全断面		全断面		全断面		全断面			
断面 															
		600x600		600x600		600x600		600x600		600x600		600x600			
		X 方向		Y 方向		X 方向		Y 方向		X 方向		Y 方向			
		主筋:1段目		4-D22		4-D22		4-D22		7-D22		4-D22		4-D19	
		主筋:2段目										4-D19		4-D19	
H O O P		D10@100		D10@100		D10@100		D10@100		D10@100		D10@100			

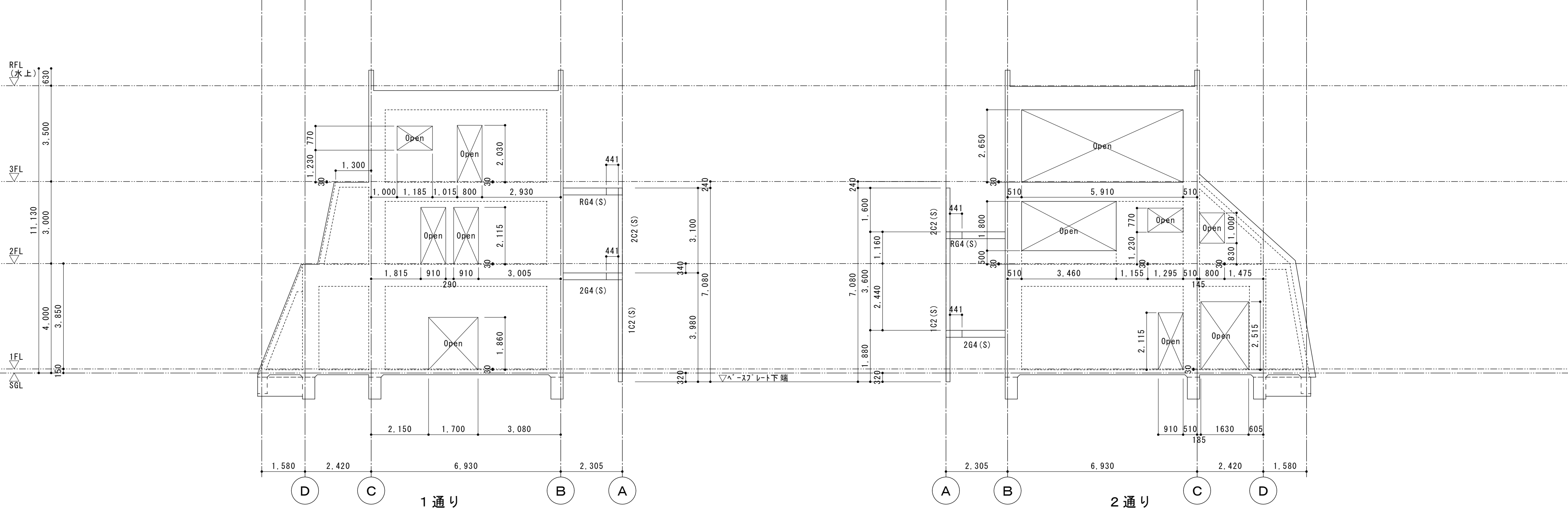
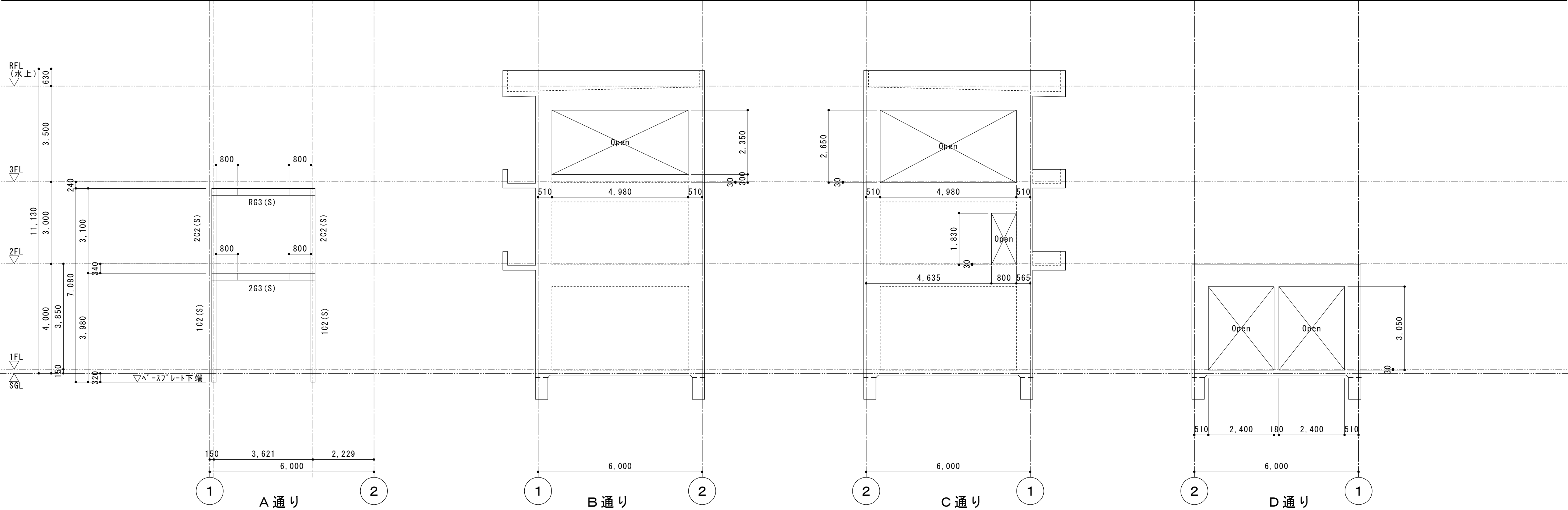
地中梁・大梁リスト S=1/30													
符 号	F G 1	F G 2	F G 3	F G 4	2 G 1	2 G 2	2 G 3	2 G 4	3 G 1	3 G 2	R G 1	R G 2	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
断 面													
	450x800	450x800	450x800	450x800	450x800	450x800	450x800	450x800	450x700	450x700	400x700	400x700	
	上 端 筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22 1-D22	4-D19	4-D19 1-D19
	下 端 筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22 1-D22 4-D22	4-D19	4-D19 1-D19 4-D19
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
幅 止 筋	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	
S T P	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	

小梁リスト S=1/30																																																					
符 号	2 B 1						2 B 2						2 B 3						3 B 1						3 B 2						3 B 3						3 B 4																
断 面																																																					
	B x D						400x700						350x500						350x500						400x700						350x600						350x600						300x400										
	位 置						1通端		中央		2通端		B通端		中央		2B1端		C通端		中央		D通端		1通端		中央		2通端		B通端		中央		3B1端		1通端		中央		3B2端		B通端		中央		小梁端						
	上 端 筋						3-D22		3-D22		3-D22		3-D19		3-D19		3-D19		3-D19		3-D19		3-D19		3-D22		3-D22		3-D22		3-D19		3-D19		3-D19		3-D19		2-D16		2-D16		2-D16										
	下 端 筋						3-D22		2-D22 4-D22		3-D22		3-D19		2-D19 3-D19		3-D19		3-D19		3-D19		3-D19		3-D22		2-D22 3-D22		3-D22		3-D19		2-D19 3-D19		3-D19		2-D16		2-D16		2-D16												
	腹 筋						2-D10												2-D10						2-D10						2-D10																						
	幅 止 筋						D10@1,000												D10@1,000						D10@1,000						D10@1,000																						
	S T P						D13@200						D10@200						D10@200						D13@200						D10@200						D10@200												D13@200				
符 号	R B 1												F C G 1						F B 1						F B 2																												
断 面																																																					
	B x D						350x700						400x700						300x500						350x600																												
	位 置						1通端		中央		2通端								元端		中央		先端		1通端		中央		2通端		元端		中央		先端																		
	上 端 筋						3-D19		3-D19		3-D19						3-D22 4-D22		3-D22 4-D22		3-D22 4-D22		3-D16		3-D16		3-D16		2-D22 3-D22		2-D22 3-D22		2-D22 3-D22																				
	下 端 筋						3-D19		1-D19 3-D19		3-D19						3-D22 4-D22		3-D22 4-D22		3-D22 4-D22		3-D16		3-D16		3-D16		2-D22 3-D22		2-D22 3-D22		2-D22 3-D22																				
	腹 筋						2-D10												2-D10						2-D10						2-D10																						
	幅 止 筋						D10@1,000												D10@1,000						D10@1,000						D10@1,000																						
	S T P						D10@200												D13@200						D10@200						D13@200						D13@200																

スラブリスト						
符号	スラブ厚	位置	短辺方向（主筋）		長辺方向（配力筋）	
			端部	中央部	端部	中央部
2 S 1	180mm	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
2 S 2	180mm	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
2 S 3	180mm	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
3 S 1	180mm	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
3 S 2	180mm	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
R S 1	180mm	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
C S 1	220mm	上端筋	D13@200		D13@200	
		下端筋	D13@200		D13@200	
C S 2	250mm	上端筋	D16@100		D13@200	
		下端筋	D13@100		D13@200	
R C S 1	220mm	上端筋	D13@200		D13@200	
		下端筋	D13@200		D13@200	

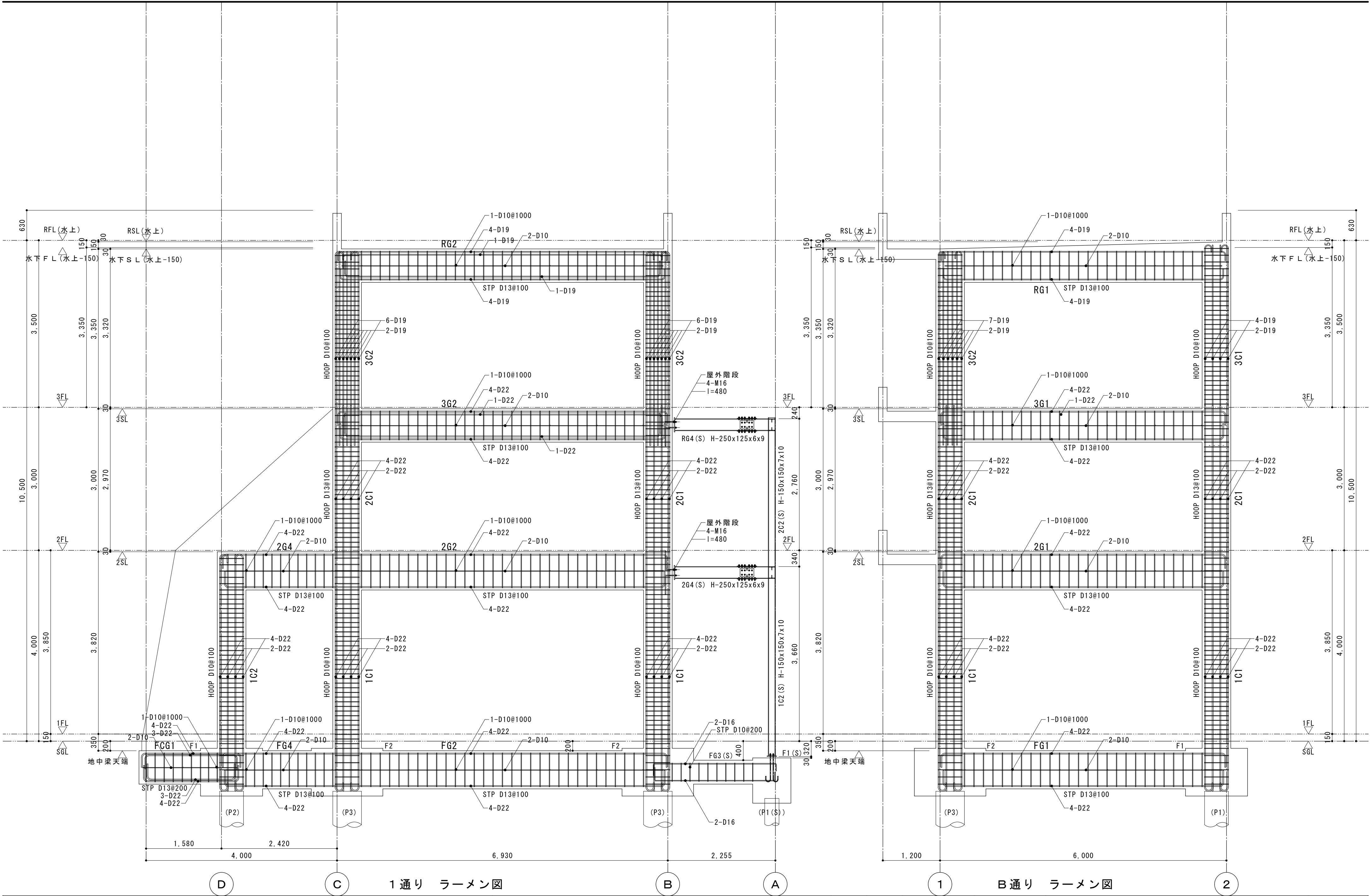
壁リスト						
符号	壁厚	縦 筋	横 筋	開口補強筋		
				縦 筋	横 筋	斜 筋
W 1 8	180mm	D10@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D10@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	4-D16	4-D16	4-D16
ﾊﾞﾗﾊﾞｯﾄ 手摺下	180mm	D10@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D10@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)			

						年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-015
						縮 尺 1/30 【A2原紙】	図 面 名 主訓練塔 部材リスト-2	



								年月日	工事名称	図面番号
									消防訓練施設新築工事	
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085								縮尺	図面名	S-016
								1/100 【A2原紙】	主訓練塔 軸組図	

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085



内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 S-017
					縮 尺 1/50 【A2原紙】	図 面 名 主訓練塔 ラーメン図	

部材リスト ※特記なき柱材料はBCR295、梁及び継手材料はSS400とする。									
符 号	断 面	備 考	符 号	断 面	備 考	符 号	断 面	備 考	材料特記 躯体 コンクリート F c = 24.00 N/mm ² (基礎・F G) 土間 コンクリート F c = 21 N/mm ² 捨て コンクリート F c = 18 N/mm ² 鉄 筋 D 16以下 S D 295 A D 19以上 S D 345 D 16以下 (重ね継手) D 19以上 (ガス圧接) 鉄 骨 S S 4 0 0 , S S C 4 0 0 S N 4 9 0 B (スチバー) 鉄 骨 錆 止 J I S K 5 5 5 2 (1回塗) 同等以上 J I S K 5 5 5 1 (2回塗) 同等以上 ボ ル ト H . T . B S 1 0 T (MBLT-0052) 中ボルト S S 4 0 0 A . B o l t S S 4 0 0 ※既製品柱脚使用箇所は 各工法仕様によること
1C2 (S)	H-150x150x7x10 SS400	BPlate-12x200x350 λ x=241.9 λ y=142.5 A.Bolt 4-M16, l=480 フック付Wナット締め							
2C2 (S)	H-150x150x7x10 SS400	λ x=167.2 λ y= 98.5							
2G3 (S)	H-250x125x6x9								
2G4 (S)	H-250x125x6x9								
RG3 (S)	H-250x125x6x9								
RG4 (S)	H-250x125x6x9								

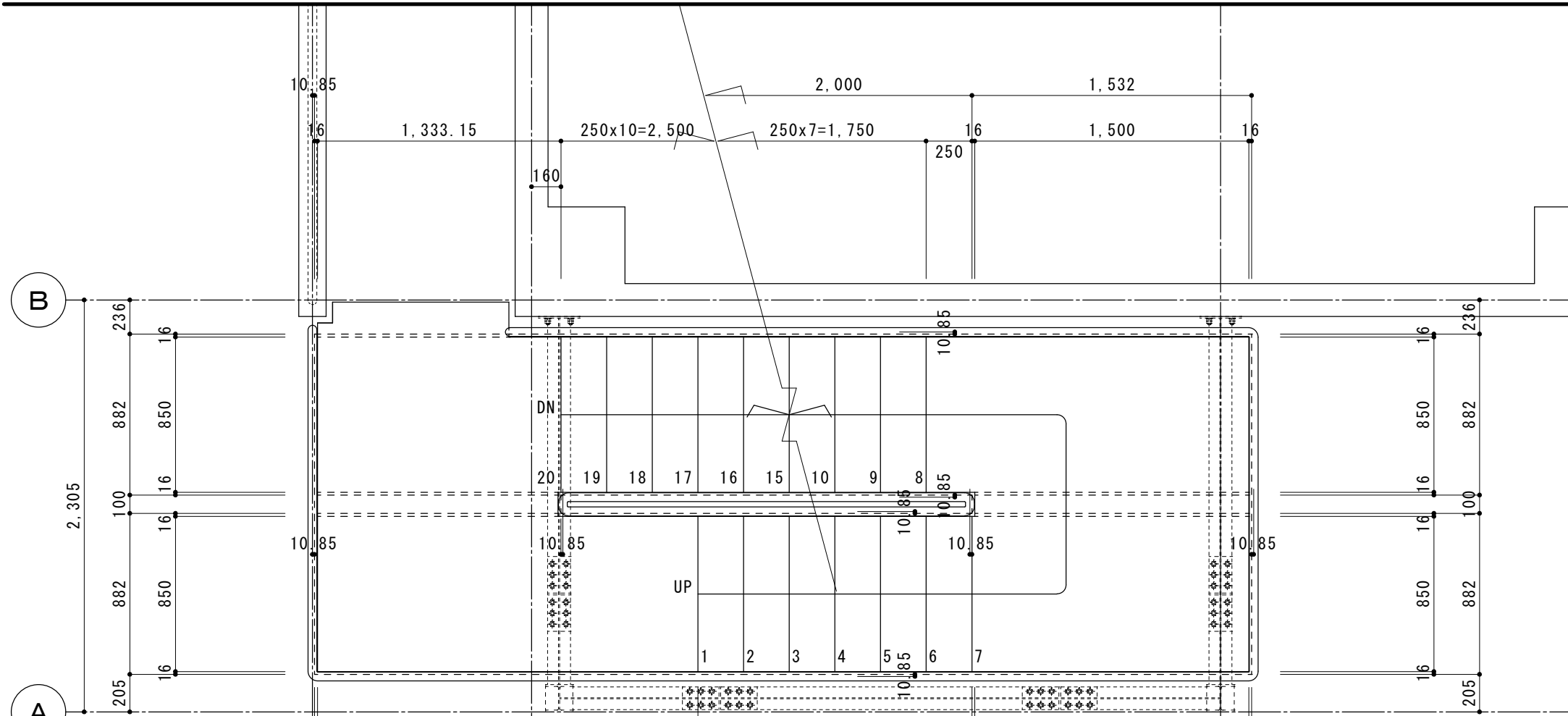
大梁接手詳細図 S=1/20		柱脚詳細図 S=1/30	
2G3 (S)・2G4 (S)・RG3 (S)・RG4 (S) H-250x125x6x9		1C2 (S)	
梁サイズ H-250×125×6×9 フランジ 外添板 PL-410×125×12 (2枚) 内添板 ウェブ 添板 PL-290×170×6 (2枚) ボルトM16 (24本) ボルトM16 (8本)			

						年月日	工事名称	図面番号
							消防訓練施設新築工事	
内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085						縮 尺	図 面 名	S-018
						1/20 【A2原紙】	鉄骨部材リスト・接手等詳細図	

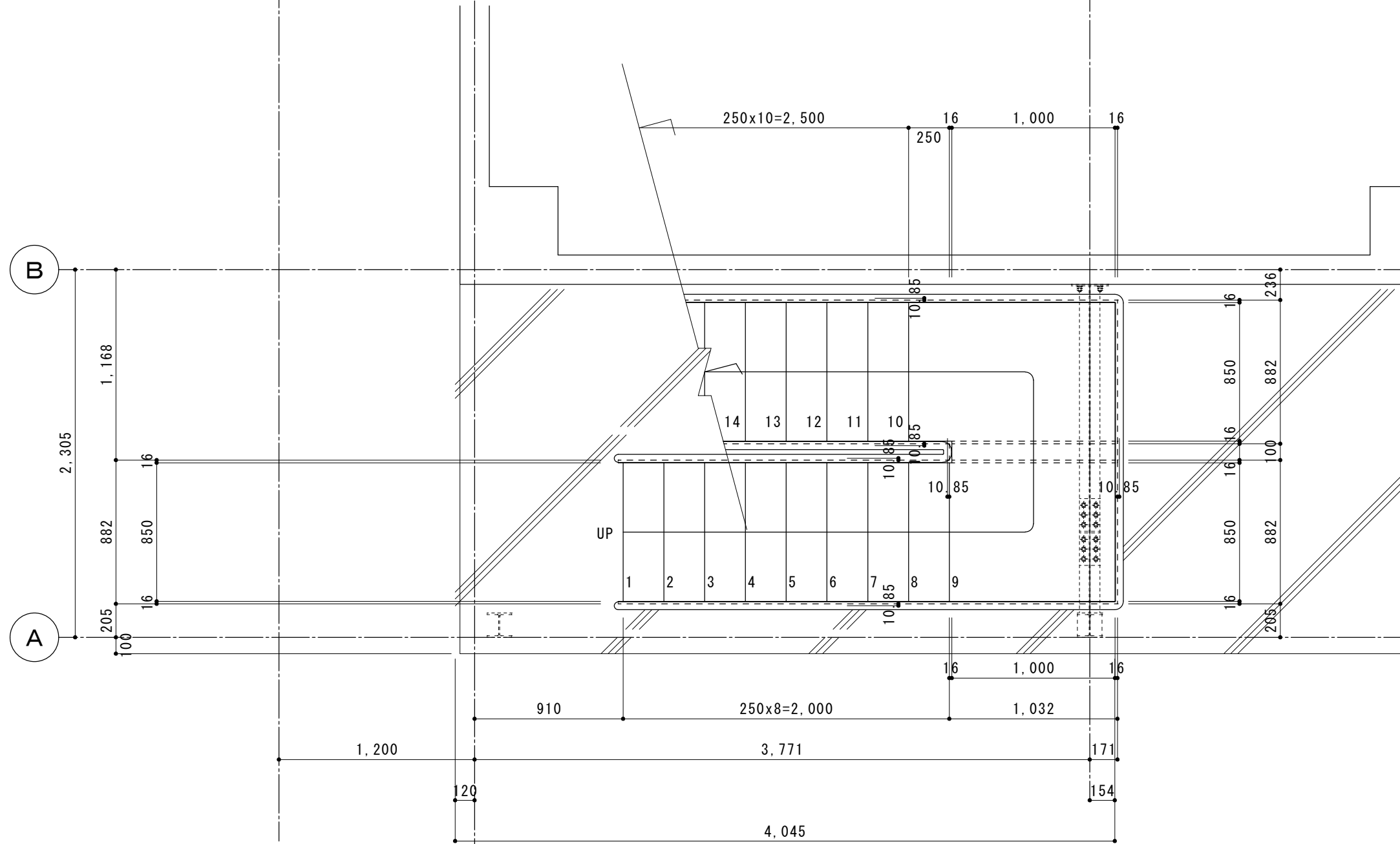
内田構造建築工房

一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989

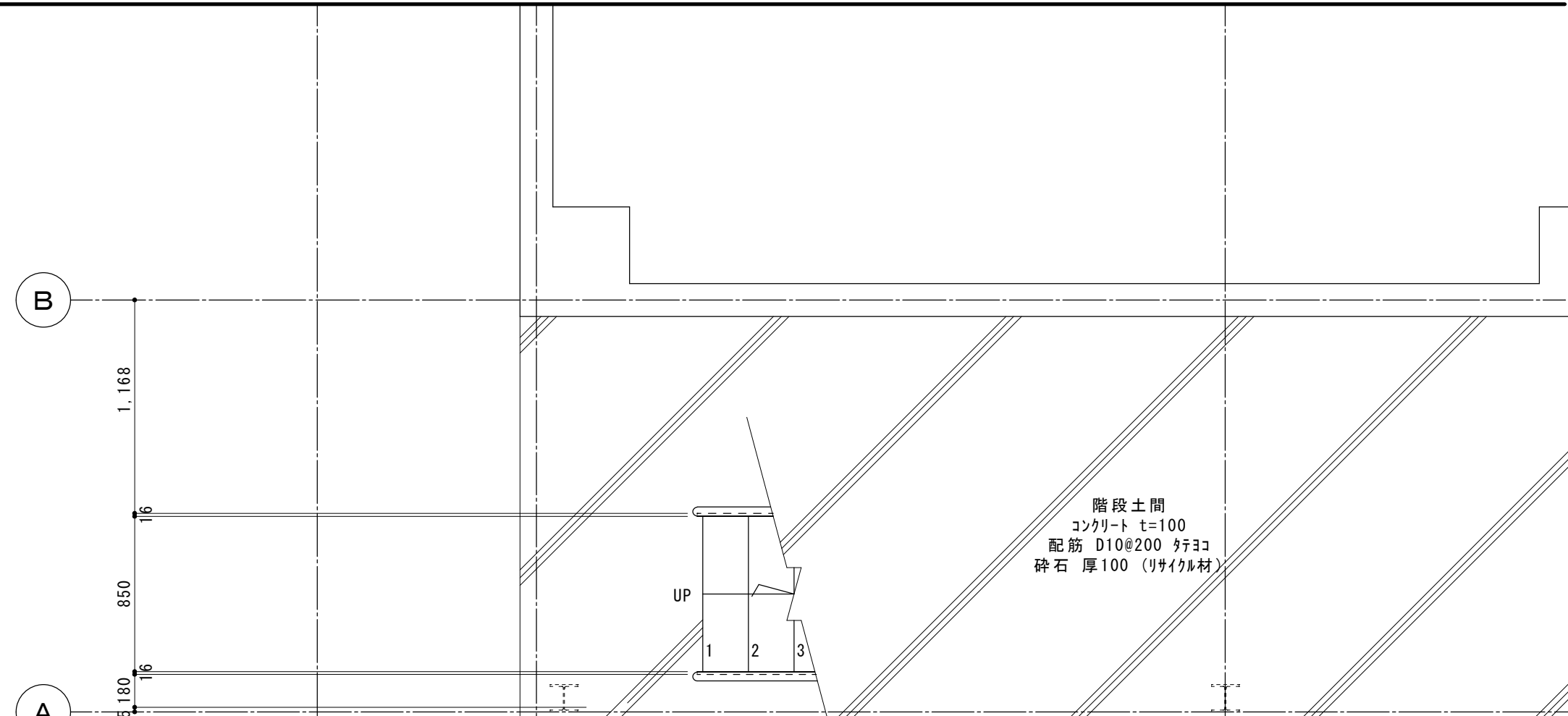
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256) 2303/Fax 059(254) 0085



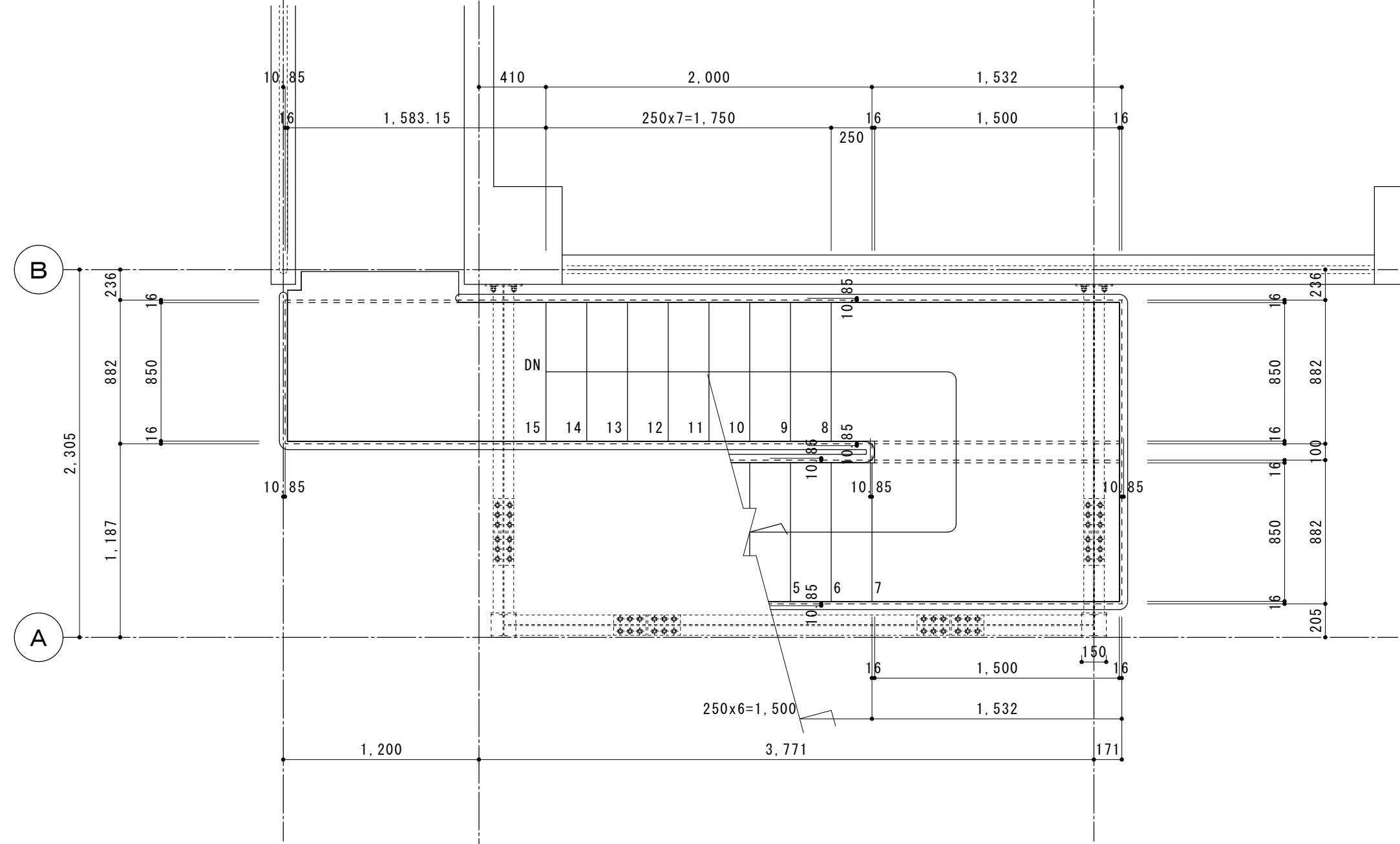
2階 平面図



1階 平面図

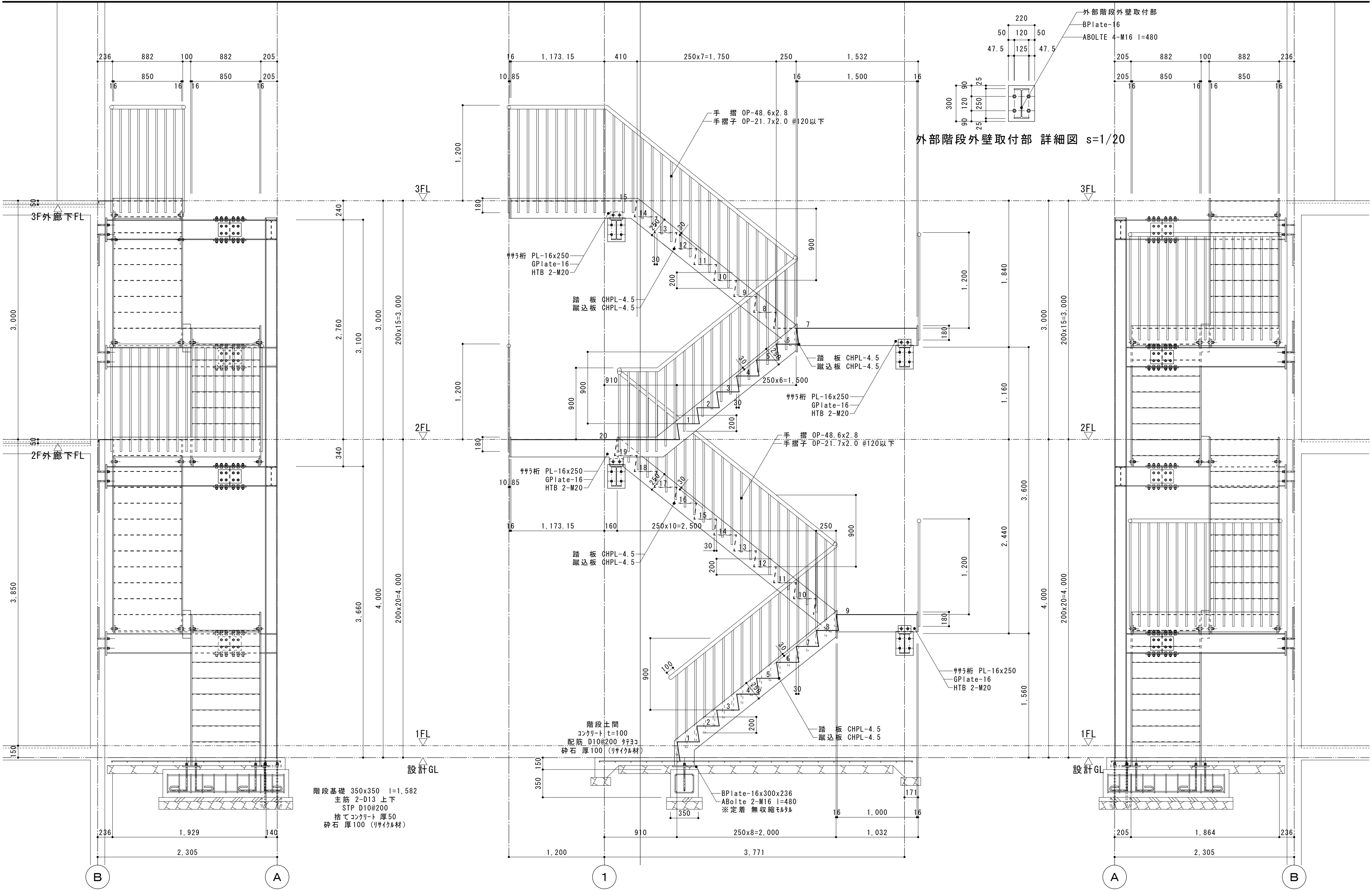


階段土間平面図



3階 平面図

						年月日	工事名称	図面番号
							消防訓練施設新築工事	
						縮尺	図面名	
内田構造建築工房						1/30	主訓練塔 屋外階段 平面図	S-019
一級建築士 内田 浩司						【A2原紙】		
大臣登録番号 一級 №215989								
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号								
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085								



※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下	—	1m 以下
	100A以上	—	2m以下
鎖鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	—	50A～100 A	125A～
鎖鉄管	—	—	—
ビニル管	—	—	—
耐火二層管	25A～40A	50A～100A	125A～
鋼管	—	—	—

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- ☐ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 - ☐ ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- ☐ アングルフランジ工法
 - ☐ 共板フランジ工法
 - ☐ スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- ☐ 山形鋼 JIS G 3101 ☐ SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- ☒ スパイラルダクト
 - ☐ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。
- | | | |
|--|----------------------------------|---|
| ☐ グラスウール保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9504 2号 40K | 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K |
| ☐ 給水管 | ☐ 排水管 | ☐ 給湯管 ☐ 消火管 (露出部) |
| ☐ 蒸気管 (往) | ☐ 蒸気管 (還) | ☐ 冷水・冷温水管 ☐ 冷媒管 |
| (屋外等) | | |
| ☐ 給湯管 (70℃以上) | ☐ 温水管 | ☐ 蒸気管 ☐ 冷水・冷温水管 |
| ☐ 冷媒管 | ☐ | ☐ |
- | | |
|---|--|
| ☐ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等) | 保温板、保温帯、ブランケット 1号JIS A 9504 |
| ☐ 給水管 | ☐ 排水管 ☐ 給湯管 ☐ 温水管 |
| ☐ 蒸気管 | ☐ 冷水・冷温水管 ☐ 冷媒管 ☐ 消火管 |
- | | | |
|--|------------------------------|--|
| ☐ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9511 3号 | 保温板 JIS A 9511 3号 |
| ☐ 給水管 | ☐ 排水管 | ☐ 冷水・冷温水管 ☐ 冷水管 (2～4℃) |
| ☐ フライン管 | ☐ | ☐ |
| (屋外等) | | |
| ☐ 給水管 | ☐ 排水管 | ☐ 給湯管 ☐ 冷水・冷温水管 |
| ☐ フライン管 | ☐ 消火管 | ☐ |
- | |
|--|
| ☒ 合成樹脂調合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種 (露出) |
| ☐ 給水管 ☐ 排水管 ☐ 通気管 ☐ ドレン管 |
| ☐ ガス管 ☒ 消火管 ☐ 油管 ☐ 冷却水管 |
| ☐ ダクト (亜鉛鉄板製) ☐ ダクト (鋼板製) |
- | |
|---|
| ☐ さび止めベイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めベイント) 2種 (露出) |
| ☐ 蒸気管 (往) ☐ ダクト (鋼板製) |
- | |
|---|
| ☐ アルミニウムベイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムベイント) 下塗りは錆止めベイント |
| ☐ 蒸気管 (還) |

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	～80A	100～150A	—	200A～	—
膨張・温水・消火管	—	—	—	—	—
蒸気管	～25A	—	32～50A	65A～	—
冷水・冷温水・冷媒管	—	—	～25A	32～200A	250A～

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	—	—	—	—
冷水・冷温水管	—	～25A	32～200A	250A～	—	—
冷水管 (冷水温度2～4℃)	—	—	～20A	25A～100A	125A～	—
フライン管	—	—	～25A	32～80A	100A～	—

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー排気筒隠蔽部 (ロックウール)
75mm	煙道 (ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&8の5202仕上
天井内・P S内	7&8の5202仕上	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ビツ内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&8の5202
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上
※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビツ内) の仕様を防水テープ巻きに読み替える。 ※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。 ※ 3) 消火管の屋外露出のは保温を行う。				

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ビツ内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別
☐ 保温化粧ケース仕上 ☐ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	紙	保温板	ポリエチレン	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ			フィルム		
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ				カラー亜鉛鉄板 (屋内)	
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 [SUS鋼板]
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板	
	機械室		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 [SUS鋼板]
サブライチャンパー			紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網
消音チャンパー、エルボ			紙	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形		屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト 円形		屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道			ブランケ	鉄線	カラー鉄板	

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S 02による防錆処理を施した平ラS 0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	合成樹脂調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

※ 1) なじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

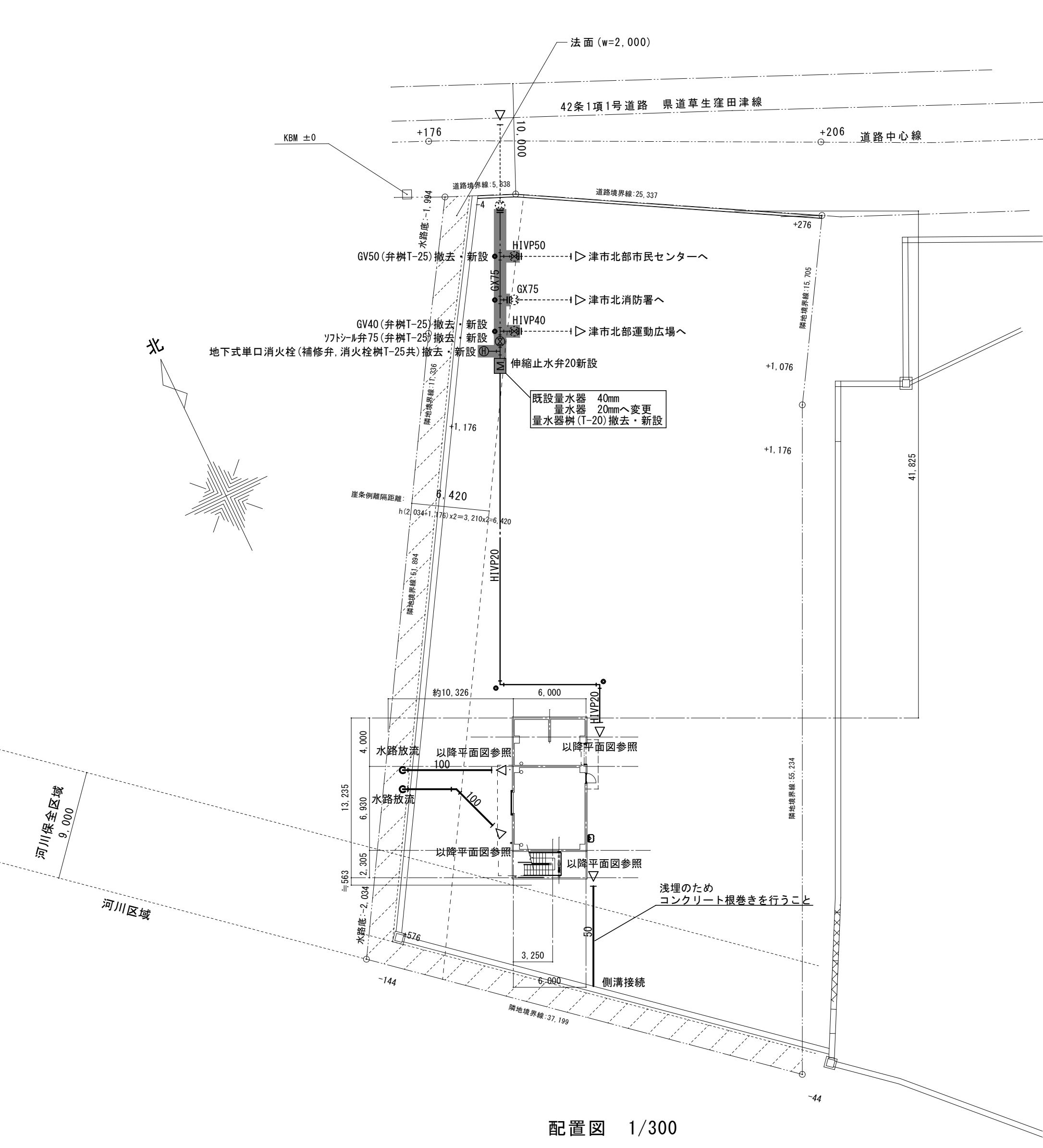
1. S A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
2. E A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
3. R A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
4. O A
- ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ()
- チャンパー内貼施工
- ☐ 内貼あり (mm) ☐ 内貼なし ☐ 図面による ☐ その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。
9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビツ等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
17) 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。



配置図 1/300

凡例	
	新設配管
	既設配管
	新設配管・既設配管切断接続部分
	給水管
	排水管
	消火管
	ダクト
	給水栓
	送水口
	放水口
	弁類
	埋設標示

: 既設改修範囲 ※量水器 1 次側の給水引き込み管は既設残置とし、施工上必要な場合は撤去すること。

雨水樹リスト				
記号	名称	寸法	参考深さ	備考
1	雨水樹	φ200	-550	密閉式鑄鉄製蓋 (T-25)
2	雨水樹	φ200	-550	密閉式鑄鉄製蓋 (T-25)
3	雨水樹	φ200	-350	密閉式鑄鉄製蓋 (T-25)

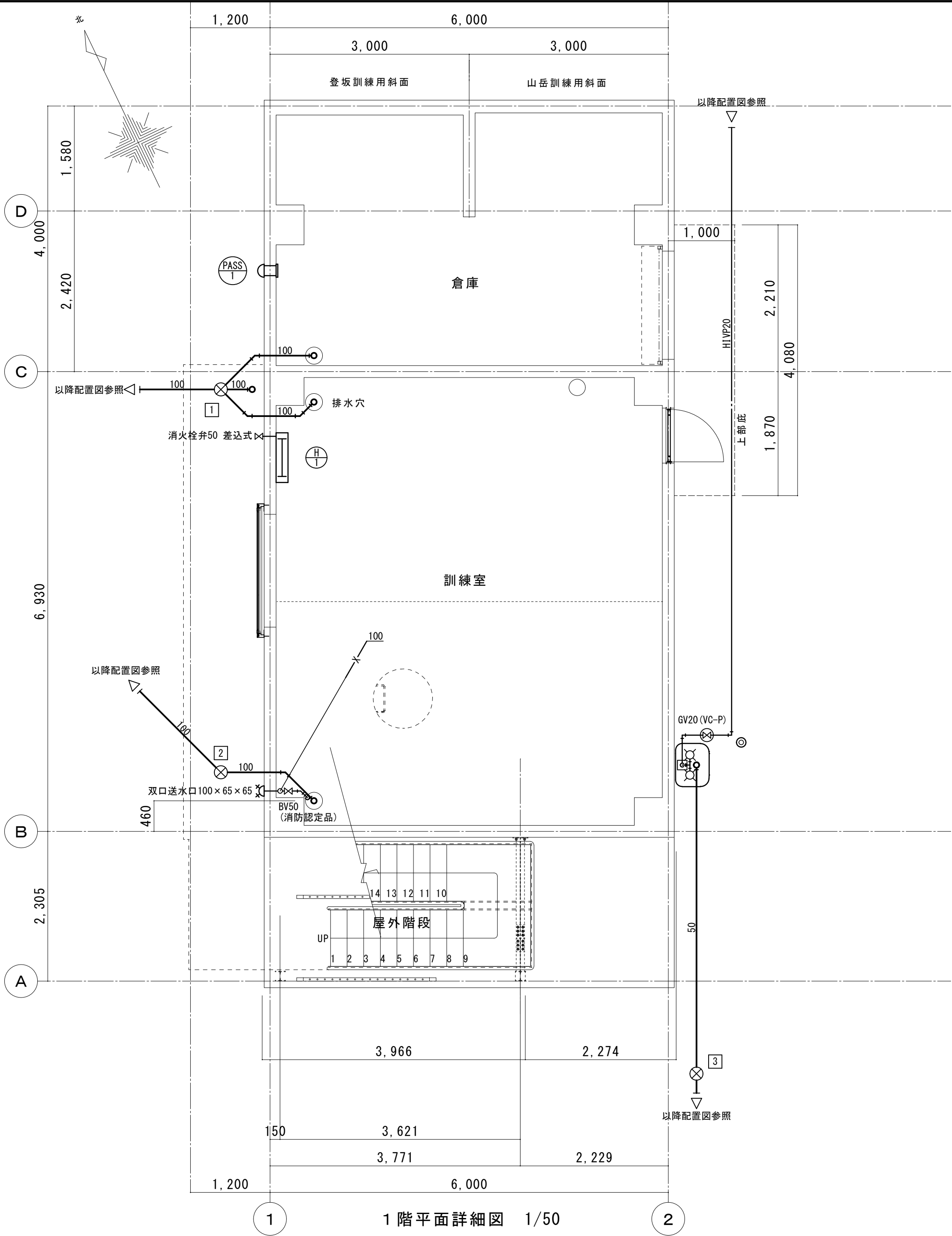
雨水樹

※排水勾配は 1/100以上

消火設備機器表					
記号	名称	仕様	台数	設置場所	備考
	屋内消火栓BOX	形 式 : 1号消火栓 (表面処理鋼板製)	1	訓練塔 1階 訓練室	放水口有
		付属品 : バルブ (32×90°)			
		ノズル (32×13)			
		ホース (15m×2本) 操作シール			

衛生器具表				
名 称	仕 様 ・ 参 考 型 番			訓練塔
	L I X I L			
	T O T O			
2口横水栓	LF-7Y-13-U	T250SN	1	
ガーデンパン	樹脂製 650角		1	
水栓柱	アルミ製 L=1200		1	

換気機器リスト					
記 号	名 称	機 器 仕 様	数量	設 置 場 所	備 考
	パスダクト	給排気グリル φ150	1	訓練塔 1階 倉庫	フィルター付 付属品: SUS製パイプフード (防虫網付)、他一式
					参考型番: P-18GHF5、P-18VSSQ3 (三菱電機)
	パスダクト	給排気グリル φ150	6	訓練塔 2階 訓練室2⇔訓練室3	フィルター付、開閉機能付 付属品: 一式
				訓練塔 2階 訓練室2⇔訓練室4	参考型番: P18QR2 (三菱電機)
				訓練塔 2階 訓練室3⇔訓練室4	



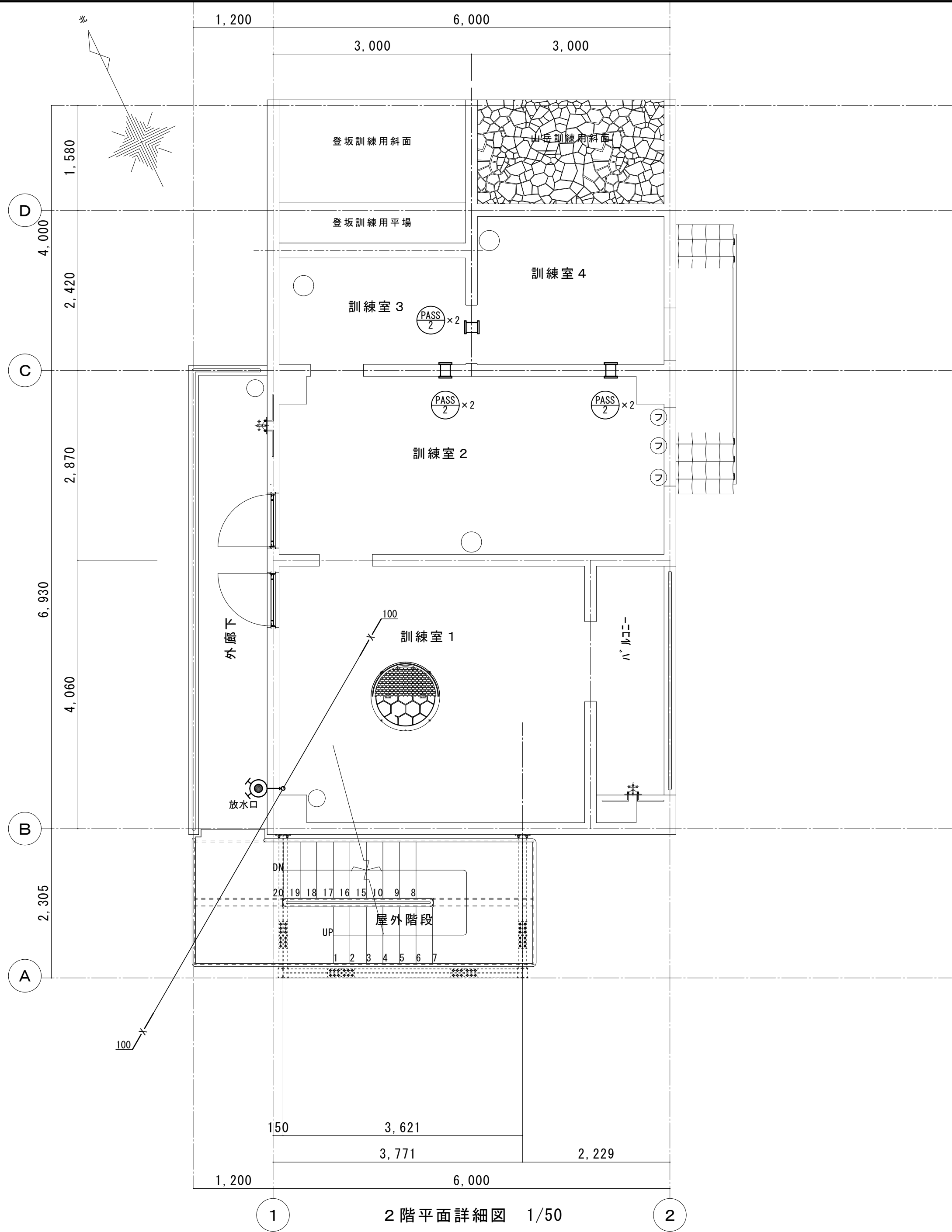
【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者に確認とする			
㊦: 揭示用フック	㊢: ロ-フ 支持金物(床) リンク付		
㊦: 支点金物	㊢: 上部支点		
	㊦: フェン2段 両端からビナ付き		

内田構造建築工房

一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 Na215989

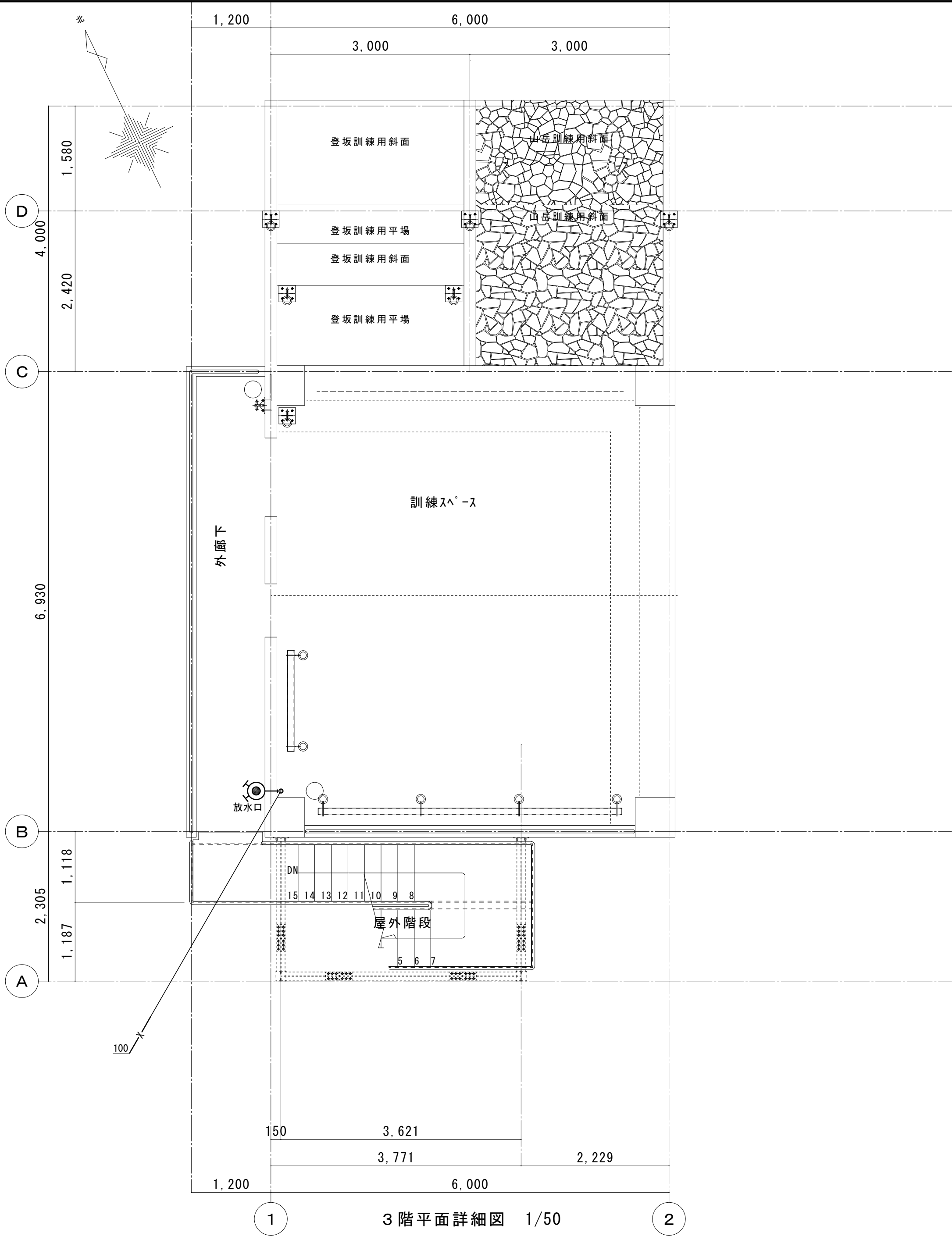
三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

				年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 M-04
				縮尺 1/50 【A2原紙】		
					図面名 機械設備 1階平面図	



【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者に確認とする			
㊦: 揭示用フック	㊢: ロ-フ 支持金物(床) リンク 付き		
㊦: 支点金物	㊣: 上部支点		
	㊤: チェン2段 両端からピン付き		

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司 大臣登録番号 一級 №215989 三重県知事登録 第1 - 1 5 2 2 号 〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085					年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号 M-05
					縮 尺 1/50 【A2原紙】		



【凡例】金物等 ※消防訓練用金物は 記載なき限り全て 耐荷重:20KNとする ※最終位置は施工図にて消防担当者を確認とする

㊦: 揭示用フック	㊢: ロ-フ 支持金物(床) リンク 付
㊦: 支点金物	㊢: 上部支点
㊦: フェン2段 両端からピナ付き	

内田構造建築工房 一級建築士 内田 浩司
大臣登録番号 一級 №215989
三重県知事登録 第1-1522号
〒514-1107 三重県 津市 久居中町818 Tel 059(256)2303/Fax 059(254)0085

				年月日	工事名称 消防訓練施設新築工事	図面番号
				縮尺 1/50 【A2原紙】	図面名 機械設備 3階平面図	M-06